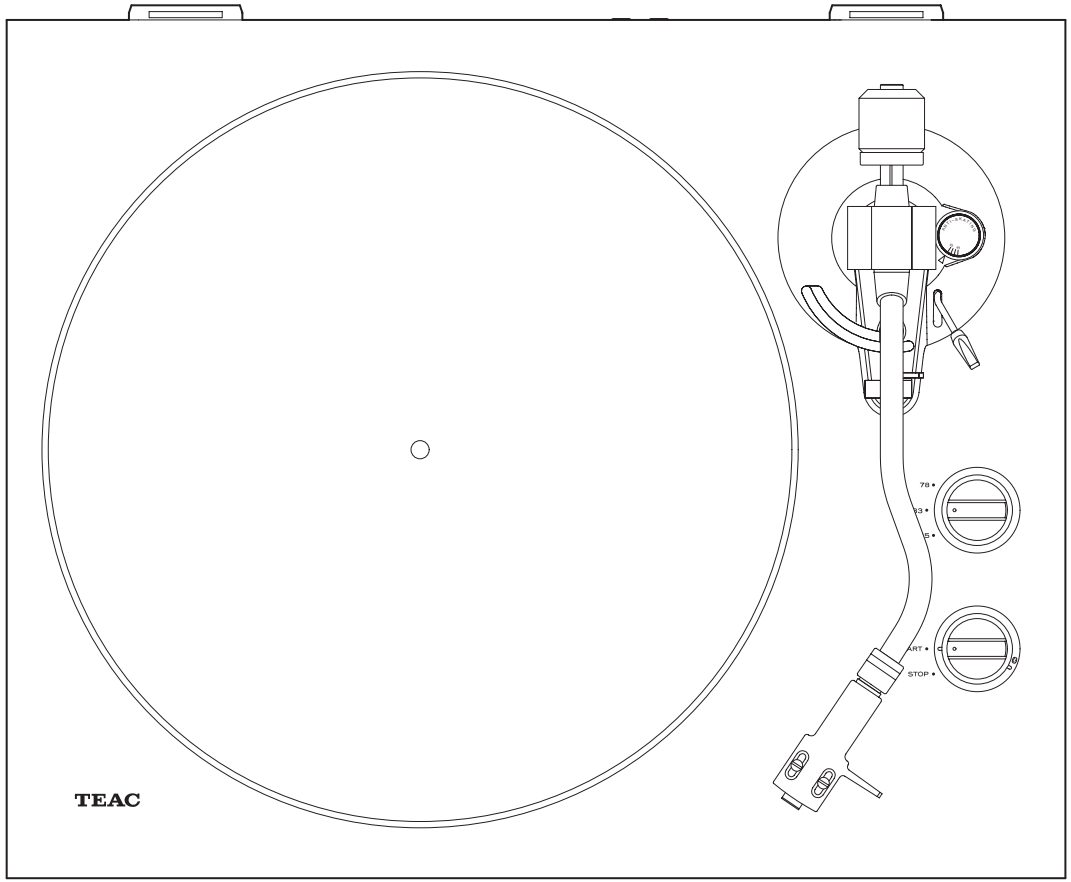
TEAC

TN-400BT (SE)



アナログターンテーブル

ANALOG TURNTABLE

取扱説明書
OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI
MANUAL DEL USUARIO
BEDIENUNGSANLEITUNG
MANUALE DI ISTRUZIONI
GEBRUIKSAANWIJZING
BRUKSANVISNING

Bluetooth®

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

目　次

安全にお使いいただくために 2
電波について 3
お使いになる前に 3
レコードの取り扱い 4
設置 4
ダストカバー 5
レコード針について 5
カートリッジ交換 6
各部の名称 6
接続 6
基本操作 7
Bluetooth® スピーカーで聞くには 8
困ったときは 9
仕様 10
保証とアフターサービス (よくお読みください) . 83

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたとき** ● **煙が出たり、変なにおいや音がするとき** ● **機器の内部に異物や水などが入ったときは** ● **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。
禁止	**AC アダプターのコードを傷つけない** **AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **AC アダプターのコードを無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為や加工、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、AC アダプターのコードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) をご依頼ください。
	付属の AC アダプターを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ～ 240 ボルト以外の電圧で使用しない 表示された電源電圧 (交流 100 ～ 240 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は 20cm 以上離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 35cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
指示	**AC アダプターの電源プラグにほこりをためない** AC アダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的 (年 1 回くらい) に AC アダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する** それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、AC アダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の AC アダプターを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	AC アダプターの電源プラグを抜くときは、AC アダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造すること
  - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し与干渉距離は 10m です。
本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
  - ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
  電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ・ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
  音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。
- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) へお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

フェルトマット x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
カウンターウエイト x 1
ヘッドシェル x 1
　オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ (AT95E) を装着済み
ターンテーブル (プラッター) x 1
ダストカバー x 1
ダストカバー取付用ヒンジ x 2
GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-V120050) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

使用上の注意

- ダストカバーの上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

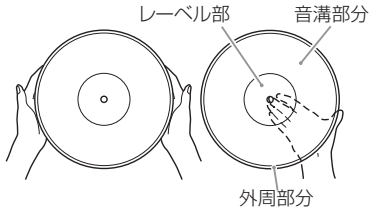
ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
https://teac.jp/jp/signup

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないようにレーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむように持ってください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

設置

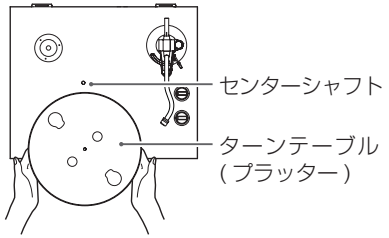
電源はスタンバイの状態で、設置作業を行ってください。(7 ページ E)

1 水平な場所に置く。

レコードを正しくトレースするため、水平な場所に設置してください。

2 ターンテーブル (プラッター) を取り付ける。

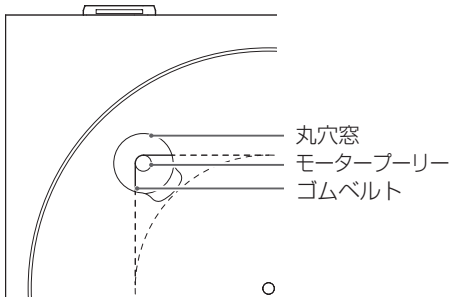
ターンテーブル (プラッター) をセンターシャフトに合わせて取り付けます。



3 ベルトをモータープーリーにかける。

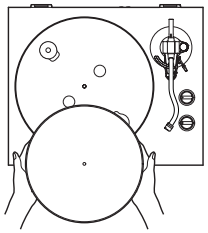
ターンテーブル (プラッター) の内周に巻きつけてあるゴムベルトを丸穴窓より指で引き出し、モータープーリーにベルトをかけます。

- ゴムがねじれないように注意してください。
- ターンテーブル (プラッター) を数回転して、ゴムベルトをなじませてください。



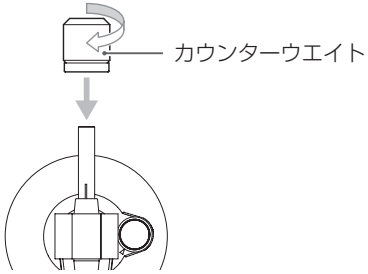
4 フェルトマットをターンテーブル (プラッター) に載せる。

付属のフェルトマットをターンテーブル (プラッター) に載せて使用してください。



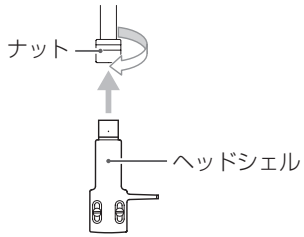
5 カウンターウエイトを取り付ける。

トーンアームの後部にカウンターウエイトを差込み、右に回しながらゆっくり押して装着してください。

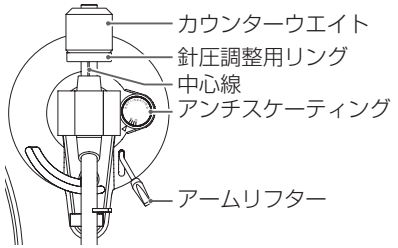


6 ヘッドシェルを取り付ける。

トーンアームの先端にヘッドシェルを差込み、ナットを回して固定してください。

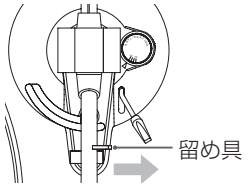


トーンアームのバランス、針圧の調整



1 アンチスケーティングの目盛を 0 にセットする。

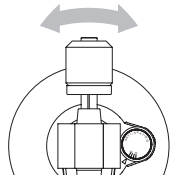
2 トーンアームの留め具を右にずらして外す。



3 アームリフターを上げ、トーンアームを左に少しずらす。

4 アームリフターを下げる。

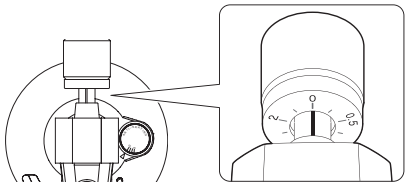
5 カウンターウエイトを回して、トーンアームが水平になるように調節する。



- カートリッジ針の保護キャップをはずした状態で調節してください。
- カートリッジの針が本機に当たらないように注意してください。

6 トーンアームを元の位置に戻し、留め具を使ってトーンアームをロックする。

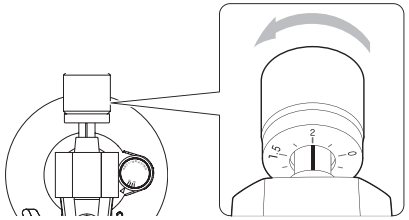
7 針圧調整用リングを回して目盛の 0 を中心線に合わせる。



- リング部のみを回します。カウンターウエイトが回らないように注意してください。

8 針圧調整用リングの目盛をカートリッジ指定の針圧になるようにカウンターウエイトを回す。

- 付属のカートリッジの針圧は 2.0g です。カウンターウエイトの目盛を 2 に合わせるように回転させます。



- 0→1→2 となるように矢印の方向に回します。

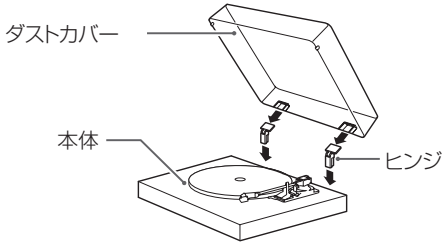
9 アンチスケーティングの目盛を調節する。

目安として目盛を 2 にセットし、レコードを再生 (7 ページ) して、左右の音量のバランスがとれた位置に調節してください。



ダストカバー

ダストカバーの取り付け



1 本体背面の左右両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを合わせて、奥まではめ込みます。

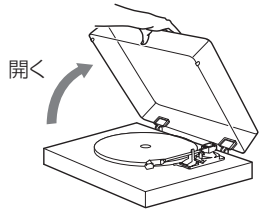
2 ヒンジの上部にダストカバーのヒンジ差し込み部を合わせ、はめ込みます。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外来音圧から針先を守ります。
- レコードの再生中に開閉しないでください。針飛びなどの原因となります。
- ホコリがかぶらないように、通常は閉めてください。

ダストカバーの外し方

ダストカバーの両端を持ち、ゆっくり上へ引き、ヒンジごと本体から外します。さらにダストカバーからヒンジを外します。

ダストカバーの開閉



開くとき

ダストカバーの前端を持って、カバーが止まるまで軽く持ち上げて開きます。
ダストカバーは開いたままの状態になります。

閉めるとき

ダストカバーをゆっくりと下ろします。

⚠ ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。

レコード針について

- レコード針が曲がる（破損する）と、音溝を正確にトレースできなくなります。レコード盤を傷めたり、故障の原因にもなりますので、レコード針は丁寧に取扱ってください。
- レコード針のお手入れは、市販のレコード針専用クリーナーを必ずお使いください。レコード針専用クリーナー以外を使った場合、レコード針が破損する恐れがあります。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗すると、音質が劣化するだけではなくレコード盤を傷める原因となります。再生時間 300 時間を目安に当社指定の交換針にお取替えください。

オーディオテクニカ製交換針（ATN95E）をお求めください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT95E」(VM 型) です。
  ※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- 交換方法は、交換針の取扱説明書に従って交換してください。

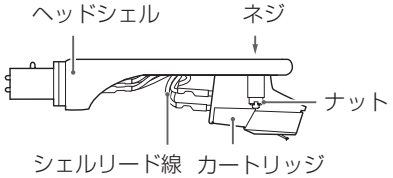
注意

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。
- お客様の不注意や外部要因による針折れなどは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

カートリッジ交換

カートリッジの交換は、ヘッドシェルをトーンアームから取り外して作業を行ってください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT95E」(VM 型) です。
  ※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- カートリッジ針の保護キャップを付けて作業することをお勧めします。

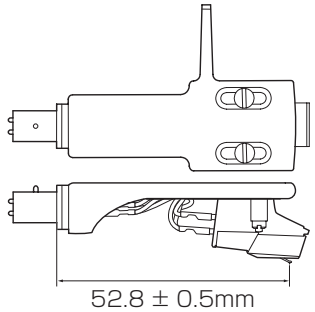


1 シェルリード線の端子をカートリッジから取り外す。

2 ネジを緩めてカートリッジを取り外す。

3 新しいカートリッジをネジを締めて取り付ける。

取り付け位置は、下図を参照してください。



4 シェルリード線の端子をカートリッジへ取り付ける。

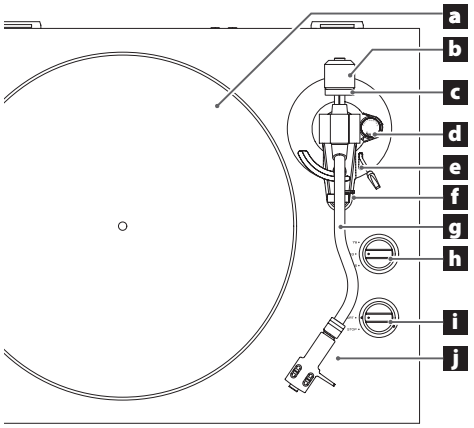
- シェルリード線の信号名と色は下図を参照してください。

信号名	色
左チャンネル ＋	白
左チャンネル －	青
右チャンネル ＋	赤
右チャンネル －	緑

5 トーンアームのバランス、針圧の調整を行う。

4 ページの「トーンアームのバランス、針圧の調整」の手順に従ってください。

各部の名称



a ターンテーブル (プラッター)

レコードをターンテーブル (プラッター) の中心にはめてください。

b カウンターウエイト

c 針圧調整用リング

d アンチスケーティングつまみ

e アームリフターレバー

レコード針の針先を上下に操作します。
指よりも安全かつ確実に操作できますので、レコード盤や針先を傷めないためにもアームリフターのご使用をお勧めします。

f トーンアームホルダー

トーンアームの支持台です。レコードを再生する前に、留め具を右にずらすようにしてはずしてください。

g トーンアーム

h 回転数切換つまみ

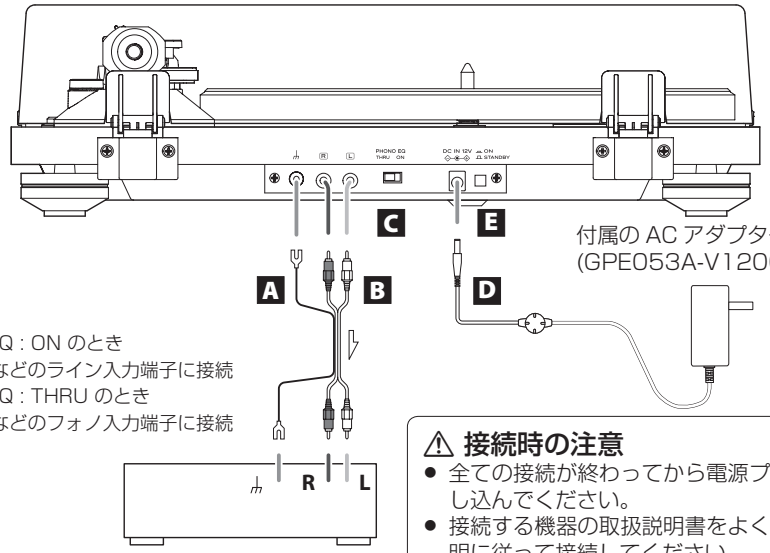
再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。

i 回転つまみ (START/STOP)

j ヘッドシェル

カートリッジ交換が容易なユニバーサルタイプです。

接続



⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アース端子 (⏚)

付属の RCA オーディオケーブルのアース線を使用して、本機のアース端子とアンプなどのアース端子を接続します。

- 安全アースではありません。

スピーカーからのノイズ音が気になるときは

オーディオケーブルのアース線を本機のアース端子に接続している場合は、アース線を外すことでノイズ音が少なくなることがあります。また、逆の場合もありますので、ノイズ音が少なくなる接続方法をお選びください。

B アナログ音声出力端子 (L/R)

アナログの音声が出力されます。
PHONO EQ スイッチの設定で出力信号が切り換わります。
付属または市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の出力端子を接続してください。

C 音声出力設定スイッチ (PHONO EQ)

ON

内蔵されたイコライザアンプで増幅された信号がアナログ音声出力端子 (L/R) から出力されます。

THRU

MC カートリッジまたは、MM カートリッジの信号を直接アナログ音声出力端子 (L/R) から出力します。
フォノイコライザーアンプや、フォノ入力端子付きアンプなど、フォノ入力がある機器に接続してお使いください。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

注意

「ON」の状態で、アンプなどの PHONO 入力に接続すると、スピーカーやヘッドホンから大音量が出力され、機器が破損したり聴覚障害の原因となります。

D DC 入力端子

他の全ての接続が終わったら、付属の AC アダプター (GPE053A-V120050) をこのジャックに接続してください。
次に、AC アダプターのプラグを交流 100V ～ 240V の電源コンセントに差し込んでください。

- 付属の AC アダプター (GPE053A-V120050) 以外は使わないでください。
- 付属の AC アダプターはブレード交換式となっています。居住地域に適合するブレードを装着してご使用下さい。

⚠ 交流 100 ～ 240 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

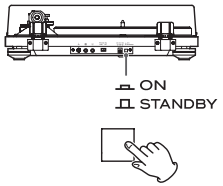
E 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源スタンバイと電源オンを切り換えます。

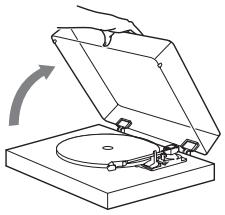
基本操作

レコードを再生する

1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにします。



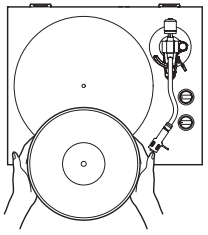
2 ゆっくりとダストカバーを開ける。



⚠ ダストカバーを開閉するときは、手などをはさまないようにご注意ください。

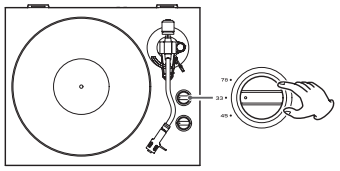
3 ターンテーブル (プラッター) にレコードをのせる。

ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、付属の EP アダプターをご使用ください。

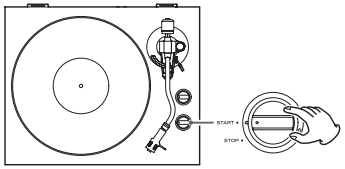


4 レコード盤に指定されている回転数を選んでください。

回転数は 33 1/3、45、78 回転の 3 種類あります。

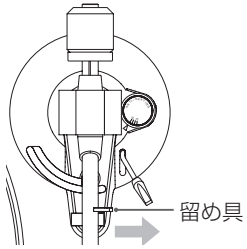


5 回転つまみ (START/STOP) を「START」の位置に回してターンテーブル (プラッター) を回転させる。

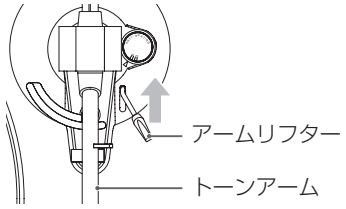


- 回転つまみ (START/STOP) を「START」の位置にすると青色の START ランプが点灯してターンテーブル (プラッター) が回転します。

6 トーンアームの留め具を右にずらして外す。

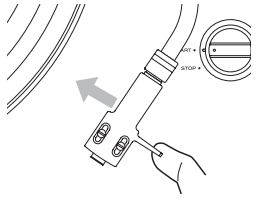


7 アームリフターを上げる。



- アームリフターを下げたまま、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

8 再生したいところまでトーンアームを移動する。



9 アームリフターをさげる。

トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤におりて再生がはじまります。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外部からの音圧を遮断するため、ノイズが起きにくくなります。

⚠ ダストカバーの上には物を置かないでください。

注意

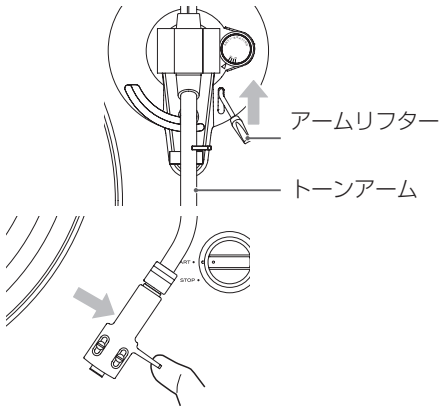
- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にターンテーブル (プラッター) の回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル（ダイレクトドライブ方式）ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

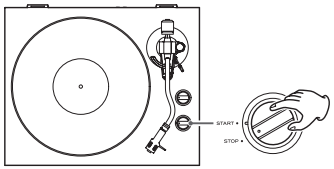
基本操作 (続き)

再生が終わったら

1 アームリフターを上げて針をレコード盤から離し、トーンアームを元の位置に戻してください。



2 回転つまみ (START/STOP) を「STOP」の位置に回して、ターンテーブル (プラッター) の回転を止める。

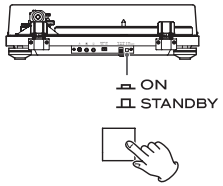


- 青色の START ランプが消えて、ターンテーブル (プラッター) が停止します。

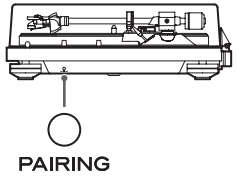
Bluetooth® スピーカーで聞くには

本機は Bluetooth 送信機を搭載しており、Bluetooth スピーカーにワイヤレスで音声を送ることができます。

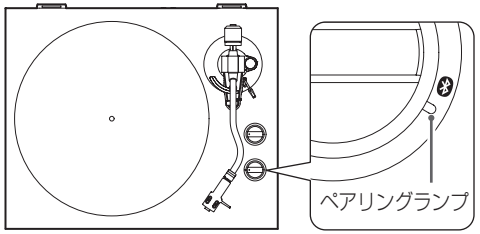
1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにする。



2 Bluetooth スピーカーとのペアリングおよび接続を行う。



ペアリングボタン



Bluetooth スピーカーとのペアリング

本機を初めて使用する場合または新しい Bluetooth 機器を本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

本機のペアリングボタン (PAIRING) を押してペアリングモードにしてください。すでにペアリング済みの Bluetooth 機器があるときは、接続モードになりますので、もう一度ペアリングボタン (PAIRING) を 2 秒以上押してペアリングモードにします。

次に、Bluetooth スピーカーをペアリングモードにしてください。

本機と Bluetooth スピーカーが接続されると、ペアリングランプが点灯に変わります。

- Bluetooth スピーカーの操作は機器の取扱説明書を見てください。
- 接続する機器によってはペアリングに時間がかかる場合があります。
- 本機は最も近くにある Bluetooth スピーカーと接続します。5 分間 Bluetooth スピーカーが見つからない場合、本機の Bluetooth 機能はスタンバイモードになりペアリングランプが消灯します。

ペアリングランプの動作

動作	状態
点灯	接続中
ゆっくり点滅	接続モード
速く点滅	ペアリングモード
消灯	スタンバイモード

ペアリング済みの Bluetooth スピーカーとの接続

本機のペアリングボタン (PAIRING) を押すと接続モードになり、ペアリング済みの Bluetooth スピーカーに接続できる状態になります。
ペアリング済みの Bluetooth スピーカーがないときは、ペアリングモードになります。

本機と Bluetooth スピーカーが接続されると、ペアリングランプが点灯に変わります。

- Bluetooth スピーカーに接続する際には、その他の Bluetooth 受信機 / スピーカーを本機の範囲外 (10m 以上) に移動するか、電源をオフにしてください。

3 レコードを再生する。

- レコードを再生している状態で Bluetooth の接続を行うことも可能です。
- 必要に応じて Bluetooth スピーカーの音量を調整してください。
- 本機側では音量を調整することはできません。
- 接続を解除するには、本機のペアリングボタン (PAIRING) を 6 秒以上押して Bluetooth をスタンバイモードにするか電源をオフにして下さい。
- ペアリングボタンを 10 秒以上押すとペアリングランプが点滅しペアリング済みの機器がすべて削除されます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

➡ AC アダプターをコンセントに差し込んでください。電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにしてください。(6、7 ページ)

音がしない

➡ 本機のアナログ音声出力端子をアンプなどの音声入力端子に接続している場合、音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) の設定を「ON」にして下さい。(6 ページ)

再生できない、雑音が入る

➡ 保護キャップをはずしてください。

➡ 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となります。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。(4 ページ)

➡ レコード針をクリーニングしてください。(5 ページ)

➡ レコード針が摩耗していたら、交換してください。(5 ページ) 針の寿命は、使用環境にもよりますが約 300 時間です。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

レコード再生中にノイズが出る

➡ カートリッジ指定の値よりも高い針圧の場合はノイズが 出やすくなります。指定の値になるように針圧の調整をやりなおしてください。(4 ページ)

音程がおかしい

➡ レコード盤に指定されている回転数を選んでください。(7 ページ)

音飛びする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

➡ レコード盤の汚れをクリーニングしてください。

➡ 傷が付いたレコードは使わないでください。

➡ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。(4 ページ)

カートリッジ指定の値よりも低い針圧の場合は音飛び (針飛び) しやすくなります。

接続したい Bluetooth スピーカーに接続できない

➡ 本機と Bluetooth 機器の電源を一度オフにして、再び電源をオンにしてペアリング動作を試してください。

➡ 10m 以内の Bluetooth スピーカーの電源をオフにしてください。最も近い Bluetooth スピーカーとペアリングされます。

Bluetooth スピーカーとの接続には成功しているが、再生音が聴こえない。

➡ Bluetooth スピーカーの音量を確認してください。

➡ 本機のペアリングボタン (PAIRING) を 6 秒以上押して、一度 Bluetooth スピーカーとの接続を解除してください。その後、ペアリング接続をもう一度行ってください。

➡ 本機の電源を入れなおし、ペアリングボタン (PAIRING) を押してペアリングをやり直してください。

スマートフォンと接続できない

➡ 本機は Bluetooth 送信機として機能し、音声を他の Bluetooth スピーカーへ送ることができます。

Bluetooth 受信機としては機能しないため、スマートフォンと接続はできません。

仕様

ターンテーブル (プラッター) 部

駆動方式 . . . . . ベルトドライブ
モータ . . . . . DC モータ
回転数 33 1/3rpm, 45rpm, 78rpm
回転数偏差 . . . . . ± 2%
ワウ・フラッター . . . . . 0.2% 以下
SN 比 67dB (A-weighted、20KHz LPF) 以上
ターンテーブル (プラッター) . . . アルミダイカスト
直径 30cm

トーンアーム部

アーム形式
スタティックバランス S 字型トーンアーム
実効アーム長 223mm
針圧可変範囲 . . . . . 0 ～ 5g
適用カートリッジ質量 . . . . . 4.0 ～ 8.0g

カートリッジ部

形式 . . . . . VM 型（MM 型と同等）
出力電圧 3.5mV (1kHz,5cm/sec)
針圧 . . . . . 2.0 ± 0.5g
カートリッジ質量 . . . . . 5.7 ± 0.5g
付属ヘッドシェル質量
10g (ネジ、ナット、ワイヤー含む)

- 針の寿命は、使用環境にもよりますが約 300 時間です。
- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT95E」（VM 型）です。
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- レコード交換針型番：
オーディオテクニカ社製　ATN95E

出力電圧

PHONO EQ THRU. . 3.5mV (1kHz,5cm/sec)
PHONO EQ ON . . . . . 155mV (− 16dBV)
出力端子 . . . . . RCA ジャック

Bluetooth 機能

Bluetooth バージョン . . . 5.2 (DUAL MODE)
出力クラス . . . . . Class 2
対応プロファイル A2DP
コーデック . . . . . SBC、AAC、
Qualcomm aptX audio
ペアリング登録可能台数 . . . . . 8 台

一般

AC アダプター電源
入力 . . . AC 100V ～ AC 240V 50/60Hz
出力 . . . . . DC 12 V 500mA
消費電力
スタンバイ . . . . . 0.5W 以下
オン (START) . . . . . 1.5W 以下
質量 . . . . . 約 4.9kg
動作保証温度 . . . . . 5℃～35℃
外形寸法 (幅、高さ、奥行) (突起部を含む)
ダストカバー閉めた場合
420 x 117 x 356 mm
ダストカバー開けた場合
420 x 381 x 402 mm
ダストカバー外した場合
420 x 102 x 356 mm

- 性能データは、20℃で規定しています。

付属品

フェルトマット x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
カウンターウエイト x 1
ヘッドシェル x 1
オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ「AT95E」を装着済み
ターンテーブル (プラッター) x 1
ダストカバー x 1
ダストカバー取付用ヒンジ x 2
GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-V120050) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

The lightning flash with arrowhead in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that could be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

The exclamation point in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

WARNING: TO PREVENT FIRE OR SHOCK HAZARD, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

CAUTION

- DO NOT REMOVE THE EXTERNAL CASES OR CABINETS TO EXPOSE THE ELECTRONICS. NO USER SERVICEABLE PARTS ARE INSIDE.
- IF YOU ARE EXPERIENCING PROBLEMS WITH THIS PRODUCT, CONTACT THE STORE WHERE YOU PURCHASED THE UNIT FOR A SERVICE REFERRAL. DO NOT USE THE PRODUCT UNTIL IT HAS BEEN REPAIRED.
- USE OF CONTROLS OR ADJUSTMENTS OR PERFORMANCE OF PROCEDURES OTHER THAN THOSE SPECIFIED HEREIN MAY RESULT IN HAZARDOUS RADIATION EXPOSURE.

1) Read these instructions.
2) Keep these instructions.
3) Heed all warnings.
4) Follow all instructions.
5) Do not use this apparatus near water.
6) Clean only with dry cloth.
7) Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
8) Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
9) Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
10) Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
11) Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
12) Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.



13) Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
14) Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.
    - The apparatus draws nominal non-operating power from the AC outlet with its POWER or STANDBY/ON switch not in the ON position.
    - The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
    - Caution should be taken when using earphones or headphones with the product because excessive sound pressure (volume) from earphones or headphones can cause hearing loss.

IN USA/CANADA, USE ONLY ON 120V SUPPLY.

CAUTION

- Do not expose this apparatus to drips or splashes.
- Do not place any objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Do not install this apparatus in a confined space such as a book case or similar unit.
- The apparatus should be located close enough to the AC outlet so that you can easily reach the power cord plug at any time.

Model for USA

Declaration of Conformity
Model number: TN-400BT
Trade name: TEAC
Responsible party: 11 Trading Company, LLC
Address: 3502 Woodview Trace #200 Indianapolis, IN 46268 U.S.A.
URL: https://11tradingcompany.com/contact-us/
Telephone number: 1-201-785-2600
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Information
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the equipment and/or the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Model for Canada

Innovation, Science and Economic Development Canada's Compliance Statement:
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Model for Europe

For European Customers

Disposal of electrical and electronic equipment and batteries and/or accumulators

a) All electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators should be disposed of separately from the municipal waste stream via collection facilities designated by the government or local authorities.

b) By disposing of electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators correctly, you will help save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment.

c) Improper disposal of waste electrical/electronic equipment and batteries/accumulators can have serious effects on the environment and human health because of the presence of hazardous substances in the equipment.

d) The Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) symbols, which show wheeled bins that have been crossed out, indicate that electrical/electronic equipment and batteries/accumulators must be collected and disposed of separately from household waste.

If a battery or accumulator contains more than the specified values of lead (Pb), mercury (Hg), and/or cadmium (Cd) as defined in the Battery Directive (2006/66/EC, 2013/56/EU), then the chemical symbols for those elements will be indicated beneath the WEEE symbol.

Pb, Hg, Cd

e) Return and collection systems are available to end users. For more detailed information about the disposal of old electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators, please contact your city office, waste disposal service or the shop where you purchased the equipment.

Compliance of radio transmitter and interference

This product has the function of broadband transmitter using 2.4GHz Band.

Use frequency range: 2402 MHz – 2480 MHz
Maximum output power: Bluetooth® Class 2 (less than 2.5 mW)

Please use only in the country where you purchased the product. Depending on the country, restrictions on the use of Bluetooth wireless technology might exist.

Model for USA
Labeling of authorization
FCC ID: XEG-TN400BT-Q

Model for Canada
Compliance of radio transmitter
This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

1) This device may not cause interference.
2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Labeling of authorization
IC: 1559C-TN400BT

Model for EEA (European Economic Area)

CE Hereby, TEAC Corporation declares that the radio equipment type is in compliance with Directive 2014/53/EU., and the other Directives, and Commission Regulations.

Model for UK

Hereby, TEAC CORPORATION declares that the radio equipment type is in compliance with UK Radio Equipment Regulations. UKCA

The full text of the EU or UK declaration of conformity is available at the following internet address. Please contact us by e-mail.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Radiation Exposure requirements

This equipment meets the regulation, which is recognized internationally, for the case of human exposure to radio waves generated by the transmitter.

Statement of compliance

Model for USA/Canada
This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment has very low levels of RF energy that it deemed to comply without maximum permissive exposure evaluation (MPE). But it is desirable that it should be installed and operated keeping the radiator at least 20 cm or more away from person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

Model for EEA and UK
This equipment complies with EN.62479; Assessment of electronic and electrical equipment related to human exposure restrictions for electromagnetic fields.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Table of contents

Thank you for choosing TEAC.
Read this manual carefully to get the best performance from this unit.
After reading it, keep it in a safe place for future reference.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS 12
Before use 14
Handling records 14
Preparing the record player 15
Dust cover 16
Notes about record styluses 17
Changing the cartridge 17
Names and functions of parts 17
Connections 18
Basic operation 19
Listening with Bluetooth® speakers 20
Troubleshooting 20
Specifications 21

Before use

Included items

Check to be sure the box includes all the supplied accessories shown below. Please contact the store where you purchased this unit if any of these accessories are missing or have been damaged during transportation.

Felt mat × 1
45 RPM adapter × 1
Counterweight × 1
Headshell × 1
Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo cartridge (AT95E) preinstalled
Platter × 1
Dust cover × 1
Dust cover hinges × 2
RCA audio cable with grounding terminal × 1
AC adapter (GPE053A-V120050) × 1
Owner's manual (this document, including warranty) × 1

- For information about the warranty, users living in the USA and Canada should see page 82 and the back cover (warranty document). Users living in Europe and other regions should see page 83.

Using the TEAC International Site

You can download updates for this unit from the TEAC International Site:

https://teac.jp/int/

Click Language at the top right of the page and select the desired country or region to access a page in the corresponding language.

Precautions for use

- Place the unit on a flat surface.
- Do not place anything on the dust cover. Objects on the cover might cause noise due to vibrations or fall off, especially during playback.
- Avoid placing the unit in direct sunlight, close to a source of heat or in other similar conditions. Do not place the unit on top of an amplifier or other equipment that might generate heat that exceeds the operating temperature range of this unit. Doing so could cause discoloration, deformation or malfunction.
- As the unit could become warm during operation, always leave sufficient space around it for ventilation. When installing this unit, leave a little space (at least 20 cm (8″)) between it and other devices and walls to allow good heat dissipation.
  When placing it in a rack, for example, leave at least 35 cm (13 3/4″) open above it and 10 cm (4″) open behind it. Failure to provide these gaps could cause heat to build up inside and result in fire.
- DO NOT MOVE THE UNIT DURING PLAYBACK. During playback, the record rotates. Do not lift or move the unit during playback. Doing so may damage the record, the stylus, the cartridge or the unit.
- Always remove the record before relocating or moving this unit. Moving the unit with a record on the turntable could damage the record, the stylus and the cartridge or could cause a malfunction.
- The voltage supplied to the unit should match the voltage as printed on the rear panel. If you are in any doubt regarding this matter, consult an electrician.

Maintenance

If the surface of the unit gets dirty, wipe it with a soft cloth or use diluted mild liquid soap. Allow the surface of the unit to dry completely before using.

- Do not use chemical cleaning cloths, thinner or similar substances as they could damage the surface of the unit.

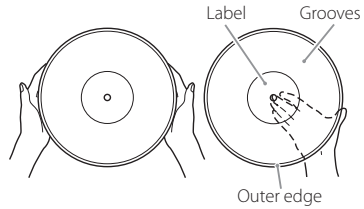
⚠ CAUTION

For safety, disconnect the power cord from the socket before cleaning.

Handling records

Holding records

When holding a record or removing it from its sleeve, avoid touching the grooves by holding the record by its label and edge with one hand or by holding it by its edge with both hands.



Cleaning

- Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip, as well as damage the record itself and the stylus. Use a commercially-available record cleaner to clean records. Do not use thinner or anything other than a record cleaner. Such chemicals could harm the surface of the record.
- When using a record cleaner, wipe the surface of the record in a circular motion, following the grooves.



Precautions for use

- Do not leave records in places that are exposed to direct sunlight or are very hot or very humid. Leaving a record in such a condition for a long time could result in warping, mold growth or other damage.
- Do not stack multiple records or place heavy objects on top of them. Do not leave records at an angle for long amounts of time either. Doing so could result in warping or other damage.
- Do not allow hard objects to directly touch the audio grooves. Doing so could cause scratches.
- After you finish playing a record, always put it back into its sleeve for storage. Leaving a record unprotected could result in warping or scratching.
- Do not use cracked records.

Preparing the record player

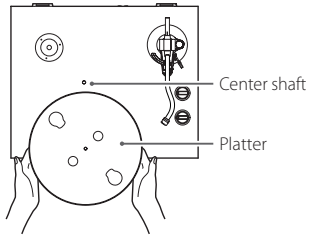
Keep the unit in standby while setting it up (E on page 18).

1 Place it on a flat surface.

Place it on a flat surface so that the record can be accurately traced.

2 Install the platter.

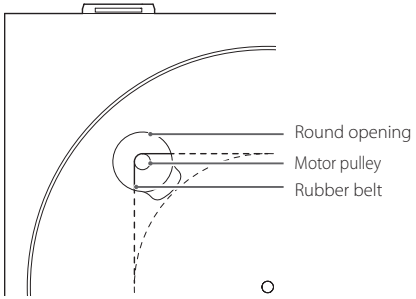
Align the platter with the center shaft and install it.



3 Loop the belt around the motor pulley.

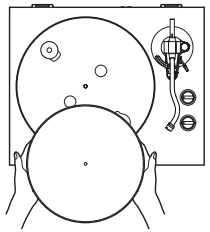
The rubber belt is wrapped around the sub-platter. Use a finger to pull the rubber belt through the round opening.

- Be careful not to let the rubber become twisted.
- Rotate the platter several times to make sure that the rubber belt is secure.



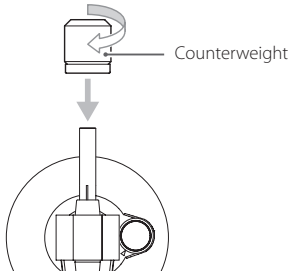
4 Place the felt mat on the platter.

Place the included felt mat on the platter before use.



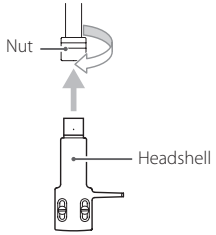
5 Install the counterweight.

Place the counterweight over the end of the tonearm, and press it gently as you turn it right to attach it.

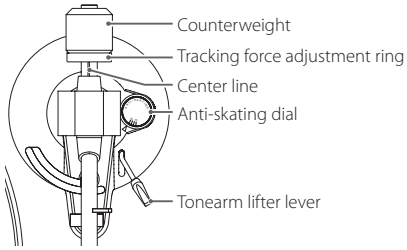


6 Install the headshell.

Insert the headshell on the end of the tonearm and turn the nut to secure it in place.

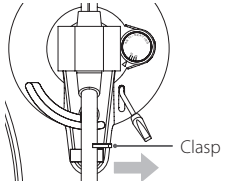


Balancing the tonearm and adjusting the tracking force



1 Set the anti-skating dial to zero.

2 Move the tonearm clasp to the right to remove it.



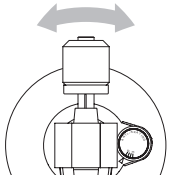
3 Raise the tonearm lifter lever and shift the tonearm to the left slightly.

4 Lower the tonearm lifter lever.

Continued on the next page ➡

Preparing the record player (continued)

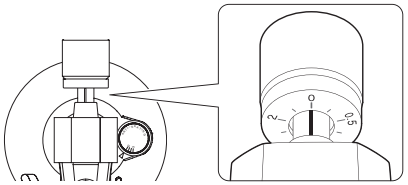
5 Turn the counterweight and adjust so that the tonearm is level.



- Remove the protective cap from the cartridge stylus before adjusting.
- Be careful not to let the cartridge stylus touch the unit.

6 Return the tonearm to its original position, and use the clasp to lock it.

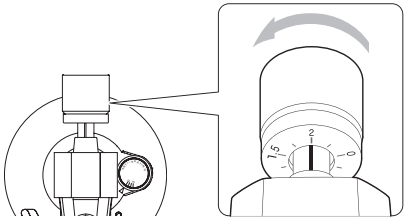
7 Turn the tracking force adjustment ring so that the center line aligns with 0 on the scale.



- Only turn the ring. Be careful not to let the counterweight turn.

8 Turn the counterweight so that the tracking force adjustment ring scale matches the tracking force specified for the cartridge.

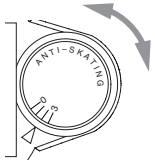
- The tracking force of the included cartridge is 2.0 g. So, turn it to 2 on the counterweight scale when using the included cartridge.



- Turn it in the direction of the arrow in the illustration above so that the value changes from 0 to 1 to 2.

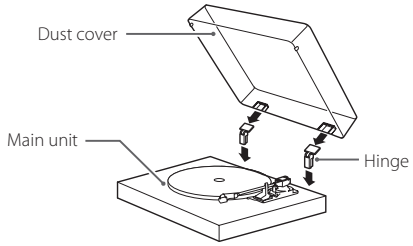
9 Adjust the anti-skating dial.

Start with it set at 2 and adjust it during record playback (page 19) to the position where the left and right volumes are balanced.



Dust cover

Attaching the dust cover



1 Insert the hinges completely into the hinge holders at the left and right ends of the back of the main unit.

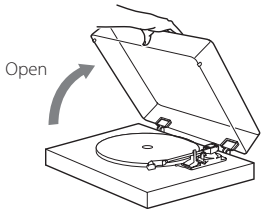
2 Align the tops of the hinges with the dust cover hinge holders and insert them.

- Close the dust cover during playback. Since doing this prevents skipping caused by unintended contact and blocks external sound pressure, it makes noise less likely to occur.
- Do not open or close it when a record is playing. Doing so could, for example, cause the stylus to skip.
- Keep it closed whenever possible to keep dust out.

Removing the dust cover

Hold both edges of the dust cover and lift it slowly to remove it along with the hinges from the unit. Then, remove the hinges from the dust cover.

Opening and closing the dust cover



Opening

Hold the front edge of the dust cover and gently lift it open completely until it stops.
The dust cover will stay open in this position.

Closing

Gently lower the dust cover until it is closed.

⚠ Be careful not to pinch your finger, for example, when opening and closing the dust cover.

Notes about record styluses

- If the stylus becomes bent (damaged), it will no longer be able to accurately trace the groove. Since a bent stylus could also damage records and cause malfunction, handle styluses carefully.
- Always use a commercially-available stylus cleaner to clean a stylus. Use of anything other than a stylus cleaner could damage the stylus.

Replacing the stylus

If the tip of the stylus becomes worn, not only will it worsen the sound quality, it could also damage records. After about 300 hours of playback time, replace the stylus with one that we specify.

Please use an Audio-Technica ATN95E replacement stylus.

- An Audio-Technica AT95E VM Type cartridge is installed in this unit.

NOTE

VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.

- Follow the replacement instructions in the manual of the replacement stylus.

CAUTION

- Since loud noises could suddenly occur, put the unit into standby before changing the stylus.
- Be careful not to hurt your hand or the equipment.
- Be careful not to allow small children to accidentally swallow styluses.
- Be aware that bent styluses, for example, that result from insufficient customer caution or an outside cause are not covered by the warranty.

Changing the cartridge

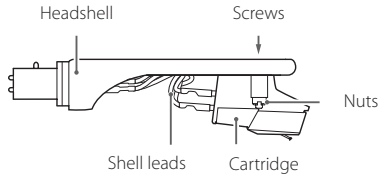
To change the cartridge, first remove the headshell from the tonearm.

- An Audio-Technica AT95E VM Type cartridge is installed in this unit.

NOTE

VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.

- We recommend that you attach the protective cap to the cartridge stylus before doing this task.

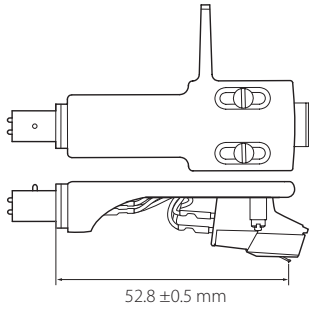


1 Disconnect the shell lead terminals from the cartridge.

2 Loosen the screws and remove the cartridge.

3 Attach the new cartridge and tighten the screws.

See the illustration below for the position of the screws when attached.



4 Connect the shell lead terminals to the cartridge.

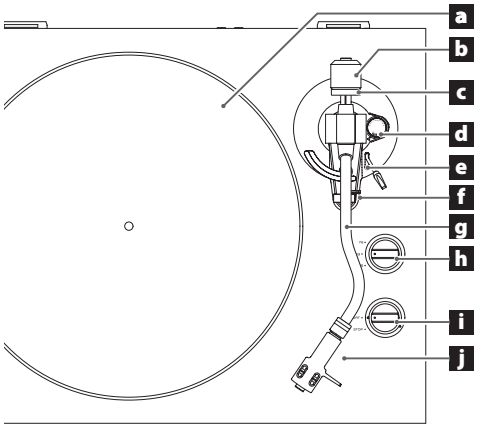
- The signals and colors of the shell leads are shown below.

Signal	Color
Left channel +	White
Left channel –	Blue
Right channel +	Red
Right channel –	Green

5 Balance the tonearm and adjust the tracking force.

Follow the procedures in "Balancing the tonearm and adjusting the tracking force" on page 15.

Names and functions of parts



a Platter

Place records centered on the platter.

b Counterweight

c Tracking force adjustment ring

d Anti-skating dial

e Tonearm lifter lever

Use to raise and lower the tonearm.
We recommend using the tonearm lifter lever to avoid damaging records and styluses, because it is safer and more certain than using a finger to do so.

f Tonearm holder

This is a rest for the tonearm. Move the clasp to the right to release the tonearm before playing a record.

g Tonearm

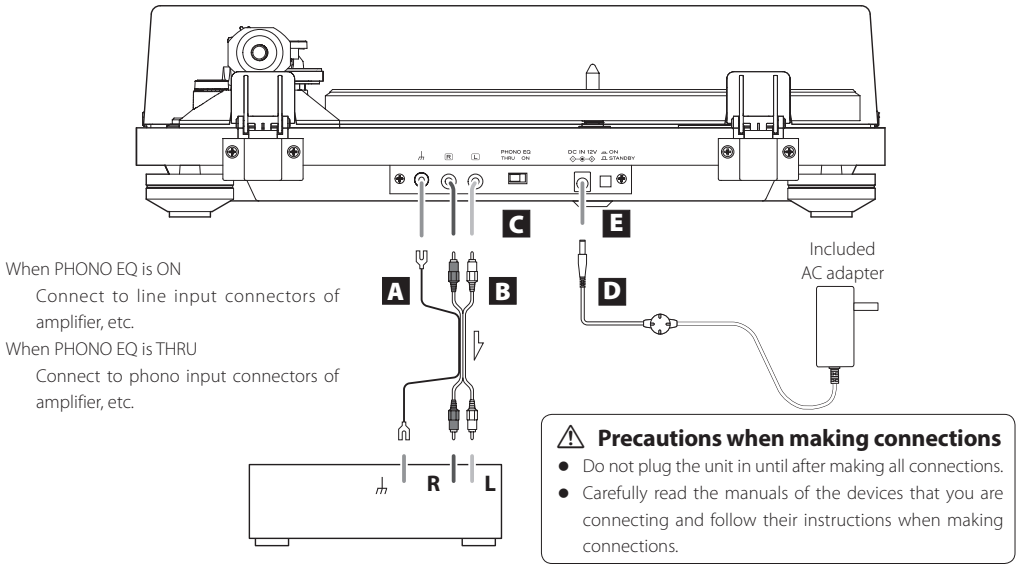
h Rotation speed setting knob

Select the rotation speed indicated on the record to be played.

i START/STOP rotation knob

j Headshell

This is a universal type that allows the cartridge to be changed easily.



⚠ Precautions when making connections

- Do not plug the unit in until after making all connections.
- Carefully read the manuals of the devices that you are connecting and follow their instructions when making connections.

A Grounding terminal (⏚)

Use the grounding wire of the included RCA audio cable to connect this connector to the grounding terminal of the amplifier, for example.

- This is NOT an electrical safety ground.

If noise from speakers is conspicuous

If connecting the grounding wire of the audio cable to the grounding terminal of this unit does not reduce noise, disconnect the grounding wire and check the sound again. Use the method (connected/disconnected) that has the least noise.

B Analog audio output connectors (L/R)

These output analog audio signals.

The PHONO EQ switch setting changes the type of output signal.

Use the included audio cable (or commercially-available ones) to connect other equipment to the output connectors of this unit.

C PHONO EQ (audio output setting) switch

ON

Signals that have been amplified by the built-in equalizer amp are output from the analog audio output connectors (L/R).

THRU

The MC or MM cartridge signal is output directly through the analog audio output connectors (L/R). Connect to a device with phono inputs, such as a phono equalization preamplifier or an amplifier with phono input connectors.

- When shipped new from the factory, this is set to ON.

CAUTION

When set to ON, if connected to the PHONO inputs of an amplifier, for example, the output from speakers and headphones will be very loud, which could damage equipment or harm hearing.

D DC input connector

After completing all other connections, connect the included AC adapter to this connector.

Confirm that the power plug of the AC adapter is plugged into a power outlet.

- Do not use any AC adapter other than the one included.
- The included AC adapter has plugs that can be changed. Attach the plug that suits the region where it is being used.

⚠ Be sure to connect the power cord to an AC outlet that supplies the correct voltage. Connection to an outlet that supplies incorrect voltage could cause fire or electric shock.

⚠ Hold the power plug when plugging it into an outlet or unplugging it. Never pull or yank on the power cord.

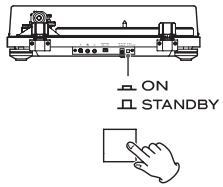
⚠ Unplug the power cord from the outlet when you are not planning to use the unit for an extended period of time.

E STANDBY/ON button

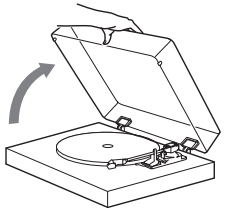
Press the STANDBY/ON button to turn the unit on or put it in standby.

Playing records

1 **Press the STANDBY/ON button on the back of the unit to turn it on.**



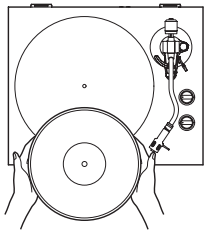
2 **Open the dust cover slowly.**



⚠ **Be careful not to pinch your hand, for example, when opening and closing the dust cover.**

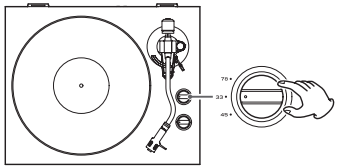
3 **Place a record on the platter.**

When playing a 45 RPM large-hole single record, use the included adapter.

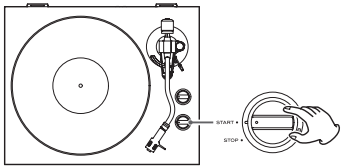


4 **Select the rotation speed indicated on the record.**

The rotation speed can be set to 33 1/3, 45 or 78 RPM.

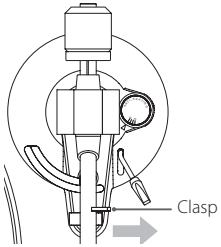


5 **Turn the START/STOP rotation knob to START to start the platter.**

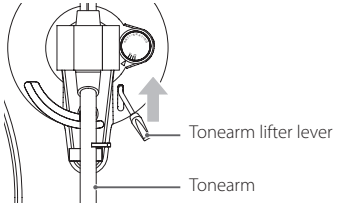


- When the START/STOP rotation knob is set to START, the platter will start rotating and the blue START lamp will light.

6 **Slide the tonearm clasp to the right to remove it.**

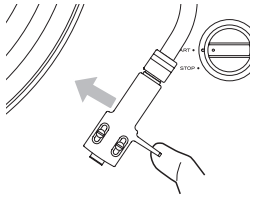


7 **Raise the tonearm lifter lever.**



- You can also move the tonearm to above the record without raising the tonearm lifter lever and then slowly lower the tonearm to start playback.

8 **Move the tonearm to the track where you want to start playback.**



9 **Use the tonearm lifter lever to lower the tonearm.**

The tonearm lowers slowly until the stylus touches the record and playback begins.

- Close the dust cover during playback. Doing so reduces the occurrence of noise by preventing skipping caused by unintended contact and blocking external sound pressure.

⚠ **Do not place anything on the dust cover.**

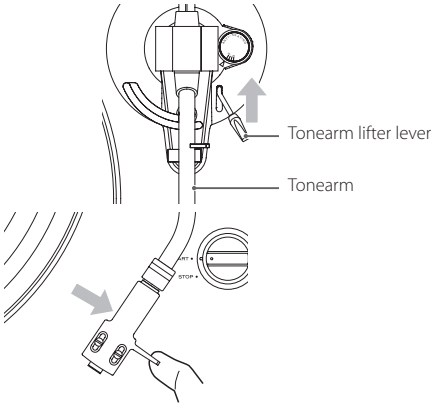
ATTENTION

- During playback, do not touch the tonearm or the record. Doing so could damage the stylus tip and cause scratches on the record.
- Do not forcibly stop platter rotation during playback. Since this product is not a turntable designed for DJs (direct drive), doing something like this could cause malfunction.

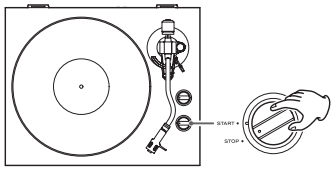
During record playback, feedback could occur if the volume is too loud. If this happens, lower the volume of the amplifier.

When playback finishes

1 **Raise the tonearm lifter lever to separate the stylus from the record, and return the tonearm to its original position.**



2 **Turn the START/STOP rotation knob to STOP to stop the platter.**



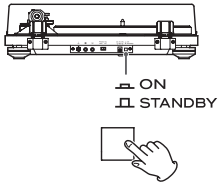
- The blue START lamp will become unlit and the platter will stop.

ENGLISH

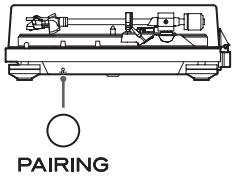
Listening with Bluetooth® speakers

This unit has a Bluetooth transmitter that can send sound to Bluetooth speakers wirelessly.

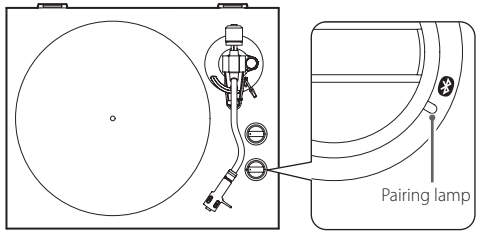
1 Press the STANDBY/ON button on the back of the unit to turn it on.



2 Pair and connect the Bluetooth speakers.



PAIRING button



Pairing Bluetooth speakers

Pairing this unit with another Bluetooth device is necessary the first time you connect with that Bluetooth device.

Press the PAIRING button on this unit to activate pairing mode. If another Bluetooth device has already been paired with this unit, connection mode will be activated. Press the PAIRING button again for at least two seconds to activate pairing mode.

Put the Bluetooth speaker into pairing mode.

When this unit and the Bluetooth speaker are connected, the pairing lamp will stay lit without blinking.

- Refer to the operation manual of the Bluetooth speaker for information about how to use it.
- Pairing might take some time depending on the connected device.
- This unit will connect to the closest Bluetooth speaker. If no Bluetooth speaker is found for five minutes, Bluetooth standby mode will begin and the pairing lamp will become unlit.

Pairing light meaning

State	Meaning
Lit	Connected
Blinking slowly	Connection mode
Blinking rapidly	Pairing mode
Unlit	Standby mode

Connecting already paired Bluetooth speakers

Press the PAIRING button on this unit to activate connection mode, enabling connection with Bluetooth speakers that have already been paired.
If no Bluetooth speakers have already been paired, this will activate pairing mode.

When this unit and the Bluetooth speaker are connected, the pairing lamp will stay lit without blinking.

- When connecting to a Bluetooth speaker, move other Bluetooth speakers and receiving devices at least 10 meters (33 ft.) away from this unit or turn them off.

3 Play a record.

- Bluetooth connection is also possible while a record is playing.
- Adjust the Bluetooth speaker volume if necessary.
- This unit cannot be used to adjust the volume.
- To end a connection, press the PAIRING button on this unit for at least six seconds to enter Bluetooth standby mode or turn this unit off.
- Pressing the PAIRING button for 10 or more seconds will cause the pairing lamp to blink and clear all existing pairings with other devices.

Troubleshooting

If you experience a problem with this unit, please check the following items before requesting service. Something other than this unit could also be the cause of the problem. Please also check that the connected devices are also being used properly. If it still does not operate correctly, contact the retailer where you purchased the unit.

No power.

➡ Confirm that the AC adapter is plugged into an outlet. Then, press the STANDBY/ON button to turn the unit on (page 18).

There is no sound.

➡ When connecting this unit's analog audio output connectors to the audio input connectors of an amplifier or other equipment, set the PHONO EQ (audio output setting) switch to ON (page 18).

Playback is not possible; there is noise.

➡ Remove the protective cap.

➡ Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip. Use a commercially-available record cleaner to clean records (page 14).

➡ Clean the stylus (page 17).

➡ If the stylus is worn-out, replace it (page 17). The lifespan of a stylus depends on the use conditions, but it is usually about 300 hours.

➡ Place the unit as far away as possible from TVs, microwave ovens and other devices that emit electromagnetic waves.

Noise occurs when a record is playing.

➡ Noise could occur if the tracking force is higher than cartridge's specified value. Readjust the tracking force so that it is the specified value (page 15).

The pitch is wrong.

➡ Select the rotation speed indicated on the record (page 19).

The sound is skipping.

➡ Vibrations will cause skipping. Place this unit in a stable location.

➡ Clean the record.

➡ Do not use scratched records.

➡ Balance the tonearm and readjust the tracking force (page 15). The stylus and sound might skip if the tracking force is lower than the cartridge's specified value.

Connection is not possible with the Bluetooth speaker I want to connect.

➡ Turn both this unit and the Bluetooth device off once. Turn them both on and try pairing again.

➡ Turn off the power of other Bluetooth speakers within 10 meters (33 ft). The closest Bluetooth speaker will be paired.

Connection with the Bluetooth speaker succeeded, but I cannot hear any playback sound.

➡ Check the volume of the Bluetooth speaker.

➡ Press the PAIRING button on this unit for at least six seconds to disconnect the Bluetooth speaker once. Then, try pairing again.

➡ Turn this unit off and then on again. Then, press the PAIRING button to try pairing again.

Connection with the smartphone is not possible.

➡ This unit functions as a Bluetooth transmitter, and it can send sound to Bluetooth speakers.
Since it does not function as a Bluetooth receiver, it cannot be connected to a smartphone.

Specifications

Platter

Drive system ..... Belt drive
Motor ..... DC motor
Rotation speed ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
Rotation speed variation ..... ±2%
Wow and flutter ..... 0.2% or less
SN ratio ..... 67 dB or higher (A-weighted, 20 kHz LPF)
Platter ..... Aluminum die-cast
30cm (12″) diameter

Tonearm

Tonearm type ..... Static-balanced S-shaped tonearm
Effective tonearm length ..... 223 mm
Tracking force variation range ..... 0–5 g
Acceptable cartridge weight ..... 4.0–8.0 g

Cartridge

Type ..... VM (equivalent to MM)
Output voltage ..... 3.5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Tracking force ..... 2.0 ±0.5 g
Cartridge weight ..... 5.7 ±0.5 g
Included headshell weight
10 g (including screws, nuts and wires)

- The lifespan of a stylus depends on the use conditions but is usually about 300 hours.
- An Audio-Technica AT95E VM Type cartridge is installed in this unit.
  Note: VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.
- Replacement stylus model: Audio-Technica ATN95E

Output voltage

PHONO EQ THRU ..... 3.5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Output connectors ..... RCA

Bluetooth function

Bluetooth version ..... 5.2 (DUAL MODE)
Output class ..... Class 2
Supported profile A2DP
Codecs ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Maximum number of stored pairings ..... 8 devices

General

AC adapter power
Input ..... AC 100 V – AC 240 V, 50/60 Hz
Output ..... DC 12 V, 500 mA
Power consumption
Standby ..... 0.5 W or less
On (START) ..... 1.5 W or less
Weight ..... 4.9 kg (10 7/8 lb)
Operating temperature range ..... 5°C to 35°C
Dimensions (W × H × D) (including protrusions)
When the dust cover is closed
420 × 117 × 356 mm (16 5/8″ × 4 5/8″ × 14 1/8″)
When the dust cover is open
420 × 381 × 402 mm (16 5/8″ × 15″ × 15 7/8″)
When the dust cover is removed
420 × 102 × 356 mm (16 5/8″ × 4 1/8″ × 14 1/8″)

- Performance data is specified at 20°C.

Included items

Felt mat × 1
45 RPM adapter × 1
Counterweight × 1
Headshell × 1
Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo cartridge (AT95E) preinstalled
Platter × 1
Dust cover × 1
Dust cover hinges × 2
RCA audio cable with grounding terminal × 1
AC adapter (GPE053A-V120050) × 1
Owner's manual (this document, including warranty) × 1

- For information about the warranty, users living in the USA and Canada should see page 82 and the back cover (warranty document). Users living in Europe and other regions should see page 83.

- Specifications and appearance are subject to change without notice.
- Weight and dimensions are approximate.
- Illustrations in this owner's manual might differ slightly from production models.

INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

ATTENTION : POUR RÉDUIRE LE RISQUE D'ÉLECTROCUTION, NE RETIREZ PAS LE CAPOT (OU L'ARRIÈRE). AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR. CONFIEZ TOUTE RÉPARATION À UN SERVICE APRÈS-VENTE QUALIFIÉ.

Le symbole d'éclair à tête de flèche dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence dans l'enceinte du produit d'une « tension dangereuse » non isolée d'une grandeur suffisante pour constituer un risque d'électrocution pour les personnes.

Le point d'exclamation dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence d'instructions importantes de fonctionnement et de maintenance (entretien) dans les documents accompagnant l'appareil.

AVERTISSEMENT : POUR PRÉVENIR LES RISQUES D'INCENDIE ET D'ÉLECTROCUTION, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE NI À L'HUMIDITÉ.

ATTENTION

- NE RETIREZ PAS LES CAPOTS EXTERNES OU BOÎTIERS POUR EXPOSER L'ÉLECTRONIQUE. AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR.
- SI VOUS RENCONTREZ DES PROBLÈMES AVEC CE PRODUIT, CONTACTEZ LE MAGASIN OÙ VOUS AVEZ ACHETÉ L'UNITÉ. N'UTILISEZ PAS LE PRODUIT TANT QU'IL N'A PAS ÉTÉ RÉPARÉ.
- L'UTILISATION DE COMMANDES, DE RÉGLAGES OU LE SUIVI DE PROCÉDURES AUTRES QUE CE QUI EST DÉCRIT DANS CE DOCUMENT PEUT PROVOQUER UNE EXPOSITION À UN RAYONNEMENT DANGEREUX.

1) Lisez ces instructions.
2) Conservez ces instructions.
3) Tenez compte de tous les avertissements.
4) Suivez toutes les instructions.
5) N'utilisez pas cet appareil avec de l'eau à proximité.
6) Ne nettoyez l'appareil qu'avec un chiffon sec.
7) Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Installez-le conformément aux instructions du fabricant.
8) N'installez pas l'appareil près de sources de chaleur telles que des radiateurs, bouches de chauffage, poêles ou autres appareils (y compris des amplificateurs) dégageant de la chaleur.
9) Ne neutralisez pas la fonction de sécurité de la fiche polarisée ou de terre. Une fiche polarisée a deux broches, l'une plus large que l'autre. Une fiche de terre a deux broches identiques et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche plus large ou la troisième broche servent à votre sécurité. Si la fiche fournie n'entre pas dans votre prise, consultez un électricien pour le remplacement de la prise obsolète.
10) Évitez de marcher sur le cordon d'alimentation et de le pincer, en particulier au niveau des fiches, des prises secteur, et du point de sortie de l'appareil.
11) N'utilisez que des fixations/accessoires spécifiés par le fabricant.
12) Utilisez-le uniquement avec des chariots, socles, trépieds, supports ou tables spécifiés par le fabricant ou vendus avec l'appareil. Si un chariot est utilisé, faites attention à ne pas être blessé par un renversement lors du déplacement de l'ensemble chariot/appareil.



13) Débranchez cet appareil en cas d'orage ou de non utilisation prolongée.
14) Confiez toute réparation à des techniciens de maintenance qualifiés. Une réparation est nécessaire si l'appareil a été endommagé d'une quelconque façon, par exemple si le cordon ou la fiche d'alimentation est endommagé, si du liquide a été renversé sur l'appareil ou si des objets sont tombés dedans, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, s'il ne fonctionne pas normalement, ou s'il est tombé.
    - L'appareil tire un courant nominal de veille de la prise secteur quand son interrupteur POWER ou STANDBY/ON n'est pas en position ON.
    - La fiche secteur est utilisée comme dispositif de déconnexion et doit donc toujours rester disponible.
    - Des précautions doivent être prises en cas d'utilisation d'écouteurs ou d'un casque avec le produit car une pression sonore excessive (volume trop fort) dans les écouteurs ou dans le casque peut causer une perte auditive.

AUX USA/CANADA, UTILISEZ UNIQUEMENT UNE TENSION D'ALIMENTATION DE 120 V.

ATTENTION

- N'exposez pas cet appareil aux gouttes ni aux éclaboussures.
- Ne placez pas d'objet rempli de liquide sur l'appareil, comme par exemple un vase.
- N'installez pas cet appareil dans un espace confiné comme une bibliothèque ou un meuble similaire.
- L'appareil doit être placé suffisamment près de la prise de courant pour que vous puissiez à tout moment attraper facilement la fiche du cordon d'alimentation.

Modèle pour le Canada

Déclaration de conformité d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada :
CET APPAREIL NUMÉRIQUE DE LA CLASSE B EST CONFORME À LA NORME NMB-003 DU CANADA

Modèle pour l'EEE (Espace Économique Européen)

Pour les consommateurs européens

Mise au rebut des équipements électriques et électroniques et des piles et/ou accumulateurs

a) Tout équipement électrique/électronique et pile/accumulateur hors d'usage doit être traité séparément de la collecte municipale d'ordures ménagères dans des points de collecte désignés par le gouvernement ou les autorités locales.

b) En vous débarrassant correctement des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine et l'environnement.

c) Le traitement incorrect des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage peut avoir des effets graves sur l'environnement et la santé humaine en raison de la présence de substances dangereuses dans les équipements.

d) Le symbole de déchets d'équipements électriques et électroniques (DEEE), qui représente une poubelle à roulettes barrée d'une croix, indique que les équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs doivent être collectés et traités séparément des déchets ménagers.



Si une pile ou un accumulateur contient plus que les valeurs de plomb (Pb), mercure (Hg) et/ou cadmium (Cd) spécifiées dans la directive sur les piles et accumulateurs (2006/66/CE, 2013/56/UE), alors les symboles chimiques de ces éléments seront indiqués sous le symbole DEEE.



e) Des systèmes de retour et de collecte sont disponibles pour l'utilisateur final. Pour des informations plus détaillées sur la mise au rebut des vieux équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, veuillez contacter votre mairie, le service d'ordures ménagères ou le magasin dans lequel vous avez acquis l'équipement.

Conformité de l'émetteur radio et brouillage

Ce produit fait fonction d'émetteur large bande sur la bande des 2,4 GHz.

Plage de fréquences utilisée : 2402 MHz – 2480 MHz
Puissance maximale de sortie : Bluetooth® classe 2
(moins de 2,5 mW)

Veuillez n'utiliser cet appareil que dans le pays où il a été acheté. Selon le pays, des restrictions d'usage de la technologie sans fil Bluetooth peuvent exister.

Modèle pour le Canada

Conformité de l'émetteur radio
L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Étiquetage d'autorisation
IC : 1559C-TN400BT

Modèle pour l'EEE (Espace Économique Européen)

CE Par la présente, TEAC Corporation déclare que cet équipement radio est en conformité avec la directive 2014/53/UE ainsi qu'avec les autres directives et règlements de la Commission.

Le texte intégral de la déclaration de conformité pour l'UE est disponible à l'adresse internet suivante : veuillez nous contacter par e-mail.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japon

Exigences pour l'exposition aux rayonnements

Cet équipement est conforme à la réglementation reconnue internationalement en matière d'exposition humaine aux ondes radio générées par l'émetteur.

Déclaration de conformité

Modèle pour le Canada

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition humaine aux radiofréquences établies par IC pour un environnement non contrôlé et répond au CNR-102 des règles d'exposition aux radiofréquences (RF) d'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation de l'exposition maximale autorisée. Cependant, cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

Modèle pour l'EEE (Espace Économique Européen)

Cet équipement est conforme à la norme EN.62479 : Évaluation des équipements électroniques et électriques en relation avec les restrictions d'exposition humaine aux champs électromagnétiques ; la norme harmonisée de la Directive 2014/53/UE.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Les autres noms de société, noms de produit et logos présents dans ce document sont des marques commerciales ou déposées de leurs détenteurs respectifs.

Table des matières

Nous vous remercions d'avoir choisi TEAC.
Lisez ce mode d'emploi avec attention pour tirer les meilleures performances de cette unité.
Après l'avoir lu, gardez-le en lieu sûr pour vous y référer ultérieurement.

INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES 22
Avant l'utilisation 24
Manipulation des disques 24
Préparation de la platine 25
Couvercle anti-poussière 26
Notes sur les pointes pour disque 27
Changement de cellule 27
Nomenclature et fonctions des parties 27
Branchements 28
Fonctionnement de base 29
Écoute avec des enceintes Bluetooth® 30
Guide de dépannage 30
Caractéristiques techniques 31

Avant l'utilisation

Éléments fournis

Vérifiez que vous disposez bien de tous les accessoires représentés ci-dessous. Veuillez contacter le magasin dans lequel vous avez acheté cette unité si l'un de ces accessoires manque ou a été endommagé durant le transport.

Tapis en feutre × 1
Adaptateur 45 tr/min × 1
Contrepoids × 1
Porte-cellule × 1
Cellule stéréo Audio-Technica préinstallée de type VM (double aimant) (AT95E)
Tourne-disque (plateau) × 1
Couvercle anti-poussière × 1
Charnières du couvercle anti-poussière × 2
Câble audio RCA avec borne de masse × 1
Adaptateur secteur (GPE053A-V120050) × 1
Mode d'emploi (ce document, y compris la garantie) × 1

- Pour plus d'informations sur la garantie, les utilisateurs vivant aux États-Unis et au Canada doivent consulter la page 82 et le dos de la couverture (document de garantie). Les utilisateurs vivant en Europe et dans d'autres régions doivent consulter la page 83.

Utilisation du site international TEAC

Vous pouvez télécharger des mises à jour pour cette unité depuis le site international TEAC :

https://teac.jp/int/

Cliquez sur Language en haut à droite de la page et sélectionnez le pays ou la région qui vous intéresse pour accéder à une page dans la langue correspondante.

Précautions d'emploi

- Placez-l'unité sur une surface plane.
- Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière. Les objets posés sur le couvercle peuvent provoquer du bruit dû aux vibrations ou tomber, en particulier lors de la lecture.
- Évitez d'exposer l'unité directement au soleil, de la placer près d'une source de chaleur ou dans d'autres conditions similaires. Ne l'installez pas au-dessus d'un amplificateur ou d'un équipement pouvant dégager une chaleur qui dépasse la température de fonctionnement de cette unité. Cela pourrait causer une décoloration, une déformation ou un mauvais fonctionnement.
- Il est possible que l'unité chauffe durant l'utilisation, laissez donc toujours un espace suffisant autour d'elle pour sa ventilation. Quand vous installez cette unité, laissez un peu d'espace (au moins 20 cm) entre elle et les murs et d'autres appareils afin de permettre une bonne dissipation thermique.
  Si vous la placez par exemple dans un rack, laissez au moins 35 cm de libre au-dessus de l'unité et 10 cm derrière elle. Sans ces espaces, la température peut monter, risquant d'entraîner un incendie.
- NE DÉPLACEZ PAS L'UNITÉ DURANT LA LECTURE. Durant la lecture, le disque tourne. Ne soulevez et ne déplacez pas l'unité durant la lecture. Vous risqueriez d'endommager le disque, la pointe, la cellule ou l'unité.
- Retirez toujours le disque avant de déplacer ou de transporter cette unité. Transporter cette unité avec un disque sur la platine pourrait endommager le disque, la pointe, la cellule ou provoquer un dysfonctionnement.
- La tension d'alimentation doit correspondre à la tension imprimée sur le panneau arrière. Si vous avez des doutes à ce sujet, consultez un électricien.

Entretien

Si la surface de l'unité est sale, essuyez-la avec un chiffon doux ou utilisez un détergent liquide léger dilué. Laissez la surface de l'unité sécher complètement avant utilisation.

- N'utilisez pas de lingettes de nettoyage imbibées de produits chimiques, de diluant ou de substances similaires car cela pourrait endommager la surface de l'unité.

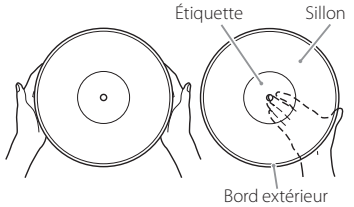
⚠ ATTENTION

Par sécurité, débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur avant tout nettoyage.

Manipulation des disques

Tenue des disques

Lors de la prise en mains d'un disque ou de sa sortie de la pochette, évitez de toucher le sillon en maintenant le disque d'une main entre son étiquette et son bord, ou en le tenant avec les deux mains par son bord.



Nettoyage

- Les traces de doigts et la poussière sur un disque peuvent provoquer du bruit et des sautes de son, ainsi qu'endommager le disque lui-même et la pointe. Utilisez un nettoyant pour disque du commerce pour nettoyer les disques. N'utilisez pas de diluant ni autre chose qu'un nettoyant pour disque. De tels produits chimiques pourraient abîmer la surface du disque.
- Lors de l'utilisation d'un nettoyant pour disque, balayez la surface du disque de façon circulaire, en suivant le sillon.



Précautions d'emploi

- Ne laissez pas les disques dans des lieux exposés directement à la lumière du soleil ou qui sont très humides ou très chauds. Laisser longtemps un disque dans de telles conditions peut le faire gondoler, entraîner le développement de moisissures ou lui causer d'autres dommages.
- N'empilez pas plusieurs disques et ne placez pas d'objets lourds dessus. Ne laissez pas non plus les disques de façon prolongée en position inclinée. Cela pourrait les faire gondoler ou leur causer d'autres dommages.
- Ne laissez pas des objets durs entrer en contact direct avec le sillon audio. Cela pourrait entraîner des rayures.
- Une fois que vous avez fini de lire un disque, replacez-le toujours dans sa pochette pour le rangement. Laisser un disque sans protection pourrait le faire gondoler ou le rayer.
- N'employez pas de disques fendus.

Préparation de la platine

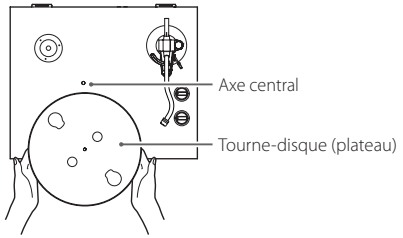
Maintenez l'unité en veille pendant son installation (E en page 28).

1 Placez-la sur une surface plane.

Placez-la sur une surface plane afin que le sillon du disque puisse être suivi avec précision.

2 Installez le plateau tourne-disque.

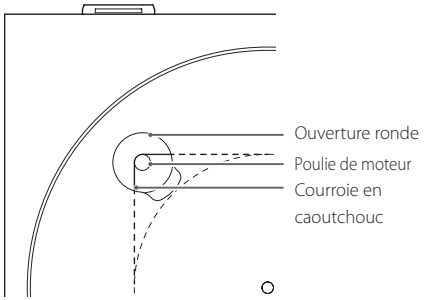
Alignez le plateau avec l'axe central et installez-le.



3 Enroulez la courroie autour de la poulie du moteur.

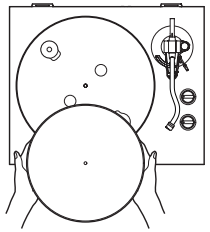
En passant par l'ouverture ronde, utilisez un doigt pour tirer sur la courroie en caoutchouc enroulée autour du sous-plateau et la faire passer autour de la poulie du moteur.

- Faites bien attention à ne pas tordre le caoutchouc.
- Faites tourner plusieurs fois le plateau pour vous assurer que le montage est sûr.



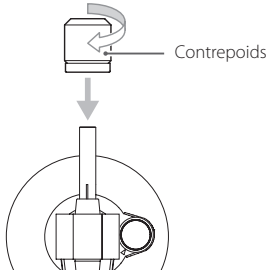
4 Placez le tapis de platine en feutre sur le plateau.

Placez le tapis de platine en feutre fourni sur le plateau avant utilisation.



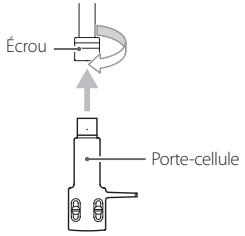
5 Installez le contrepoids.

Placez le contrepoids à l'extrémité du bras de lecture et poussez-le délicatement pendant que vous le tournez pour le fixer.

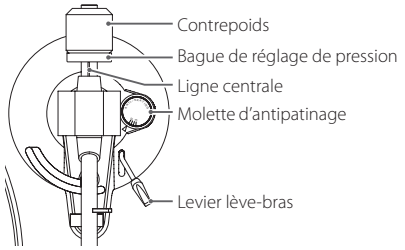


6 Installez le porte-cellule.

Insérez le porte-cellule à l'autre extrémité du bras de lecture et tournez l'écrou pour le verrouiller.

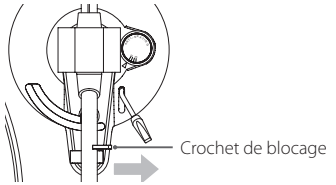


Équilibrage du bras de lecture et réglage de la pression de la pointe



1 Réglez la molette d'antipatinage sur zéro.

2 Faites glisser le crochet de blocage du bras de lecture vers la droite pour le libérer.



3 Soulevez le levier lève-bras et poussez légèrement le bras de lecture vers la gauche.

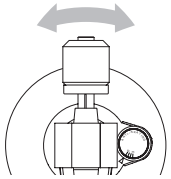
4 Rabaissez le levier lève-bras.

FRANÇAIS

Suite à la prochaine page ➡

Préparation de la platine (suite)

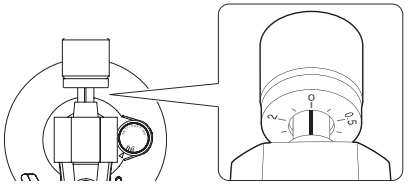
5 **Tournez le contrepoids jusqu'à ce que le bras de lecture soit à l'horizontale.**



- Retirez le capuchon de protection de la pointe de la cellule avant de procéder au réglage.
- Veillez bien à ne pas laisser la pointe de la cellule toucher l'unité.

6 **Ramenez le bras de lecture à sa position d'origine et verrouillez-le avec le crochet de blocage.**

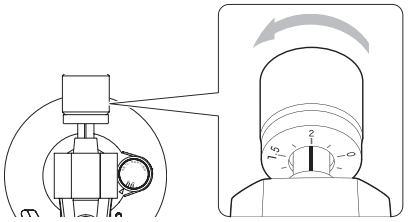
7 **Tournez la bague de réglage de pression de la pointe pour que la ligne centrale s'aligne avec le 0 sur la graduation.**



- Ne tournez que la bague de réglage. Veillez à ne pas faire tourner le contrepoids.

8 **Tournez le contrepoids afin que la graduation de la bague de réglage de pression de la pointe corresponde à la valeur de pression de pointe spécifiée pour la cellule.**

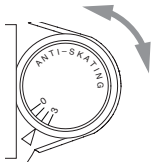
- La pression de pointe pour la cellule fournie est de 2,0 g. Donc, tournez le contrepoids jusqu'à la graduation 2 si vous utilisez la cellule fournie.



- Tournez-le dans le sens de la flèche représentée ci-dessus pour faire passer la valeur de 0 à 1 puis 2.

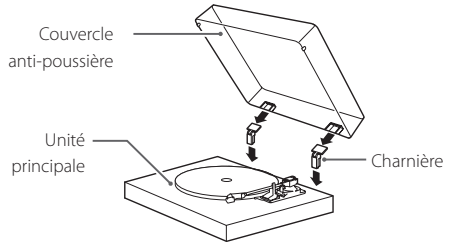
9 **Réglez la molette d'antipatinage.**

Commencez en la réglant à 2 et ajustez-la durant la lecture d'un disque (page 29) sur la position qui donne un bon équilibre pour les volumes gauche et droit.



Couvercle anti-poussière

Fixation du couvercle anti-poussière



1 **Insérez les charnières à fond dans les porte-charnières aux extrémités gauche et droite de l'arrière de l'unité principale.**

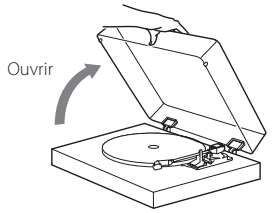
2 **Alignez le haut des charnières avec les porte-charnières du couvercle anti-poussière et insérez-les.**

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Comme cela empêche les sauts causés par les contacts involontaires et bloque la pression acoustique externe, le risque de bruit est moindre.
- N'ouvrez pas ou ne fermez pas le couvercle pendant qu'un disque est lu. Cela pourrait, par exemple, faire sauter la pointe.
- Gardez-le fermé autant que possible afin de tenir la poussière à l'écart.

Dépose du couvercle anti-poussière

Maintenez les deux bords du couvercle anti-poussière et soulevez-le lentement pour l'extraire, avec les charnières, de l'unité. Ensuite, retirez les charnières du couvercle anti-poussière.

Ouverture et fermeture du couvercle anti-poussière



Ouverture

Tenez le bord avant du couvercle anti-poussière et soulevez-le délicatement pour l'ouvrir complètement jusqu'à ce qu'il s'arrête.
Le couvercle anti-poussière restera ouvert dans cette position.

Fermeture

Abaissez doucement le couvercle anti-poussière jusqu'à ce qu'il soit fermé.

⚠ **Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.**

Notes sur les pointes pour disque

- Si la pointe est tordue (endommagée), elle ne peut plus suivre précisément le sillon. Comme une pointe tordue peut également endommager les disques et provoquer un dysfonctionnement, maniez délicatement les pointes.
- Nettoyez toujours la pointe avec un nettoyant du commerce prévu à cet effet. L'utilisation de tout autre produit pourrait endommager la pointe.

Remplacement de la pointe

Si l'extrémité de la pointe est usée, cela dégrade la qualité sonore mais endommage également les disques. Après environ 300 heures de lecture, remplacez la pointe par une neuve du modèle indiqué.

Veuillez utiliser une pointe de rechange ATN95E Audio-Technica.

- Une cellule Audio-Technica AT95E de type VM est installée dans cette unité.

NOTE

Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Suivez les instructions de remplacement dans le manuel de la pointe de rechange.

ATTENTION

- Comme de forts bruits pourraient soudainement se produire, mettez l'unité en veille avant de changer la pointe.
- Faites attention de ne pas abîmer vos mains ou l'équipement.
- Veillez à ne pas permettre à de petits enfants d'avaler accidentellement les pointes.
- Sachez que les pointes tordues en raison par exemple d'un soin insuffisant par l'utilisateur et d'une cause externe ne sont pas couvertes par la garantie.

Changement de cellule

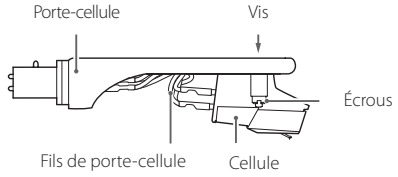
Pour changer la cellule, commencez par détacher le porte-cellule du bras de lecture.

- Une cellule Audio-Technica AT95E de type VM est installée dans cette unité.

NOTE

Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Nous vous recommandons de fixer le capuchon de protection sur la pointe de la cellule avant d'accomplir cette tâche.

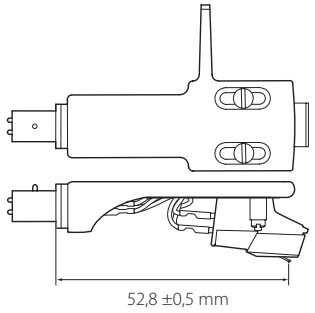


1 Déconnectez de la cellule les fils du porte-cellule.

2 Desserrez les vis et retirez la cellule.

3 Montez la nouvelle cellule et serrez les vis.

Voir l'illustration ci-dessous pour la position des vis après montage.



4 Raccordez les contacts du porte-cellule à la cellule.

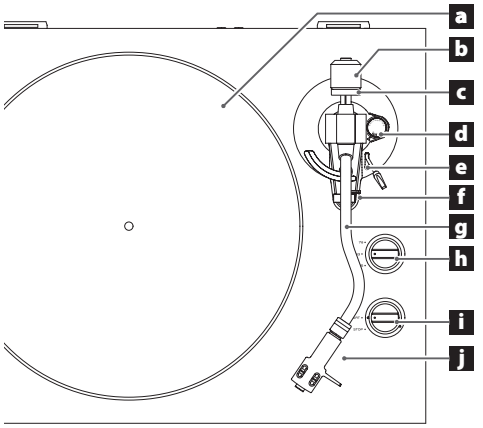
- Les signaux et les couleurs des fils de la cellule sont représentés ci-dessous.

Signal	Couleur
Canal gauche +	Blanc
Canal gauche –	Bleu
Canal droit +	Rouge
Canal droit –	Vert

5 Équilibrez le bras de lecture et réglez la pression de la pointe.

Suivez les procédures décrites dans « Équilibrage du bras de lecture et réglage de la pression de la pointe » en page 25.

Nomenclature et fonctions des parties



a Tourne-disque (plateau)

Placez les disques au centre du plateau.

b Contrepoids

c Bague de réglage de pression de la pointe

d Molette d'antipatinage

e Levier lève-bras

Utilisez-le pour lever et abaisser l'extrémité de la pointe. Nous vous recommandons d'utiliser le levier lève-bras pour éviter d'endommager les disques et les pointes, car c'est plus sûr et plus précis que de le faire à la main.

f Support de bras de lecture

C'est un support pour poser le bras de lecture. Avant de commencer la lecture d'un disque, faites glisser le crochet de blocage vers la droite pour le retirer.

g Bras de lecture

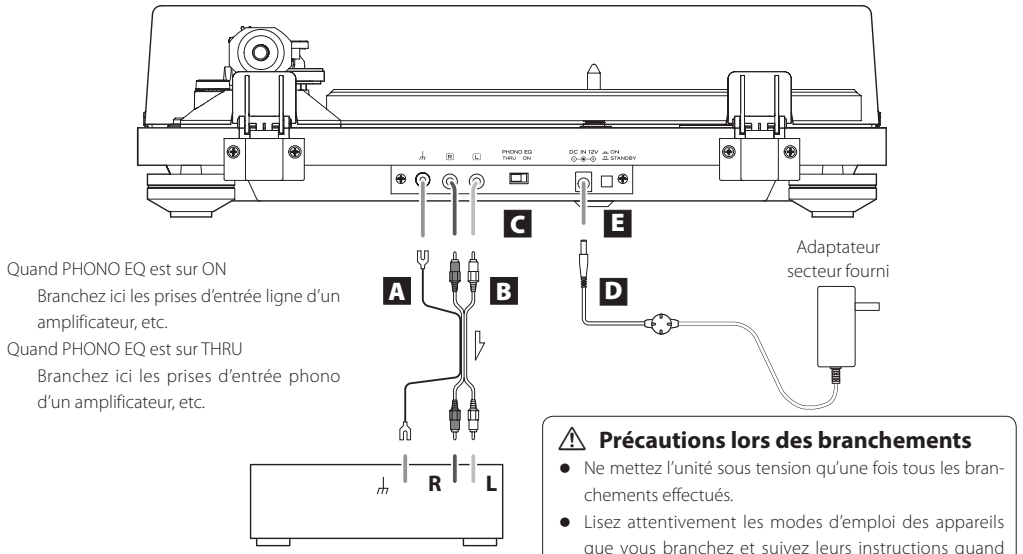
h Bouton de réglage de vitesse de rotation

Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque à lire.

i Bouton START/STOP de rotation

j Porte-cellule

C'est un modèle universel qui permet de facilement changer la cellule.



Quand PHONO EQ est sur ON
Branchez ici les prises d'entrée ligne d'un amplificateur, etc.
Quand PHONO EQ est sur THRU
Branchez ici les prises d'entrée phono d'un amplificateur, etc.

⚠ Précautions lors des branchements

- Ne mettez l'unité sous tension qu'une fois tous les branchements effectués.
- Lisez attentivement les modes d'emploi des appareils que vous branchez et suivez leurs instructions quand vous faites les branchements.

A Borne de masse (⏚)

Utilisez le fil de masse du câble audio RCA fourni pour raccorder cette borne par exemple à la borne de masse de l'amplificateur.

- Ce n'est PAS un branchement de terre de sécurité électrique.

En cas de bruit audible dans les enceintes

Si le fait de brancher le fil de masse du câble audio à la borne de masse de cette unité ne réduit pas le bruit, débranchez le câble de masse et vérifiez à nouveau le son. Utilisez la méthode (connecté/déconnecté) pour laquelle le bruit est le plus faible.

B Prises de sortie audio analogique (L/R)

Ces prises produisent les signaux audio analogiques.
Le réglage du sélecteur PHONO EQ change le type de signal produit.
Utilisez le câble audio fourni (ou un modèle du commerce) pour raccorder d'autres appareils aux prises de sortie de cette unité.

C Sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio)

ON

Les signaux ayant été amplifiés par l'ampli égaliseur intégré sont produits par les prises de sortie audio analogique (L/R).

THRU

Le signal de la cellule MC ou MM est directement produit par les prises de sortie audio analogique (L/R). Branchez-les à un appareil à entrées phono, comme un préamplificateur à égaliseur phono ou un amplificateur à prises d'entrée phono.

- À la sortie d'usine, ce sélecteur est réglé sur ON.

ATTENTION

Avec un réglage sur ON, si le branchement est fait aux entrées PHONO d'un amplificateur, par exemple, le son produit par les enceintes et le casque sera très fort, ce qui peut endommager l'équipement ou l'audition.

D Prise d'entrée d'alimentation CC

Après avoir fait tous les autres branchements, branchez ici l'adaptateur secteur fourni.
Vérifiez que le bloc d'alimentation de l'adaptateur secteur est branché dans une prise secteur.

- N'utilisez aucun adaptateur secteur autre que celui fourni.
- Les broches de l'adaptateur secteur fourni peuvent être changées. Montez les broches qui conviennent à la région d'utilisation.

⚠ Veillez à brancher le cordon d'alimentation dans une prise secteur fournissant la tension correcte. Le branchement à une prise fournissant une tension incorrecte pourrait entraîner un incendie ou une électrocution.

⚠ Tenez le cordon d'alimentation par sa fiche quand vous le branchez ou le débranchez. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.

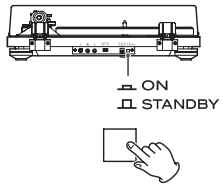
⚠ Débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur si vous avez l'intention de laisser l'unité inutilisée de façon prolongée.

E Touche STANDBY/ON

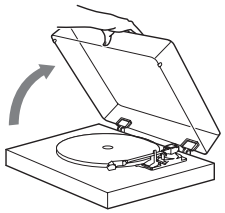
Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité ou la mettre en veille (standby).

Lecture des disques

1 **Appuyez sur la touche STANDBY/ON à l'arrière de l'unité pour la mettre sous tension.**



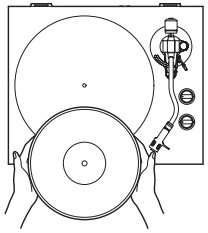
2 **Ouvrez lentement le couvercle anti-poussière.**



⚠ **Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.**

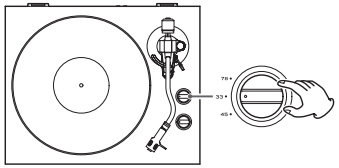
3 **Placez un disque sur le plateau.**

Pour lire un 45 tr/min à grand trou central, utilisez l'adaptateur fourni.

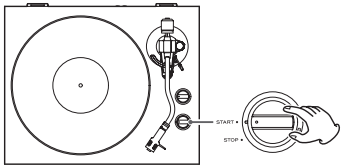


4 **Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque.**

La vitesse de rotation peut être réglée sur 33 1/3, 45 ou 78 tr/min.

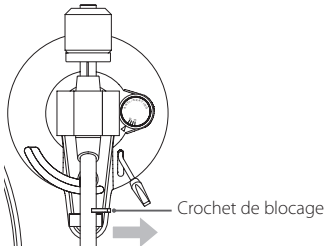


5 **Tournez le bouton START/STOP en position START pour faire démarrer le plateau.**

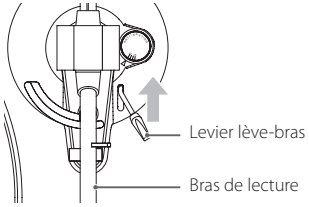


- Quand le bouton START/STOP est réglé sur START, le plateau commence à tourner et la lampe START bleue s'allume.

6 **Faites glisser le crochet de blocage du bras de lecture vers la droite pour le libérer.**

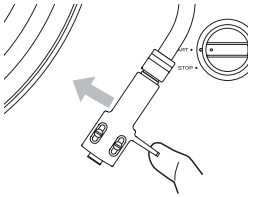


7 **Soulevez le levier lève-bras.**



- Vous pouvez également amener le bras de lecture au-dessus du disque sans soulever le levier lève-bras puis l'abaisser lentement pour lancer la lecture.

8 **Amenez le bras de lecture sur la partie de disque dont vous souhaitez lancer la lecture.**



9 **Utilisez le levier lève-bras pour baisser le bras de lecture.**

Le bras de lecture descend lentement jusqu'à ce que la pointe touche le disque et la lecture commence alors.

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Cela réduira les risques de bruit en empêchant les sauts causés par des contacts involontaires et en bloquant la pression acoustique externe.

⚠ **Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière.**

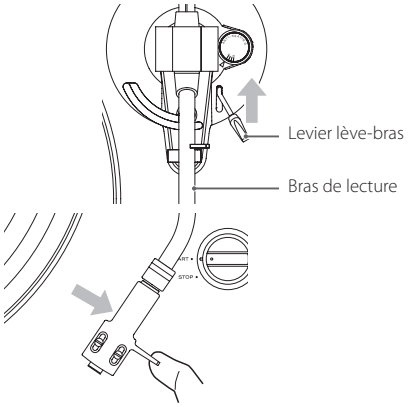
ATTENTION

- Durant la lecture, ne touchez pas le bras de lecture ni le disque. Vous risqueriez d'endommager la pointe et de provoquer des rayures sur le disque.
- Ne forcez pas le plateau à arrêter sa rotation durant la lecture. Comme ce produit n'est pas une platine tourne-disque conçue pour les DJ (à entraînement direct), cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

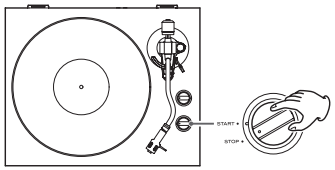
Durant la lecture du disque, une réinjection du signal (« larsen ») peut se produire si le volume est trop fort. Si cela se produit, baissez le volume de l'amplificateur.

Lorsque la lecture est terminée

1 **Soulevez le levier lève-bras pour écarter la pointe du disque et ramenez le bras de lecture à sa position d'origine.**



2 **Ramenez le bouton START/STOP sur STOP pour arrêter le plateau.**



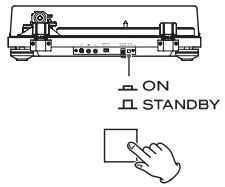
- La lampe START bleue s'éteint et le plateau s'arrête.

FRANÇAIS

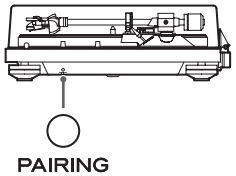
Écoute avec des enceintes Bluetooth®

Cette unité dispose d'un émetteur Bluetooth qui peut envoyer le son sans fil à des enceintes Bluetooth.

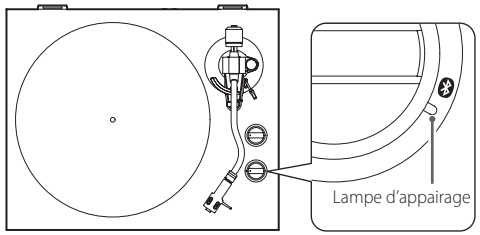
1 Appuyez sur la touche STANDBY/ON à l'arrière de l'unité pour la mettre sous tension.



2 Appairez et connectez les enceintes Bluetooth.



Touche PAIRING



Appairage des enceintes Bluetooth

Appairer cette unité avec un autre appareil Bluetooth est nécessaire la première fois que vous vous connectez à cet appareil Bluetooth.

Appuyez sur la touche PAIRING (appairage) de cette unité pour activer le mode d'appairage. Si un autre appareil Bluetooth a déjà été appairé avec cette unité, le mode de connexion sera activé. Appuyez à nouveau sur la touche PAIRING pendant au moins deux secondes pour activer le mode d'appairage.

Faites passer l'enceinte Bluetooth en mode d'appairage.

Quand cette unité et l'enceinte Bluetooth sont connectées, la lampe d'appairage reste allumée fixement sans clignoter.

- Reportez-vous au mode d'emploi de l'enceinte Bluetooth pour plus d'informations sur la façon de l'utiliser.
- L'appairage peut prendre un temps variable dépendant de l'appareil connecté.
- Cette unité se connectera à l'enceinte Bluetooth la plus proche. Si aucune enceinte Bluetooth n'est trouvée après cinq minutes, l'unité passe en mode de veille Bluetooth et la lampe d'appairage s'éteint.

Signification de l'allumage de la lampe d'appairage

État	Signification
Allumée	Connectée
Clignotement lent	Mode de connexion
Clignotement rapide	Mode d'appairage
Éteinte	Mode de veille (standby)

Connexion d'enceintes Bluetooth déjà appairées

Appuyez sur la touche PAIRING (appairage) de cette unité pour activer le mode de connexion, permettant la connexion avec des enceintes Bluetooth ayant déjà été appairées.
Si aucune enceinte Bluetooth n'a encore été appairée, cela activera le mode d'appairage.

Quand cette unité et l'enceinte Bluetooth sont connectées, la lampe d'appairage reste allumée fixement sans clignoter.

- Lors de la connexion à une enceinte Bluetooth, éloignez les autres enceintes et appareils récepteurs Bluetooth à au moins 10 mètres de cette unité ou éteignez-les.

3 Faites lire un disque.

- La connexion Bluetooth peut également être faite pendant qu'un disque est lu.
- Réglez si nécessaire le volume de l'enceinte Bluetooth.
- Cette unité ne peut pas servir à régler le volume.
- Pour mettre fin à une connexion, maintenez la touche PAIRING de cette unité pressée durant au moins six secondes afin de passer en mode de veille Bluetooth ou éteignez cette unité.
- Maintenir la touche PAIRING pressée durant au moins 10 secondes fera clignoter la lampe d'appairage et effacera tous les appairages existants avec d'autres appareils.

Guide de dépannage

Si vous avez un problème avec cette unité, veuillez vérifier les points suivants avant de demander une intervention. Le problème pourrait également venir d'ailleurs que de cette unité. Vérifiez aussi que les appareils qui lui sont connectés sont correctement employés.
Si cette unité ne fonctionne toujours pas correctement, contactez le revendeur chez qui vous l'avez achetée.

Pas d'alimentation.

➡ Vérifiez que l'adaptateur secteur est branché à une prise secteur. Puis appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité (page 28).

Il n'y a pas de son.

➡ Pour brancher les prises de sortie audio analogique de cette unité aux prises d'entrée audio d'un amplificateur ou d'un autre équipement, réglez le sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio) sur ON (page 28).

La lecture est impossible, il y a du bruit.

➡ Retirez le capuchon de protection.

➡ Sur un disque, les traces de doigts et la poussière peuvent causer du bruit et faire sauter le son. Nettoyez les disques avec un nettoyant pour disque du commerce (page 24).

➡ Nettoyez la pointe (page 27).

➡ Si la pointe est usée, remplacez-la (page 27). La durée de vie d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais elle est généralement d'environ 300 heures.

➡ Éloignez autant que possible l'unité des téléviseurs, fours à micro-ondes et autres appareils qui émettent des ondes électromagnétiques.

Du bruit se produit lors de la lecture d'un disque.

➡ Du bruit peut se produire si la pression de la pointe est supérieure à la valeur spécifiée pour la cellule. Réajustez la pression de la pointe conformément à la valeur spécifiée (page 25).

La hauteur du son est incorrecte.

➡ Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque (page 29).

Le son saute.

➡ Les vibrations entraînent des sauts. Placez cette unité dans un endroit stable.

➡ Nettoyez le disque.

➡ N'employez pas de disques rayés.

➡ Équilibrez le bras de lecture et réajustez la pression de la pointe (page 25). La pointe et le son peuvent sauter si la pression de la pointe est inférieure à la valeur spécifiée pour la cellule.

La connexion n'est pas possible avec l'enceinte Bluetooth que je veux connecter.

➡ Éteignez cette unité et l'appareil Bluetooth. Rallumez-les tous les deux et réessayez de les appairer.

➡ Éteignez les autres enceintes Bluetooth distantes de moins de 10 mètres. L'enceinte Bluetooth la plus proche sera appairée.

La liaison avec l'enceinte Bluetooth a réussi, mais je n'entends pas le son lu.

➡ Vérifiez le volume de l'enceinte Bluetooth.

➡ Appuyez durant au moins six secondes sur la touche PAIRING de cette unité pour déconnecter l'enceinte Bluetooth. Réessayez alors de les appairer.

➡ Éteignez cette unité puis rallumez-la. Ensuite, appuyez sur la touche PAIRING pour essayer de nouveau de les appairer.

La connexion avec le smartphone est impossible.

➡ Cette unité fonctionne comme un émetteur Bluetooth et peut envoyer du son à des enceintes Bluetooth.
Comme elle ne fonctionne pas comme récepteur Bluetooth, elle ne peut pas être connectée à un smartphone.

Caractéristiques techniques

Tourne-disque (plateau)

Système d'entraînement ..... Par courroie
Moteur ..... Moteur CC
Vitesse de rotation ..... 33 1/3 tr/min, 45 tr/min, 78 tr/min
Variation de la vitesse de rotation ..... ±2 %
Pleurage et scintillement ..... 0,2 % ou moins
Rapport S/B ..... 67 dB ou plus
(pondération A, filtre passe-bas 20 kHz)
Plateau ..... Aluminium moulé
Diamètre de 30 cm

Bras de lecture

Type de bras ..... Bras de lecture en S à équilibrage statique
Longueur utile du bras ..... 223 mm
Plage de variation de pression de la pointe ..... 0–5 g
Poids de cellule acceptable ..... 4,0–8,0 g

Cellule

Type ..... VM (équivalente à une cellule MM)
Tension de sortie ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Pression de la pointe ..... 2,0 ±0,5 g
Poids de la cellule ..... 5,7 ±0,5 g
Poids avec porte-cellule ..... 10 g (vis, écrous et fils compris)

- La durée de vie d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais est généralement d'environ 300 heures.
- Une cellule Audio-Technica AT95E de type VM est installée dans cette unité.
  Note : les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.
- Modèle de pointe de remplacement : Audio-Technica ATN95E

Tension de sortie

PHONO EQ sur THRU ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ sur ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Prises de sortie ..... RCA

Technologie sans fil Bluetooth

Version de Bluetooth ..... 5.2 (DUAL MODE)
Classe de sortie ..... Classe 2
Profil pris en charge A2DP
Codecs ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Nombre d'appairages mémorisés ..... 8 appareils

Générales

Adaptateur secteur
  Entrée ..... CA 100 V – CA 240 V, 50/60 Hz
  Sortie ..... CC 12 V, 500 mA
Consommation électrique
  En veille ..... 0,5 W ou moins
  En service (START) ..... 1,5 W ou moins
Poids ..... 4,9 kg
Température de fonctionnement ..... 5 °C à 35 °C
Dimensions (L × H × P) (saillies incluses)
  Couvercle anti-poussière fermé ..... 420 × 117 × 356 mm
  Couvercle anti-poussière ouvert ..... 420 × 381 × 402 mm
  Sans couvercle anti-poussière ..... 420 × 102 × 356 mm

- Les données de performance sont spécifiées à 20 °C.

Éléments fournis

Tapis en feutre × 1
Adaptateur 45 tr/min × 1
Contrepoids × 1
Porte-cellule × 1
  Cellule stéréo Audio-Technica préinstallée de type VM (double aimant) (AT95E)
Tourne-disque (plateau) × 1
Couvercle anti-poussière × 1
Charnières du couvercle anti-poussière × 2
Câble audio RCA avec borne de masse × 1
Adaptateur secteur (GPE053A-V120050) × 1
Mode d'emploi (ce document, y compris la garantie) × 1

- Pour plus d'informations sur la garantie, les utilisateurs vivant aux États-Unis et au Canada doivent consulter la page 82 et le dos de la couverture (document de garantie). Les utilisateurs vivant en Europe et dans d'autres régions doivent consulter la page 83.

- Caractéristiques techniques et aspect sont sujets à changements sans préavis.
- Le poids et les dimensions sont des valeurs approchées.
- Les illustrations de ce mode d'emploi peuvent légèrement différer des modèles de production.

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

PRECAUCIÓN: PARA REDUCIR EL RIESGO DE DESCARGA ELÉCTRICA, NO QUITE LA CUBIERTA (NI EL PANEL POSTERIOR). NO HAY PIEZAS INTERNAS QUE EL USUARIO PUEDA REPARAR. PARA REPARACIONES, REMÍTASE A UN SERVICIO TÉCNICO CUALIFICADO.

El símbolo del rayo acabado en flecha dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de un "voltaje peligroso" sin aislar dentro de la carcasa del producto que puede ser de magnitud suficiente como para constituir riesgo de descarga eléctrica para las personas.

El signo de exclamación dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de importantes instrucciones de funcionamiento y mantenimiento en la literatura que acompaña al aparato.

AVISO: PARA EVITAR RIESGO DE INCENDIO O DESCARGAS ELÉCTRICAS, NO EXPONGA ESTE APARATO A LA LLUVIA NI A LA HUMEDAD.

PRECAUCIÓN

- NO QUITE LAS CARCASAS EXTERNAS NI DEJE AL AIRE LA ELECTRÓNICA. ¡EN EL INTERIOR NO HAY PIEZAS QUE EL USUARIO PUEDA MANIPULAR!
- SI EXPERIMENTA PROBLEMAS CON ESTE PRODUCTO, PÓNGASE EN CONTACTO CON EL ESTABLECIMIENTO DONDE ADQUIRIÓ LA UNIDAD PARA SOLICITAR SERVICIO TÉCNICO. NO UTILICE EL APARATO HASTA QUE HAYA SIDO REPARADO.
- EL USO DE CONTROLES, AJUSTES O PROCEDIMIENTOS QUE NO SEAN LOS ESPECIFICADOS EN ESTE MANUAL PUEDE CAUSAR EXPOSICIÓN A RADIACIONES PELIGROSAS.

1) Lea estas instrucciones.
2) Conserve estas instrucciones.
3) Cumpla con lo indicado en los avisos.
4) Siga todas las instrucciones.
5) No utilice este aparato cerca del agua.
6) Límpielo solo con un trapo seco.
7) No bloquee ninguna de las ranuras de ventilación. Instale este aparato de acuerdo con las instrucciones del fabricante.
8) No instale este aparato cerca de fuentes de calor como radiadores, calentadores, hornos u otros aparatos (incluyendo amplificadores) que produzcan calor.
9) No elimine el sistema de seguridad que supone el enchufe polarizado o con toma de tierra. Un enchufe polarizado tiene dos bornes, uno más ancho que el otro. Uno con toma de tierra tiene dos bornes iguales y una tercera lámina para la conexión a tierra. El borne ancho o la lámina se incluyen para su seguridad. Si el enchufe que venga con la unidad no encaja en su salida de corriente, haga que un electricista cambie su salida anticuada.
10) Evite que el cable de corriente quede de forma que pueda ser pisado o quedar retorcido o aplastado, especialmente en los enchufes, receptáculos o en el punto en el que salen del aparato.
11) Use solo accesorios / complementos especificados por el fabricante.
12) Utilice este aparato solo con un soporte, trípode o bastidor especificado por el fabricante o que se venda con el propio aparato. Cuando utilice un bastidor con ruedas, tenga cuidado al mover la combinación de aparato/bastidor para evitar que vuelque y puedan producirse daños.



13) Desconecte este aparato de la corriente durante las tormentas eléctricas o cuando no lo vaya a usar durante un periodo de tiempo largo.
14) Dirija cualquier posible reparación solo al servicio técnico oficial. Este aparato deberá ser reparado si se ha dañado de alguna forma, como por ejemplo si el cable de corriente o el enchufe están rotos, si ha sido derramado algún líquido sobre la unidad o algún objeto ha sido introducido en ella, si ha quedado expuesto a la lluvia o la humedad, si no funciona normalmente o si ha caído al suelo en algún momento.
    - Este aparato libera corriente nominal no válida para el funcionamiento a través de la toma de corriente, aún cuando el interruptor de encendido y activación (POWER o STANDBY/ON) no esté en la posición de encendido (ON).
    - El enchufe que se conecta a la red es el dispositivo de desconexión, por lo que deberá permanecer siempre en prefecto estado de uso.
    - Deberá llevar cuidado si utiliza auriculares con este producto, ya que una excesiva presión sonora (volumen) procedente de los mismos puede causar perdidas de audición.

EN EE. UU./CANADÁ, UTILICE SOLO ALIMENTACIÓN CON CORRIENTE DE 120 V.

PRECAUCIÓN

- No exponga este aparato a salpicaduras ni goteras.
- No coloque objetos que contengan líquidos, como por ejemplo jarrones, sobre el aparato.
- No instale este aparato en lugares cerrados tales como estanterías o similares.
- Este aparato debe situarse lo suficientemente cerca de una toma de electricidad como para poder alcanzar fácilmente el cable de corriente en cualquier momento.

Modelo para EE. UU.

Declaración de conformidad

Número de modelo: TN-400BT
Marca comercial: TEAC
Parte responsable: 11 Trading Company, LLC
Dirección: 3502 Woodview Trace #200 Indianapolis, IN 46268 U.S.A.
URL: https://11tradingcompany.com/contact-us/
Este dispositivo cumple con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Su funcionamiento está sujeto a las dos siguientes condiciones: (1) este dispositivo no puede causar interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluidas interferencias que puedan causar anomalías de funcionamiento.

Información

Se ha comprobado que este equipo cumple con los límites establecidos para los dispositivos digitales de Clase B, de acuerdo con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Estos límites están diseñados para proporcionar una protección razonable contra interferencias perjudiciales en instalaciones residenciales. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza de acuerdo con las instrucciones, puede causar interferencias perjudiciales en las comunicaciones por radio. Sin embargo, no se puede garantizar que dichas interferencias no se produzcan en instalaciones particulares. Si este equipo causa interferencias perjudiciales en la recepción de radio o televisión, que se comprueban apagando y encendiendo el equipo, se recomienda al usuario que intente corregirla mediante una o varias de las siguientes medidas:

- Reoriente o recoloque el equipo y/o la antena receptora.
- Aumente la separación entre el equipo y el receptor.
- Conecte el equipo a una toma de electricidad situada en un circuito eléctrico diferente al del receptor.
- Consulte al distribuidor o solicite ayuda a un técnico de radio/TV con experiencia.

PRECAUCIÓN

Cualquier cambio o modificación efectuada en este equipo que no haya sido expresamente aprobada por la parte responsable del cumplimiento de los requisitos exigidos podría invalidar el derecho del usuario a utilizar el equipo.

Modelo para el Espacio Económico Europeo (EEE)

Para consumidores europeos

Deshacerse de aparatos eléctricos, electrónicos, pilas/baterías y acumuladores

a) Todos los aparatos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores gastados, deben ser eliminados separados del resto de basura común y únicamente en los "puntos limpios" o bajo los procedimientos especificados por el gobierno o autoridades municipales locales.

b) Con la eliminación correcta de los equipos eléctricos y electrónicos, y de pilas/baterías y acumuladores gastados, estará ayudando a conservar recursos muy valiosos y a evitar los posibles efectos negativos en la salud humana y en el medio ambiente.

c) La eliminación incorrecta de los equipos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores, puede producir efectos muy dañinos en el medio ambiente y en la salud humana a causa de las sustancias peligrosas que pueden encontrarse en estos equipos.

d) El símbolo de Eliminación de Aparatos Eléctricos y Electrónicos (WEEE en inglés), identificado por cubos de basura con ruedas tachados, indican que los equipos eléctricos y electrónicos, y las pilas/baterías y acumuladores, deben ser eliminados de forma totalmente independiente con respecto a la basura doméstica.

Si una pila/batería o un acumulador contienen más cantidad de los valores especificados de plomo (Pb), mercurio (Hg), y/o cadmio (Cd) según está definido en la Directiva relativa a las pilas (2006/66/EC, 2013/56/UE), entonces los símbolos químicos correspondientes a estos elementos estarán indicados debajo del símbolo WEEE.

Pb, Hg, Cd

e) Existen sistemas para la eliminación y recogida a disposición del usuario final. Si necesita más información sobre cómo deshacerse de aparatos eléctricos y electrónicos antiguos, así como de pilas/baterías y acumuladores, póngase en contacto con su ayuntamiento, con la correspondiente empresa del servicio de recogida de residuos o con el establecimiento donde adquirió ese aparato.

Cumplimiento de las normas de interferencias y transmisión de radio

La función de transmisor de banda ancha de este producto opera en la banda de los 2,4 GHz.

Rango de frecuencia de uso: 2402 MHz – 2480 MHz.
Potencia de salida máxima: Bluetooth® clase 2 (inferior a 2,5 mW).

Por favor, utilice el producto solamente en el país donde lo adquirió. Dependiendo del país, podrían existir restricciones para el uso de la tecnología inalámbrica Bluetooth.

Modelo para EE. UU.
Etiquetado de autorización
ID de la FCC: XEG-TN400BT-Q

Modelo para el Espacio Económico Europeo (EEE)

CE Por la presente comunicación, TEAC Corporation declara que este tipo de equipo de radio cumple con los requisitos de la Directiva 2014/53/UE. y de las restantes directivas de la Unión Europea y reglamentos de la Comisión.

El texto completo de la declaración de conformidad con la normativa de la UE está disponible en la siguiente dirección de Internet (por favor, utilice el correo electrónico para ponerse en contacto con nosotros):
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Requerimientos acerca de la exposición a radiaciones

Este equipo cumple con la regulación internacionalmente reconocida para los casos de exposición humana a ondas de radio generadas por un transmisor.

Declaración de cumplimiento

Modelo para EE. UU.
Este equipo cumple con los límites de exposición a radiaciones establecidos por la FCC para entornos no controlados y con las directrices de exposición a radiofrecuencia (RF) de la FCC. Este equipo tiene unos niveles muy bajos de energía de RF, por lo que se estima que cumple con la normativa sin necesidad de efectuar una evaluación de exposición al máximo permitido (MPE). No obstante, lo mejor es instalarlo y utilizarlo manteniendo el radiador al menos a 20 cm o más de distancia del cuerpo de cualquier persona (excluidas extremidades: manos, muñecas, pies y tobillos).

Modelo para el Espacio Económico Europeo (EEE)
Este equipo cumple con la valoración EN.62479 de equipos electrónicos y eléctricos relativa a las restricciones de exposición humana a campos electromagnéticos, el estándar armonizado de la DIRECTIVA 2014/53/UE.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Los nombres de otras compañías, nombres de productos y logos que aparecen en este documento son marcas comerciales o registradas de sus respectivos propietarios.

Índice

Gracias por elegir TEAC.
Lea este manual atentamente para obtener el mejor rendimiento de esta unidad.
Después de leerlo, guárdelo en un lugar seguro para futuras consultas.

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD. 32
Antes de su utilización 34
Manejo de los discos 34
Preparación del reproductor de discos. 35
Tapa 36
Notas sobre las agujas para discos 37
Cambio de la cápsula 37
Nombres y funciones de las partes 37
Conexiones 38
Funcionamiento básico 39
Escuchar con altavoces Bluetooth® 40
Solución de posibles fallos 40
Especificaciones. 41

Antes de su utilización

Artículos incluidos

Asegúrese de que la caja incluye todos los accesorios suministrados que se enumeran a continuación. Por favor, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió esta unidad si falta cualquiera de estos accesorios o si han sufrido desperfectos durante el transporte.

Alfombrilla de fieltro × 1
Adaptador de 45 RPM × 1
Contrapeso × 1
Cabezal × 1
Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble imán) (AT95E) preinstalada
Plato giradiscos × 1
Tapa × 1
Bisagras de la tapa × 2
Cable de audio RCA con terminal de tierra × 1
Adaptador de corriente (GPE053A-V120050) × 1
Manual del usuario (este documento, incluyendo la garantía) × 1

- Los usuarios que vivan en EE. UU. y Canadá encontrarán información sobre la garantía en la página 82 y en la contraportada (documento de garantía). Los usuarios que vivan en Europa y otras áreas deben consultar la página 83.

Web internacional de TEAC

Las actualizaciones correspondientes a esta unidad se pueden descargar desde la web internacional de TEAC:

https://teac.jp/int/

Haga clic en "Language" (Idioma) en la parte superior derecha de la pantalla y seleccione el país o región que desee para acceder a la página en el idioma correspondiente.

Precauciones de uso

- Coloque la unidad en una superficie plana.
- No coloque nada sobre la tapa del plato giradiscos. Los objetos situados sobre la tapa podrían causar ruido debido a las vibraciones o caerse, especialmente durante la reproducción.
- Evite situar la unidad directamente a la luz del sol, cerca de una fuente de calor o en condiciones similares. No coloque la unidad encima de un amplificador u otros equipos que puedan generar calor que exceda el margen de la temperatura de funcionamiento de esta unidad. Si lo hace, podría causar que la unidad se decolore, se deforme o que funcione incorrectamente.
- Dado que la unidad podría calentarse durante el funcionamiento, deje siempre espacio suficiente a su alrededor para una correcta ventilación. Cuando instale la unidad, deje un poco de espacio (al menos 20 cm) entre la unidad y otros dispositivos y paredes para permitir una buena disipación del calor. Cuando la coloque en un rack, por ejemplo, deje al menos 35 cm libres por encima de la unidad y 10 cm libres por detrás. Si no deja estos espacios libres, el calor puede acumularse en su interior y provocar fuego.
- NO MUEVA LA UNIDAD DURANTE LA REPRODUCCIÓN. Durante la reproducción, un disco de vinilo gira. No levante ni mueva la unidad durante la reproducción. Si lo hace, podría dañar el disco, la aguja, la cápsula o la unidad.
- Quite siempre el disco antes de mover esta unidad o cambiarla de sitio. Si mueve la unidad con un disco en el plato giradiscos podría dañar el disco, la aguja y la cápsula o podría causar un mal funcionamiento.
- El voltaje suministrado a la unidad debe coincidir con el voltaje impreso en el panel posterior. Si tiene dudas al respecto, consulte a un electricista.

Mantenimiento

Si la superficie de la unidad se ensucia, límpiela con un paño suave o utilice un jabón líquido suave diluido. Deje que la superficie de la unidad se seque por completo antes de usarla.

- No utilice paños de limpieza impregnados con productos químicos, disolvente o sustancias similares ya que podría dañar la superficie de la unidad.

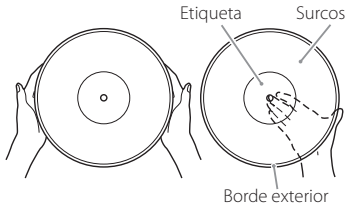
⚠ PRECAUCIÓN

Por seguridad, desconecte el cable de corriente de la toma de electricidad antes de proceder a la limpieza.

Manejo de los discos

Cómo sujetar los discos

Cuando coja un disco o lo saque de su funda, evite tocar los surcos sujetando el disco por su etiqueta central y por el borde con una mano o sujetándolo por los bordes con ambas manos.



Limpieza

- Las huellas de dedos y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que el sonido salte, así como producir daños al propio disco y a la aguja. Utilice un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales para limpiar los discos. No utilice disolvente ni nada que no sea un limpiador específico para discos. Dichos productos químicos podrían dañar la superficie del disco.
- Cuando utilice un limpiador de discos, limpie la superficie del disco con un movimiento circular, siguiendo los surcos.



Precauciones de uso

- No deje los discos en sitios donde estén expuestos directamente a la luz del sol o que sean muy calurosos o húmedos. Si deja un disco bajo tales condiciones durante mucho tiempo, podría deformarse, salirle moho o sufrir otros daños.
- No apile múltiples discos ni sitúe objetos pesados sobre ellos. Tampoco deje los discos inclinados en ángulo durante excesivo tiempo. Si lo hace, podrían deformarse o sufrir otros daños.
- No permita que objetos duros toquen directamente los surcos de audio. Si esto ocurre, los discos se pueden rayar.
- Después de que haya terminado de reproducir un disco, vuelva siempre a guardarlo en su funda. Dejar un disco sin protección puede causar que se deforme o se raye.
- No utilice discos que estén rotos.

Preparación del reproductor de discos

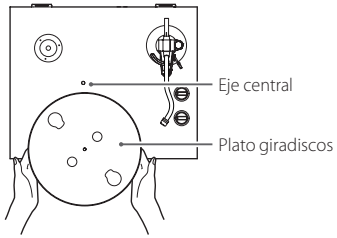
Mantenga el reproductor en modo de reposo (standby) mientras lo configura (E en la página 38).

1 Colóquelo sobre una superficie plana.

Colóquelo sobre una superficie plana para que se puedan seguir los surcos de los discos con precisión.

2 Instale el plato giradiscos.

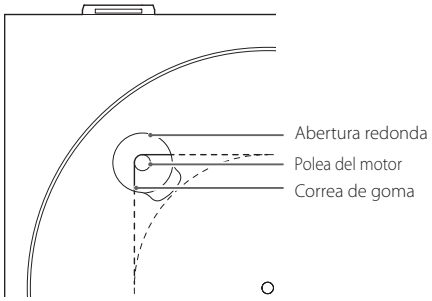
Alinee el plato giradiscos con el eje central e instálelo.



3 Fije la correa alrededor de la polea del motor.

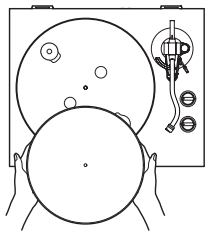
Utilice un dedo para tirar de la correa de goma que está envuelta alrededor del subplato a través de la abertura redonda y colóquela alrededor de la polea del motor.

- Lleve cuidado de que la goma no se retuerza.
- Gire el plato giradiscos varias veces para confirmar que la correa de goma se ha puesto bien.



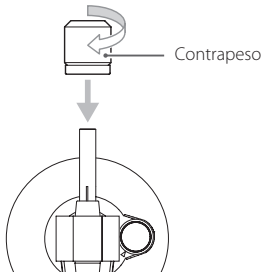
4 Coloque la alfombrilla de fieltro en el plato giradiscos.

Coloque sobre el plato giradiscos la alfombrilla de fieltro que viene incluida con él antes de utilizarlo.



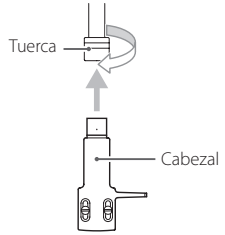
5 Instale el contrapeso.

Coloque el contrapeso sobre el extremo del brazo y presiónelo suavemente mientras lo gira hacia la derecha para fijarlo.

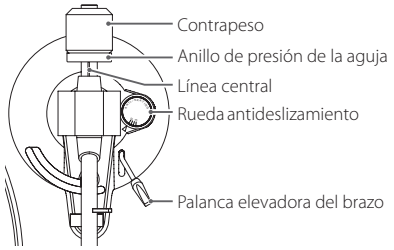


6 Instale el cabezal.

Introduzca el cabezal en el extremo del brazo y gire la tuerca para asegurarlo en su sitio.

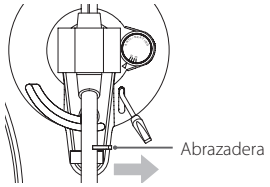


Cómo equilibrar el brazo y ajustar la presión de la aguja



1 Ponga la rueda antideslizamiento en cero.

2 Desplace la abrazadera de sujeción del brazo hacia la derecha para liberarlo.



3 Levante la palanca elevadora del brazo y desplace el brazo ligeramente hacia la izquierda.

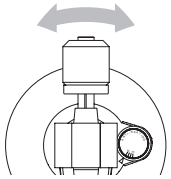
4 Baje la palanca elevadora del brazo.

ESPAÑOL

Continúa en la página siguiente ➡

Preparación del reproductor de discos (continuación)

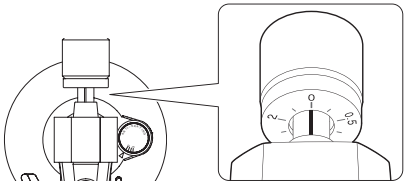
5 **Gire el contrapeso y ajústelo de manera que el brazo quede nivelado.**



- Quite la cubierta de protección de la aguja de la cápsula antes de hacer los ajustes.
- Lleve cuidado para que la aguja de la cápsula no toque la unidad.

6 **Vuelva a poner el brazo en su posición original y utilice la abrazadera de sujeción para fijarlo en su sitio.**

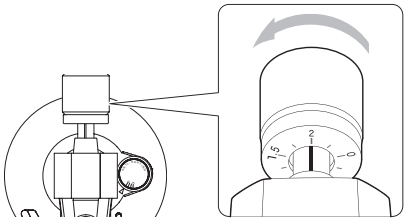
7 **Gire el anillo de ajuste de presión de la aguja de modo que la línea central quede alineada con el 0 de la escala.**



- Gire solo el anillo. Lleve cuidado de no girar el contrapeso.

8 **Gire el contrapeso de forma que la escala del anillo de ajuste de presión de la aguja coincida con la presión especificada para la cápsula.**

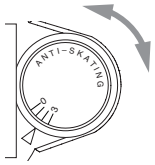
- La presión de la aguja de la cápsula que viene incluida es de 2 g.
  Por tanto, gire la escala del contrapeso hasta 2 cuando utilice la cápsula incluida.



- Gire en la dirección de la flecha según se indica en la ilustración de arriba para que el valor cambie de 0 a 1, 2, etc.

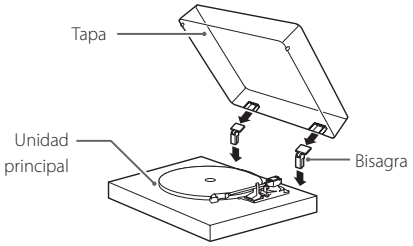
9 **Ajuste la rueda antideslizamiento.**

Comience con ella puesta en 2 y ajústela durante la reproducción de un disco (página 39) situándola en la posición donde los volúmenes de los canales izquierdo y derecho estén equilibrados.



Tapa

Montaje de la tapa



1 **Inserte las bisagras por completo en las sujeciones situadas en los extremos izquierdo y derecho de la parte posterior de la unidad principal.**

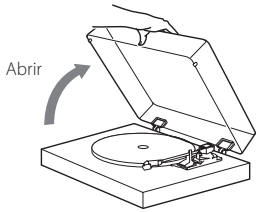
2 **Alinee las partes de arriba de las bisagras con las sujeciones que para ellas hay en la tapa e insértelas.**

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa, con lo cual es mucho menos probable que se produzca ruido.
- No la abra ni la cierre cuando se esté reproduciendo un disco, ya que podría saltar la aguja, por ejemplo.
- Manténgala cerrada siempre que sea posible para que no entre polvo.

Cómo quitar la tapa

Sujete ambos bordes de la tapa y levántela lentamente para separarla de la unidad junto con las bisagras. A continuación, quite las bisagras de la tapa.

Apertura y cierre de la tapa



Apertura

Sujete el borde frontal de la tapa y levántela suavemente para abrirla hasta que se detenga.
La tapa se quedará abierta en esta posición.

Cierre

Baje suavemente la tapa hasta que se cierre.

⚠ **Lleve cuidado de no pillarse los dedos, por ejemplo, al abrir y cerrar la tapa.**

Notas sobre las agujas para discos

- Si una aguja se dobla (se daña), no podrá seguir los surcos del disco con precisión. Puesto que una aguja doblada puede también dañar los discos o provocar averías, maneje las agujas con mucho cuidado.
- Utilice siempre un limpiador de agujas de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales. El uso de cualquier otra cosa que no sea un limpiador de agujas puede dañar la aguja.

Sustitución de la aguja

Si la punta de la aguja se desgasta, no solo empeorará la calidad de sonido, también pueden estropearse los discos. Después de aproximadamente 300 horas de reproducción, cambie la aguja por otra según nuestras especificaciones.

Cuando cambie la aguja, utilice una Audio-Technica ATN95E.

- En esta unidad viene instalada una cápsula Audio-Technica AT95E VM Type.

NOTA

Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Siga las instrucciones de sustitución de la aguja que vengan en el manual de la aguja de repuesto.

PRECAUCIÓN

- Puesto que se pueden producir ruidos repentinos a alto volumen, ponga la unidad en reposo (standby) antes de cambiar la aguja.
- Lleve cuidado de no lastimarse la mano o dañar el equipo.
- Lleve cuidado de no permitir que los niños pequeños puedan tragarse las agujas accidentalmente.
- Tenga en cuenta que las agujas dobladas, por ejemplo, algo que se produce porque el usuario no ha tenido el suficiente cuidado o por otra causa ajena al fabricante, no están cubiertas por la garantía.

Cambio de la cápsula

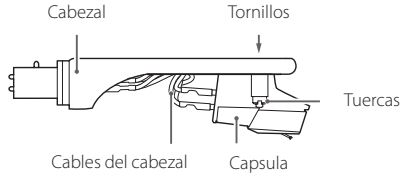
Para cambiar la cápsula, primero quite el cabezal separándolo del brazo.

- La cápsula instalada en esta unidad es una Audio-Technica AT95E VM Type.

NOTA

Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Le recomendamos que mantenga puesta la cubierta protectora de la aguja mientras cambia la cápsula.

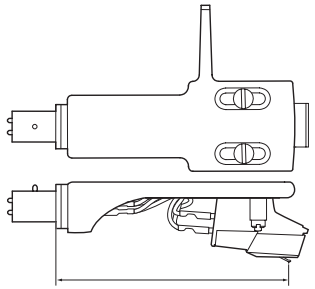


1 Desconecte de la cápsula los terminales cableados del cabezal.

2 Afloje los tornillos y quite la cápsula.

3 Acople la nueva cápsula y apriete los tornillos.

En la ilustración que viene a continuación puede ver la posición de los tornillos una vez acoplada la cápsula.



4 Conecte a la cápsula los terminales cableados del cabezal.

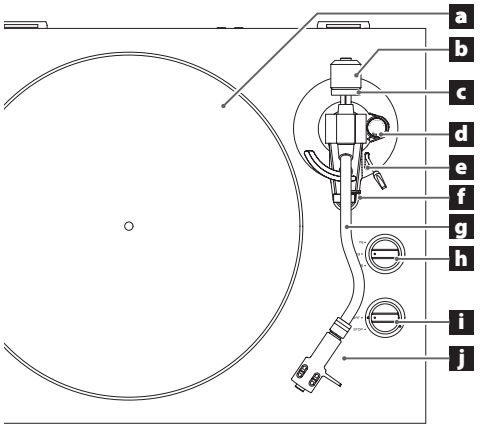
- Las señales y los colores de los cables del cabezal se muestran a continuación:

Señal	Color
Canal izquierdo +	Blanco
Canal izquierdo –	Azul
Canal derecho +	Rojo
Canal derecho –	Verde

5 Equilibre el brazo y ajuste la presión de la aguja.

Siga el procedimiento del apartado "Cómo equilibrar el brazo y ajustar la presión de la aguja" en la página 35.

Nombres y funciones de las partes



a Plato giradiscos

Coloque los discos centrados en el plato.

b Contrapeso

c Anillo de ajuste de presión de la aguja

d Rueda antideslizamiento

e Palanca elevadora del brazo

Utilícela para elevar y descender la punta de la aguja.
Le recomendamos utilizar esta palanca elevadora del brazo para evitar que los discos y las agujas se dañen, ya que es más seguro y más preciso que hacerlo con un dedo.

f Sujeción del brazo

Esta pieza es donde descansa el brazo. Antes de empezar a reproducir un disco, desplace la abrazadera hacia la derecha para quitarla.

g Brazo

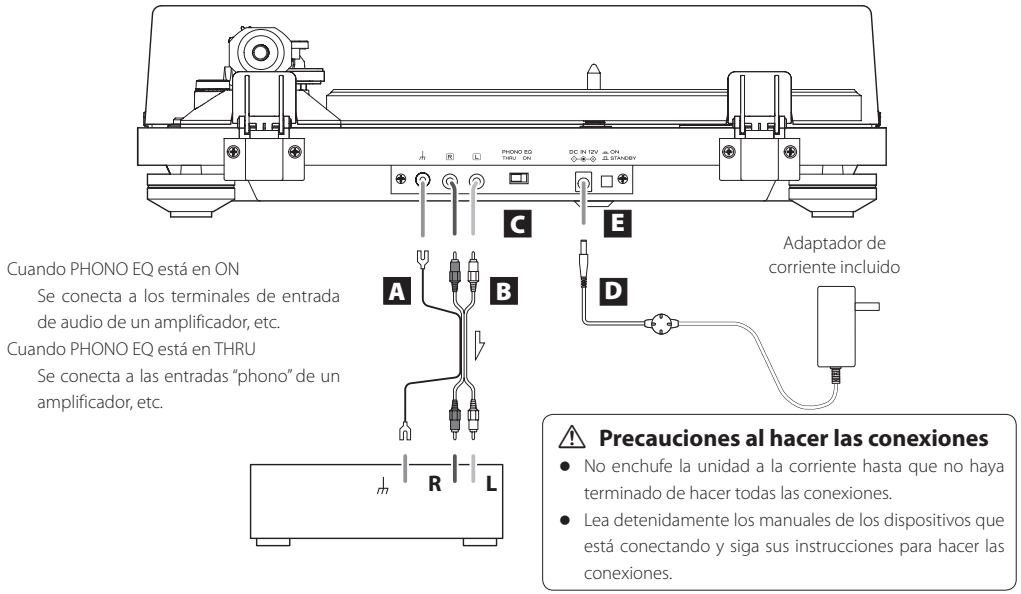
h Mando de ajuste de la velocidad de giro

Seleccione aquí la velocidad de giro indicada en el disco que se va a reproducir.

i Control START/STOP de inicio/parada de giro del plato

j Cabezal

Es de un tipo universal que permite cambiar la cápsula fácilmente.



Cuando PHONO EQ está en ON
Se conecta a los terminales de entrada de audio de un amplificador, etc.
Cuando PHONO EQ está en THRU
Se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, etc.

⚠ Precauciones al hacer las conexiones

- No enchufe la unidad a la corriente hasta que no haya terminado de hacer todas las conexiones.
- Lea detenidamente los manuales de los dispositivos que está conectando y siga sus instrucciones para hacer las conexiones.

A Terminal de tierra (⏚)

Utilice el conductor de tierra del cable de audio RCA incluido para conectar este terminal al terminal de tierra de un amplificador, por ejemplo.

- Esta NO es una toma de tierra de seguridad eléctrica.

Si el ruido de los altavoces es notorio

Si al conectar el conductor de tierra del cable de audio al terminal de tierra de esta unidad no se reduce el ruido, desconecte el conductor de tierra y pruebe el sonido de nuevo. Utilice el método (conectado/desconectado) que menos ruido tenga.

B Terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha)

Por ellos salen las señales de audio analógico.
El ajuste del interruptor PHONO EQ cambia el tipo de señal de salida.
Use el cable de audio incluido (u otro comprado en un establecimiento comercial) para conectar otros equipos a los terminales de salida de esta unidad.

C Interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio)

ON

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izda./dcha.) salen las señales que se han amplificado mediante el amplificador-ecualizador integrado.

THRU

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha) sale directamente la señal de la cápsula MC o MM.
Utilice esta opción cuando conecte esta unidad a un equipo que tenga entradas "phono", como por ejemplo un preamplificador de ecualización para platos giradiscos o un amplificador con terminales de entrada "phono".

- Cuando la unidad sale de fábrica, su ajuste predeterminado es ON.

PRECAUCIÓN

Si se selecciona ON y la unidad se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, por ejemplo, la salida de sonido por altavoces y auriculares será a gran volumen, y se puede dañar el equipo o producir daños auditivos.

D Entrada de corriente DC IN 12V

Una vez terminadas todas las demás conexiones, conecte el adaptador de corriente incluido a esta entrada de corriente. Confirme que el enchufe del adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad.

- No utilice ningún otro adaptador de corriente que no sea el incluido.
- El adaptador de corriente incluido tiene enchufes que se pueden cambiar. Coloque el enchufe que corresponda al área geográfica donde se esté utilizando.

⚠ Asegúrese de conectar el cable de corriente a una toma de electricidad que suministre el voltaje correcto. La conexión a una toma con el voltaje incorrecto puede originar fuego o una descarga eléctrica.

⚠ Sujételo por el enchufe al enchufarlo o desenchufarlo de una toma de electricidad. No tire nunca del cable.

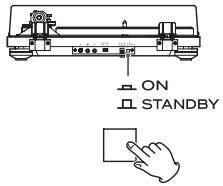
⚠ Desenchufe el cable de corriente de la toma de electricidad cuando no piense utilizar la unidad durante un largo periodo de tiempo.

E Botón STANDBY/ON

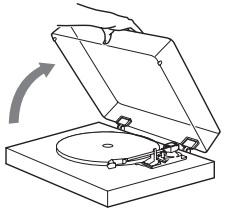
Pulse el botón STANDBY/ON para encender (ON) o poner en reposo (STANDBY) la unidad.

Reproducción de discos

1 **Pulse el botón STANDBY/ON situado en la parte posterior de la unidad para encenderla.**



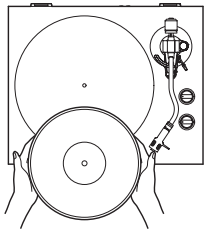
2 **Abra la tapa lentamente.**



⚠ **Lleve cuidado de no pillarse la mano, por ejemplo, al cerrar la tapa.**

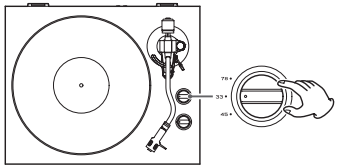
3 **Coloque un disco en el plato giradiscos.**

Cuando reproduzca un disco sencillo ("single") de 45 RPM con agujero central grande, utilice el adaptador incluido.

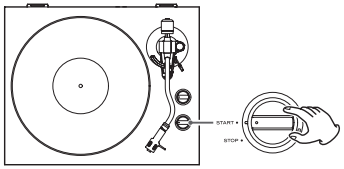


4 **Seleccione la velocidad de rotación indicada en el disco.**

La velocidad de rotación puede fijarse en 33 1/3, 45 o 78 RPM.

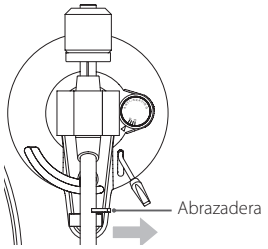


5 **Gire el mando START/STOP a la posición START para iniciar el plato giradiscos.**

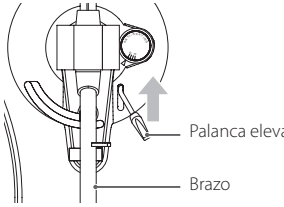


- Al poner el mando START/STOP en START, el plato empezará a girar y se iluminará la luz azul START.

6 **Desplace la abrazadera que sujeta el brazo hacia la derecha para liberarlo.**

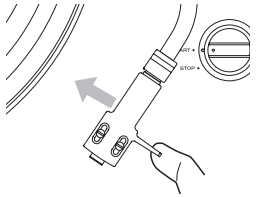


7 **Levante la palanca elevadora del brazo.**



- También puede desplazar el brazo manualmente sobre el disco sin levantar la palanca elevadora del brazo y bajarlo lentamente para comenzar la reproducción.

8 **Desplace el brazo hacia la canción donde desee comenzar la reproducción.**



9 **Utilice la palanca elevadora del brazo para bajar el brazo.**

El brazo bajará lentamente hasta que la aguja toque el disco y comenzará la reproducción.

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se reduce la posibilidad de que se produzcan ruidos, ya que se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa.

⚠ **No coloque nada sobre la tapa.**

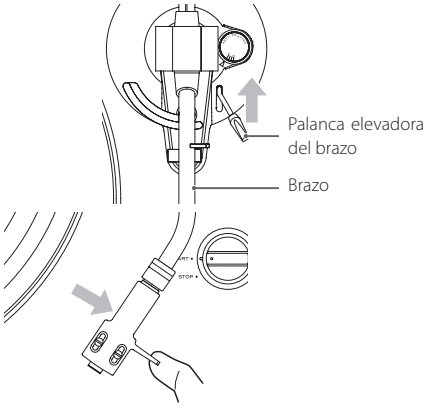
ATENCIÓN

- Durante la reproducción no toque ni el brazo ni el disco. Si lo hace, puede dañar la punta de la aguja o rayar el disco.
- No detenga el giro del plato a la fuerza durante la reproducción. Puesto que este no es un plato giradiscos de tipo "direct drive" (tracción directa) diseñado para "DJs", cualquier maniobra de este tipo puede causar una avería.

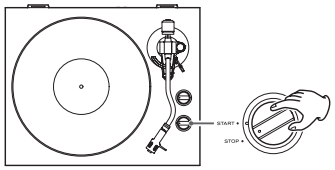
Durante la reproducción de los discos puede producirse realimentación (pitidos conocidos también como "acoples") si el volumen es demasiado alto. Si esto ocurre, baje el volumen del amplificador.

Cuando termine la reproducción

1 **Levante ligeramente la palanca elevadora del brazo para separar la aguja del disco y vuelva a poner el brazo en su posición original.**



2 **Gire el mando START/STOP a la posición STOP para detener el plato giradiscos.**



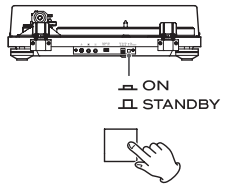
- La luz azul START se apagará y el plato giradiscos se detendrá.

ESPAÑOL

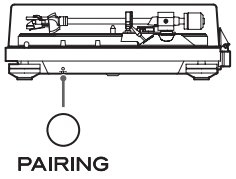
Escuchar con altavoces Bluetooth®

Esta unidad tiene un transmisor Bluetooth que puede enviar sonido a altavoces Bluetooth mediante una conexión inalámbrica.

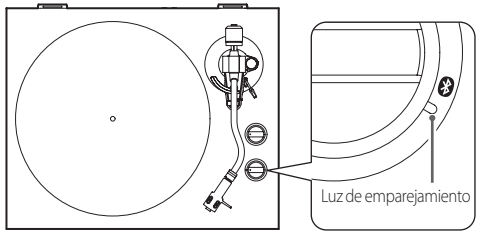
1 Pulse el botón STANDBY/ON situado en la parte posterior de esta unidad para encenderla.



2 Empareje y conecte el altavoz Bluetooth.



Botón PAIRING



Emparejamiento de altavoces Bluetooth

Es necesario el emparejamiento de esta unidad con otro dispositivo Bluetooth la primera vez que se conecta a dicho dispositivo Bluetooth.

Pulse el botón PAIRING de esta unidad para activar el modo de emparejamiento. Si otro dispositivo Bluetooth ya ha sido emparejado con esta unidad, se activará el modo de conexión. Pulse el botón PAIRING otra vez durante al menos dos segundos para activar el modo de emparejamiento.

Ponga el altavoz Bluetooth en modo de emparejamiento.

Cuando esta unidad y el altavoz Bluetooth estén conectados, la luz de emparejamiento quedará iluminada fija, sin parpadear.

- Consulte el manual de instrucciones del altavoz Bluetooth si desea más información sobre cómo utilizarlo.
- El emparejamiento puede llevar algún tiempo dependiendo del dispositivo conectado.
- Esta unidad se conectará al altavoz Bluetooth más cercano. Si no se encuentran altavoces Bluetooth en el transcurso de cinco minutos, se entrará en el modo de Bluetooth en espera y la luz de emparejamiento se apagará.

Significado de la luz de emparejamiento

Estado	Significado
Iluminada	Conectados
Parpadeando lentamente	Modo de conexión
Parpadeando rápidamente	Modo de emparejamiento
Apagada	Modo de reposo (standby)

Conexión de altavoces Bluetooth ya emparejados

Pulse el botón PAIRING de esta unidad para activar el modo de conexión, lo que permite la conexión con altavoces Bluetooth que ya hayan sido emparejados.
Si aún no se ha emparejado ningún altavoz Bluetooth, esta acción activará el modo de emparejamiento.

Cuando esta unidad y el altavoz Bluetooth estén conectados, la luz de emparejamiento quedará iluminada fija, sin parpadear.

- Cuando conecte esta unidad a un altavoz Bluetooth, aleje otros altavoces y dispositivos receptores Bluetooth al menos 10 metros de esta unidad o apáguelos.

3 Reproduzca un disco.

- La conexión Bluetooth también es posible mientras se reproduce un disco.
- Ajuste el volumen del altavoz Bluetooth si es necesario.
- No se puede utilizar esta unidad para ajustar el volumen.
- Para finalizar una conexión, pulse el botón PAIRING de esta unidad durante al menos seis segundos para entrar en el modo de Bluetooth en espera o apague esta unidad.
- Si pulsa el botón PAIRING durante 10 o más segundos, hará que la luz de emparejamiento parpadee y se borrarán todos los emparejamientos existentes con otros dispositivos.

Solución de posibles fallos

Si experimenta algún problema con esta unidad, por favor compruebe los apartados siguientes antes de solicitar asistencia técnica. La causa del problema podría no ser esta unidad. Por favor, compruebe también que los dispositivos conectados están siendo utilizados correctamente.
Si aún así la unidad no funciona correctamente, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió la unidad.

No enciende.

➡ Confirme que el adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad. A continuación, pulse el botón STANDBY/ON para encender la unidad (página 38).

No sale sonido.

➡ Cuando conecte los terminales de salida de audio analógico de esta unidad a los terminales de audio de un amplificador u otro equipo, ponga el interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio) en ON (página 38).

La reproducción no es posible; hay ruido.

➡ Quite la cubierta protectora de la aguja.

➡ Las huellas y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que salte el sonido. Limpie el disco con un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales (página 34).

➡ Limpie la aguja (página 37).

➡ Si la aguja está gastada, cámbiela (página 37). La vida útil de una aguja depende de las condiciones de uso, pero suele ser de unas 300 horas.

➡ Coloque la unidad lo más lejos posible de televisiones, hornos microondas y otros dispositivos que emitan ondas electromagnéticas.

Hay ruido cuando se está reproduciendo un disco.

➡ Cuando la presión de la aguja es superior al valor especificado para la cápsula, puede producirse ruido. Reajuste la presión de la aguja para que sea la del valor especificado (página 35).

El tono (afinación) de reproducción es incorrecto.

➡ Seleccione la velocidad de rotación (RPM) indicada en el disco (página 39).

El sonido salta.

➡ Las vibraciones pueden causar saltos. Coloque esta unidad en un lugar estable.

➡ Limpie el disco.

➡ No utilice discos rayados.

➡ Equilibre el brazo y vuelva a ajustar la presión de la aguja (página 35). Si la presión de la aguja es menor que el valor especificado para la cápsula, puede que se produzcan saltos en la aguja y en el sonido.

No es posible la conexión con el altavoz Bluetooth que quiero conectar.

➡ Apague esta unidad y el dispositivo Bluetooth. Vuelva a encenderlos e intente el emparejamiento otra vez.

➡ Apague otros altavoces Bluetooth que se encuentren a menos de 10 metros. El emparejamiento se llevará a cabo con el altavoz Bluetooth más cercano.

La conexión con el altavoz Bluetooth se ha realizado correctamente, pero no se escucha la reproducción.

➡ Compruebe el volumen del altavoz Bluetooth.

➡ Pulse el botón PAIRING de esta unidad durante al menos seis segundos para desconectar el altavoz Bluetooth. A continuación, intente de nuevo el emparejamiento.

➡ Apague esta unidad y vuelva a encenderla. A continuación, pulse el botón PAIRING para intentar de nuevo el emparejamiento.

No es posible la conexión con un smartphone.

➡ Esta unidad funciona como transmisor Bluetooth y puede enviar sonido a altavoces Bluetooth.
Dado que no funciona como receptor Bluetooth, no puede conectarse con un smartphone.

Especificaciones

Plato giradiscos

Sistema de tracción ..... tracción por correa
Motor ..... motor de CC
Velocidad de rotación ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
Variación de velocidad de rotación ..... ±2 %
Lloro y centelleo ..... 0,2 % o menos
Relación señal/ruido.... 67 dB o más (ponderado A, 20 kHz LPF)
Plato giradiscos ..... aluminio fundido
30 cm de diámetro

Brazo

Tipo de brazo ..... Brazo en forma de "S" con equilibrio estático
Longitud efectiva del brazo ..... 223 mm
Margen de variación de la presión de la aguja ..... 0–5 g
Peso aceptable de la cápsula ..... 4,0–8,0 g

Cápsula

Tipo. ..... VM (equivalente a MM)
Voltaje de salida ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Presión de la aguja ..... 2 ±0,5 g
Peso de la cápsula. ..... 5,7 ±0,5 g
Peso del cabezal incluido
10 g (incluidos tornillos, tuercas y cables)

- La vida útil de una aguja depende de las condiciones de uso, pero suele ser de unas 300 horas.
- La cápsula instalada en esta unidad es una Audio-Technica AT95E VM Type.
  Nota: Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.
- Modelo de aguja de repuesto: Audio-Technica ATN95E.

Voltaje de salida

PHONO EQ THRU. ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Terminales de salida ..... RCA

Función Bluetooth

Versión Bluetooth ..... 5.2 (MODO DUAL)
Clase de salida ..... Clase 2
Perfil compatible A2DP
Codecs. ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Número máximo de emparejamientos almacenados
8 dispositivos

General

Adaptador de corriente
  Entrada ..... CA 100 V – CA 240 V, 50/60 Hz
  Salida ..... CC 12 V, 500 mA
Consumo de corriente
  En reposo (standby) ..... 0,5 W o menos
  Encendido (START) ..... 1,5 W o menos
Peso ..... 4,9 kg
Margen de temperatura de funcionamiento ..... de 5 °C a 35 °C
Dimensiones (an. × al. × pro.) (incluidos salientes)
  Con la tapa cerrada ..... 420 × 117 × 356 mm
  Con la tapa abierta ..... 420 × 381 × 402 mm
  Con la tapa quitada ..... 420 × 102 × 356 mm

- Datos de rendimiento especificados a 20 °C.

Artículos incluidos

Alfombrilla de fieltro × 1
Adaptador de 45 RPM × 1
Contrapeso × 1
Cabezal × 1
  Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble imán) (AT95E) preinstalada
Plato giradiscos × 1
Tapa × 1
Bisagras de la tapa × 2
Cable de audio RCA con terminal de tierra × 1
Adaptador de corriente (GPE053A-V120050) × 1
Manual del usuario (este documento, incluyendo la garantía) × 1

- Los usuarios que vivan en EE. UU. y Canadá encontrarán información sobre la garantía en la página 82 y en la contraportada (documento de garantía). Los usuarios que vivan en Europa y otras áreas deben consultar la página 83.

- Las especificaciones y el diseño están sujetos a cambios sin previo aviso.
- El peso y las dimensiones son aproximados.
- Las ilustraciones de este manual pueden diferir ligeramente de los modelos de producción.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

VORSICHT: VERMEIDEN SIE DAS RISIKO EINES STROMSCHLAGS. ENTFERNEN SIE NICHT DIE ABDECKUNG (ODER RÜCKSEITE). DIE BAUTEILE IM GERÄTEINNEREN BEDÜRFEN NICHT DER WARTUNG DURCH DEN NUTZER. WENDEN SIE SICH IM WARTUNGS-/REPARATURFALL AN DEN QUALIFIZIERTEN SERVICE.

Das Blitzsymbol mit Pfeilspitze in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf das Vorhandensein einer nicht isolierten „gefährlichen elektrischen Spannung" im Geräteinneren hin, deren Stärke ausreichen kann, um für Personen ein Stromschlagrisiko darzustellen.

Das Ausrufezeichen in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf wichtige Bedienungs- und Wartungs- (Reparatur-) Anweisungen in den Dokumentationen hin, die dem Produkt beiliegen.

WARNUNG: ZUR VERMEIDUNG VON BRAND ODER STROMSCHLAG DARF DIESES GERÄT NICHT REGEN ODER FEUCHTIGKEIT AUSGESETZT WERDEN.

WICHTIGER HINWEIS

- ENTFERNEN SIE NICHT DAS GEHÄUSE, UM DIE INTERNE ELEKTRONIK FREIZULEGEN. IM GERÄTEINNEREN BEFINDEN SICH KEINE BAUTEILE, DEREN WARTUNG VOM NUTZER VORZUNEHMEN IST.
- SOLLTEN FUNKTIONSSTÖRUNGEN AUFTRETEN, KONTAKTIEREN SIE DEN HÄNDLER, BEI DEM SIE DAS GERÄT ERWORBEN HABEN UND BITTEN SIE UM EINEN SERVICETERMIN. VERWENDEN SIE DAS PRODUKT ERST WIEDER, WENN DIE REPARATUR DURCHGEFÜHRT WURDE.
- DIE VERWENDUNG VON BEDIENELEMENTEN, EINSTELLUNGEN SOWIE DAS ABWEICHEN VON DEN IN DIESEM HANDBUCH BESCHRIEBENEN VERFAHRENSWEISEN KANN ZU GESUNDHEITS-GEFÄHRDENDER STRAHLENBELASTUNG FÜHREN.

1) Lesen Sie diese Hinweise.
2) Bewahren Sie diese Anweisungen auf.
3) Beachten Sie alle Warnungen.
4) Befolgen Sie alle Anweisungen.
5) Elektrische Geräte sollten nie in der Nähe von Wasser betrieben werden.
6) Verwenden Sie zum Reinigen stets ein trockenes Tuch.
7) Achten Sie darauf, dass Belüftungsöffnungen nicht verdeckt sind. Beachten Sie bei der Installation die entsprechenden Anweisungen des Herstellers.
8) Vermeiden Sie Aufstellungsorte in der Nähe von Wärmequellen, wie Heizkörpern, Wärmespeichern, Öfen, Herden oder anderen Geräten (inklusive Verstärkern), die Wärme abstrahlen.
9) Umgehen Sie nie die Sicherheitsfunktionen eines verpolungssicheren oder geerdeten Steckers. Verpolungssichere Stecker besitzen zwei Stromkontakte, von denen einer breiter ist als der andere. Geerdete Stecker (Schutzkontaktstecker) besitzen zwei Stromkontakte sowie einen dritten Erdungskontakt. Beide Steckerausführungen dienen der Sicherheit. Falls der vorhandene Stecker nicht in die verwendete Steckdose passt, lassen Sie den Stecker durch einen Elektriker austauschen.
10) Achten Sie insbesondere im Bereich von Steckern, Steckdosen sowie dem Netzkabelauslass/-anschluss darauf, dass nicht auf das Netzkabel getreten oder das Kabel eingeklemmt werden kann.
11) Verwenden Sie nur vom Hersteller zugelassene Zubehörartikel.
12) Verwenden Sie ausschließlich vom Hersteller empfohlene oder beim Gerätekauf erworbene Rollwagen, Halterungen, Stative, Tische usw. Achten Sie bei Verwendung eines Rollwagens darauf, dass Wagen und Gerät nicht umfallen und Sie verletzen.



13) Trennen Sie Ihr Audiosystem während eines Gewitters oder längerer Nichtverwendung vom Spannungsnetz.
14) Überlassen Sie alle Reparaturen/Wartungsarbeiten qualifiziertem Fachpersonal. Reparatur oder Wartung sind erforderlich, wenn eine Beschädigung jeglicher Art vorliegt. Beispielsweise, wenn das Netzkabel oder der Netzstecker beschädigt sind, Flüssigkeit oder Gegenstände ins Geräteinnere gelangt sind, das Gerät Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt war, nicht mehr ordnungsgemäß funktioniert oder fallen gelassen wurde.
    - Es wird auch dann ein geringer Ruhestrom aus dem Netz bezogen, wenn sich der POWER- oder STANDBY/ON-Schalter nicht in der ON-Position befindet.
    - Der Netzstecker dient als Verbindungs-/Trennglied zur Spannungsversorgung. Achten Sie darauf, dass er stets in einwandfreiem Zustand ist.
    - Achten Sie bei der Verwendung von Kopfhörern auf Ihr Gehör. Zu hoher Schalldruck von Ohr- oder Kopfhörern kann Hörschäden oder Hörverlust verursachen.

WICHTIGER HINWEIS

- Vermeiden Sie die Einwirkung von Tropf- oder Spritzwasser.
- Stellen Sie niemals Vasen oder andere mit Flüssigkeiten gefüllte Gefäße auf das Gehäuse.
- Eine Installation in geschlossenen Regalsystemen oder ähnlichen Möbelstücken ist nicht zulässig.
- Wählen Sie einen Betriebsort in der Nähe der Wandsteckdose, so dass der Netzstecker jederzeit zugänglich ist.

Für Kunden in Europa

Entsorgung von elektrischen und elektronischen Altgeräten sowie Batterien und Akkus

a) Sofern ein Produkt, die Verpackung und/oder die begleitende Dokumentation durch das Symbol einer durchgestrichenen Abfalltonne gekennzeichnet ist, unterliegt dieses Produkt den europäischen Richtlinien 2002/96/EC und/oder 2006/66/EG (geändert durch 2013/56/EU) sowie nationalen Gesetzen zur Umsetzung dieser Richtlinien.

b) Diese Richtlinien und Gesetze schreiben vor, dass Elektro- und Elektronik-Altgeräte sowie Batterien und Akkus nicht in den Hausmüll (Restmüll) gelangen dürfen. Um die fachgerechte Entsorgung, Aufbereitung und Wiederverwertung sicherzustellen, sind Sie verpflichtet, Altgeräte und entladene Batterien/Akkus an den dafür vorgesehenen Orten zu entsorgen.

c) Durch die ordnungsgemäße Entsorgung solcher Geräte, Batterien und Akkus leisten Sie einen Beitrag zur Einsparung wertvoller Rohstoffe und verhindern potenziell schädliche Auswirkungen auf die Gesundheit der Allgemeinheit und die Umwelt, die durch falsche Abfallentsorgung entstehen können. Die Entsorgung ist für Sie kostenlos.

d) Falls der Gehalt an Blei (Pb), Quecksilber (Hg) und/oder Cadmium (Cd) in Batterien/Akkus die in der Richtlinie zur Batterieentsorgung (2006/66/EG, 2013/56/EU) angegebenen, zulässigen Höchstwerte übersteigen, wird die Bezeichnung des entsprechenden chemischen Elements oder der Elemente unterhalb der durchgestrichenen Abfalltonne angegeben.

Pb, Hg, Cd

e) Weitere Informationen zur Wertstoffsammlung und Wiederverwertung von Altgeräten, Batterien und Akkus erhalten Sie bei Ihrer Stadtverwaltung, dem für Sie zuständigen Abfallentsorgungsunternehmen oder der Verkaufsstelle, bei der Sie das Produkt erworben haben.

Konformität des Funksenders und Interferenzen

Dieses Produkt integriert einen Breitband-Sender zur Übertragung im Frequenzband 2,4 GHz.

Benutztes Frequenzband: 2.402 MHz bis 2.480 MHz
Maximale Ausgangsleistung: Bluetooth® Klasse 2
(weniger als 2,5 mW)

Verwenden Sie das Gerät bitte nur in dem Land, in dem Sie es erworben haben. Die Verwendung der Bluetooth-Funktechnologie unterliegt möglicherweise landesspezifischen Einschränkungen.

EU-Modell (Europäische Union)

CE Hiermit erklärt die TEAC Corporation, dass dieser Funkgerätetyp der Richtlinie 2014/53/EU sowie weiteren Richtlinien und Verordnungen der Kommission entspricht.

Eine ausführliche Fassung der EU-Konformitätserklärung steht unter der folgenden Internet-Adresse zur Verfügung: Kontaktieren Sie uns bitte per E-Mail.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Vorschrift zur Strahlungsbelastung

Dieses Gerät entspricht den international anerkannten Regularien zur Verträglichkeit von Funkstrahlung beim Menschen.

Konformitätserklärung

EU-Modell (Europäische Union)
Dieses Gerät entspricht EN.62479 – Bewertung von elektrischen und elektronischen Einrichtungen in Bezug auf Begrenzungen der Exposition von Personen in elektromagnetischen Feldern – harmonisierte Norm der DIRECTIVE 2014/53/EU.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Alle anderen Firmen- und Produktnamen sowie Logos in diesem Dokument sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen ihres jeweiligen Eigentümers.

Inhaltsverzeichnis

Vielen Dank, dass Sie sich für ein Produkt von TEAC entschieden haben.
Bitte lesen Sie dieses Handbuch sorgfältig durch, damit Sie Ihr Gerät optimal verwenden können.
Bewahren Sie das Handbuch an einem sicheren Ort auf, damit Sie zu einem späteren Zeitpunkt darauf zurückgreifen können.

WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE....42
Vorbereitung....44
Handhabung von Schallplatten....44
Inbetriebnahme des Plattenspielers....45
Staubabdeckung....46
Anmerkungen zu Tonabnehmern....47
Auswechseln des Tonabnehmersystems....47
Bezeichnungen und Funktionen....47
Anschlüsse....48
Grundlegende Bedienung....49
Wiedergabe über Bluetooth®-Lautsprecher....50
Fehlerbehebung....50
Spezifikationen....51

Vorbereitung

Lieferumfang

Überprüfen Sie, ob die Verpackung alle im Folgenden aufgeführten Zubehörteile enthält. Sofern etwas fehlt oder auf dem Transportweg beschädigt wurde, setzten Sie sich bitte mit Ihrem Händler in Verbindung.

- Telleraufl age aus Filz × 1
- 45er/Single-Adapter × 1
- Gegengewicht × 1
- Systemträger × 1
  - Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (AT95E, Doppelmagnet) vorinstalliert
- Plattenteller × 1
- Staubabdeckung × 1
- Scharniergelenke für Staubabdeckung × 2
- Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss × 1
- Netzteil (GPE053A-V120050) × 1
- Bedienungsanleitung (dieses Dokument) × 1

- Informationen zu den Garantiebestimmungen finden Sie auf Seite 83.

Die internationalen Webseite von TEAC

Updates für das Gerät stehen auf der internationalen Webseite von TEAC zum Download bereit:

https://teac.jp/int/

Klicken Sie rechts oben auf der Seite auf „Language" und wählen Sie dort das gewünschte Land oder die Region aus, um auf die Seite in der entsprechenden Sprache zuzugreifen.

Pflegehinweis

Falls die Gehäuseoberfläche des TN-400BT-SE verschmutzt ist, verwenden Sie zum Reinigen ein weiches, trockenes Tuch oder ein mit milder Seifenlösung getränktes Tuch. Achten Sie darauf, dass die Gehäuseoberfläche vor der erneuten Inbetriebnahme komplett trocken ist.

- Verwenden Sie in keinem Fall chemische Reinigungstücher, Verdünner oder andere chemische Reiniger. Andernfalls könnten die Oberflächen ihren Glanz verlieren.

⚠ ACHTUNG

Aus Sicherheitsgründen sollte vor dem Reinigen der Netzstecker gezogen werden.

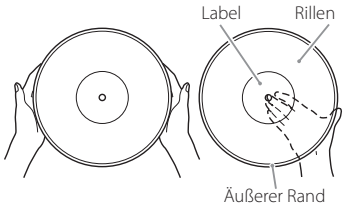
Hinweise zum Betrieb

- Stellen Sie das Gerät auf einer ebenen Fläche auf.
- Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung, da diese insbesondere bei der Wiedergabe durch Vibrationen Geräusche verursachen oder herunterfallen könnten.
- Vermeiden Sie die Aufstellung in direktem Sonnenlicht, in der Nähe von Wärmequellen oder an ähnlichen Orten. Stellen Sie das Gerät nicht auf einen Verstärker oder andere wärmeproduzierende Geräte, um zu verhindern, dass die Betriebstemperatur dieses Geräts überschritten wird, da dies zu Verfärbungen und Verformungen des Gehäuses sowie zu Fehlfunktionen führen kann.
- Da sich das Gerät im Betrieb erwärmen kann, lassen Sie um das Gerät herum ausreichend Platz zur Belüftung. Lassen Sie bei der Aufstellung des Geräts Abstand (wenigstens 20 cm) zu anderen Geräten und Wänden, sodass eine ausreichende Belüftung gewährleistet ist.
  Bei Einbau in einem Rack sollten Sie darüber wenigstens 35 cm und dahinter wenigstens 10 cm Platz lassen. Bei geringeren Abständen kann es zu einem Hitzestau mit Brandgefahr kommen.
- BEWEGEN SIE DAS GERÄT NIEMALS IM BETRIEB. Während der Wiedergabe dreht sich die Schallplatte. Heben Sie das Gerät während der Wiedergabe in keinem Fall an und bewegen Sie es nicht. Andernfalls können die Schallplatte, die Nadel, der Tonabnehmer oder das Gerät beschädigt werden.
- Entfernen Sie immer zuerst die Schallplatte, bevor Sie dieses Gerät an einem anderen Ort aufstellen oder bewegen. Wenn Sie das Gerät bewegen, während sich eine Schallplatte auf dem Plattenteller befindet, kann die Schallplatte, die Nadel und der Tonabnehmer beschädigt werden oder eine Fehlfunktion auftreten.
- Die Versorgungsspannung muss in dem auf der Geräterückseite angegebenen Spannungsbereich liegen. Wenn Sie diesbezüglich unsicher sind, wenden Sie sich an eine Elektrofachkraft.

Handhabung von Schallplatten

Umgang mit Schallplatten

Wenn Sie eine Schallplatte halten oder aus ihrer Hülle nehmen, vermeiden Sie es, die Rillen zu berühren, indem Sie die Platte entweder mit einer Hand am Label und am Rand oder mit beiden Händen am Rand halten.



Reinigung

- Fingerabdrücke und Staub können bei der Wiedergabe zu Störgeräuschen und Aussetzern führen und darüber hinaus die Schallplatte und die Nadel beschädigen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger. Verwenden Sie in keinem Fall Verdünner, sondern ausschließlich spezielle Schallplattenreiniger. Andere chemische Mittel können die Oberfläche der Schallplatte beschädigen.
- Wenn Sie Schallplattenreiniger verwenden, wischen Sie in kreisenden Bewegungen entlang der Rillen über die Schallplatte.



Hinweise zum Betrieb

- Lassen Sie Schallplatten nicht in direktem Sonnenlicht, an sehr feuchten oder heißen Orten liegen. Eine längere Lagerung an solchen Orten kann zu Verformungen, Schimmelbildung und anderen Schäden an der Schallplatte führen.
- Legen Sie Schallplatten nicht aufeinander und legen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Stellen Sie Schallplatten nicht für längere Zeit schräg auf, da auch dies zu Verformungen und anderen Schäden führen kann.
- Bringen Sie keine harten Gegenstände mit den Rillen in Kontakt, da es dabei zu Kratzern kommen kann.
- Stecken Sie Ihre Schallplatten nach dem Abspielen zur Aufbewahrung wieder in ihre Hüllen. Eine ungeschützte Schallplatte kann sich verformen oder verkratzen.
- Spielen Sie keine Schallplatte ab, die einen Sprung hat.

Inbetriebnahme des Plattenspielers

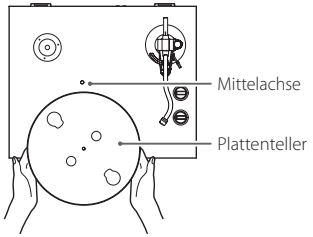
Schalten Sie das Gerät während der Inbetriebnahme in den Standbymodus (E auf Seite 48).

1 Stellen Sie den Plattenspieler auf einer ebenen Fläche auf.

Platzieren Sie das Gerät auf einer ebenen Fläche, sodass die Schallplatte fehlerfrei abgetastet werden kann.

2 Setzen Sie den Plattenteller ein.

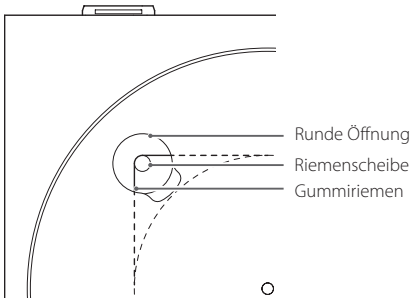
Richten Sie den Plattenteller an der Mittelachse aus und setzen Sie ihn ein.



3 Legen Sie den Riemen um das Antriebsrad.

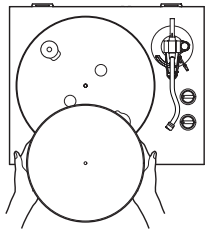
Ziehen Sie den um den unteren Plattenteller gespannten Riemen mit einem Finger durch die runde Öffnung und legen Sie diesen um das Antriebsrad.

- Achten Sie darauf, dass der Gummiriemen nicht verdreht ist.
- Prüfen Sie den korrekten und sicheren Sitz des Riemens, indem Sie den Plattenteller mehrfach mit der Hand drehen.



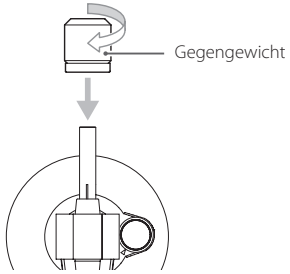
4 Legen Sie die Filzauflage auf den Plattenteller.

Legen Sie die mitgelieferte Tellerauflage aus Filz auf den Teller des Plattenspielers, bevor Sie diesen benutzen.



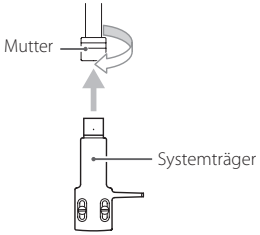
5 Installieren Sie das Gegengewicht.

Schieben Sie das Gegengewicht über das Ende des Tonarms und schrauben Sie es mit sanftem Druck im Uhrzeigersinn fest.

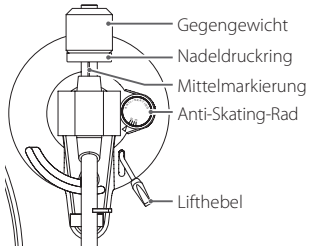


6 Installieren Sie den Systemträger.

Stecken Sie den Systemträger am anderen Ende des Tonarms ein und sichern Sie ihn mit der Mutter.

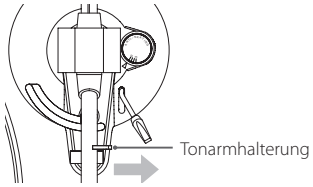


Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel



1 Stellen Sie das Anti-Skating-Rad auf null.

2 Bewegen Sie den Tonarm ein wenig nach rechts, um ihn zu entriegeln.



3 Heben Sie den Lifthebel an und schieben Sie den Tonarm dann ein Stück nach links.

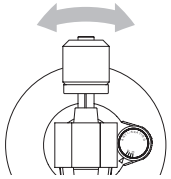
4 Senken Sie den Lifthebel ab.

DEUTSCH

Fortsetzung auf der nächsten Seite ➡

Inbetriebnahme des Plattenspielers (Fortsetzung)

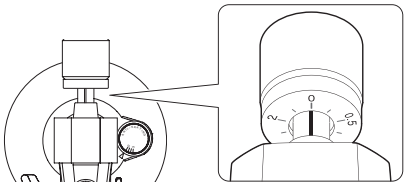
5 **Justieren Sie das Gegengewicht durch Drehen so, dass der Tonarm waagrecht ausgerichtet ist.**



- Entfernen Sie die Schutzkappe des Tonabnehmersystems, bevor Sie dieses justieren.
- Achten Sie darauf, dass die Nadel nicht mit dem Gerät in Berührung kommt.

6 **Bringen Sie den Tonarm wieder in seine Ausgangsposition und sichern Sie ihn mit der Klammer.**

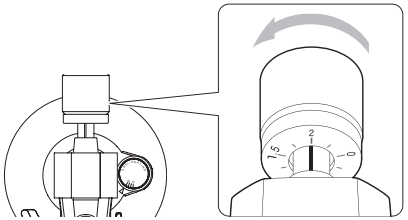
7 **Drehen Sie den Ring für den Nadeldruck so, dass die Markierungslinie der Mittelstellung auf „0“ ausgerichtet ist.**



- Drehen Sie dabei ausschließlich den Ring. Stellen Sie sicher, dass das Gegengewicht nicht verdreht wird.

8 **Drehen Sie nun das Gegengewicht und stellen Sie auf der Skala für den Nadeldruckring den für den Tonabnehmer angegebenen Wert ein.**

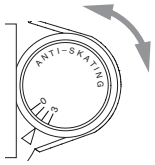
- Der Anpressdruck für den mitgelieferten Tonabnehmer beträgt 2,0 g.
  Wenn Sie den mitgelieferten Tonabnehmer einsetzen, stellen Sie entsprechend auf der Gegengewicht-Skala den Wert 2 ein.



- Drehen Sie ihn in der in der Abbildung oben dargestellten Pfeilrichtung, so dass der Wert von 0 auf 1 bis 2 angehoben wird.

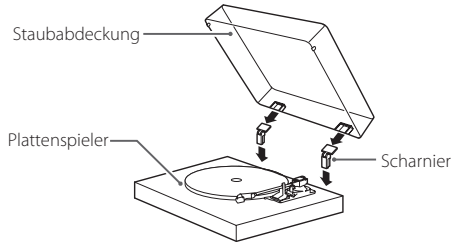
9 **Stellen Sie das Anti-Skating-Rad ein.**

Beginnen Sie bei Position 2 und stellen Sie es während der Wiedergabe einer Platte (Seite 49) so ein, dass die Lautstärke links und rechts ausgewogen ist.



Staubabdeckung

Anbringen der Staubabdeckung



1 **Führen Sie die Scharniere vollständig in die linke und rechte Scharnieröffnung auf der Rückseite des Plattenspielers ein.**

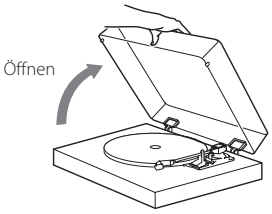
2 **Richten Sie die Scharnieroberteile auf die Öffnungen der Staubabdeckung aus und führen Sie sie ein.**

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So verhindern Sie ein Verspringen der Nadel durch unbeabsichtigtes Berühren und blockieren die Einwirkung externer Schallquellen. Zudem reduzieren Sie etwaige Nebengeräusche.
- Verzichten Sie darauf, die Abdeckung während der Wiedergabe zu öffnen oder zu schließen. Diese könnte beispielsweise dazu führen, dass die Nadel verspringt.
- Um das Eintreten von Staub zu vermeiden, halten Sie die Abdeckung nach Möglichkeit stets geschlossen.

Abnehmen der Staubabdeckung

Halten Sie die Staubabdeckung an beiden Seiten und heben Sie sie leicht an, um die Abdeckung zusammen mit den Scharnieren aus dem Gerät herauszuziehen. Anschließend ziehen Sie die Scharniere aus der Staubabdeckung.

Öffnen und Schließen der Abdeckung



Öffnen

Fassen Sie die Staubabdeckung am vorderen Rand an und klappen Sie sie vollständig nach oben.
Die Staubabdeckung bleibt nun in dieser Position geöffnet.

Schließen

Klappen Sie die Staubabdeckung wieder nach unten, bis sie geschlossen ist.

⚠ **Achten Sie beim Öffnen und Schließen darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.**

Anmerkungen zu Tonabnehmern

- Sofern die Nadel beschädigt oder verbogen wurde, kann diese der Rille auf der Schallplatte nicht mehr exakt folgen. Da eine verbogene Nadel zudem zu Fehlfunktionen und Schäden an der Schallplatte führen kann, behandeln Sie die Nadeln bitte stets mit besonderer Sorgfalt.
- Verwenden Sie zum Reinigen grundsätzlich einen handelsüblichen Nadelreiniger für Schallplatten. Die Verwendung anderer Reinigungsmittel als spezifische Nadelreiniger für Schallplatten kann zu einer Beschädigung der Nadel führen.

Austauschen der Nadel

Sofern die Nadelspitze Zeichen von Abnutzung aufweist, verschlechtert sich nicht nur die Klangqualität, sondern es besteht auch die Gefahr möglicher Schäden an den Schallplatten. Ersetzen Sie die Nadel nach etwa 300 Spielstunden mit einem von uns spezifizierten Ersatztyp.

Verwenden Sie bitte eine Ersatznadel vom Typ Audio-Technica ATN95E.

- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT95E VM-Tonabnehmer installiert.

ANMERKUNG

VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Folgen Sie beim Austausch der Anleitung, die der Ersatznadel beiliegt.

VORSICHT

- Um plötzliche laute Geräusche zu vermeiden, schalten Sie das Gerät in den Standbymodus, bevor Sie mit dem Tausch der Nadel beginnen.
- Achten Sie darauf, sich nicht zu verletzen oder das Gerät zu beschädigen.
- Sorgen Sie dafür, dass keine kleinen Kinder Zugriff auf die Nadeln haben, da sie diese verschlucken könnten.
- Beachten Sie, dass verbogene Nadeln, die beispielsweise auf unzureichende Sorgfalt des Anwenders oder externe Ursachen zurückzuführen sind, nicht von der Gewährleistung abgedeckt werden.

Auswechseln des Tonabnehmersystems

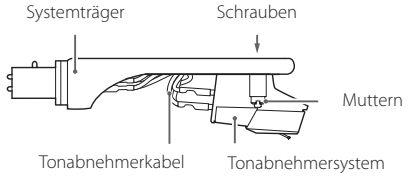
Um das Tonabnehmersystem zu wechseln, ziehen Sie zuerst den Systemträger vom Tonarm ab.

- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT95E VM-Tonabnehmer installiert.

ANMERKUNG

VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Wir empfehlen Ihnen, die Schutzkappe vor dieser Aktion auf das Tonabnehmersystem aufzusetzen.

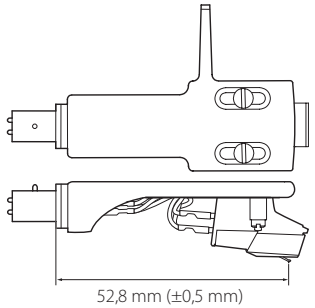


1 Ziehen Sie die Tonabnehmerkabel vom System ab.

2 Lösen Sie die Schrauben und entfernen Sie das Tonabnehmersystem.

3 Installieren Sie das neue System und befestigen Sie die Schrauben.

In der Abbildung unten sind die Positionen der Schrauben nach Abschluss der Montage dargestellt.



4 Verbinden Sie die Tonabnehmerkabel mit dem System.

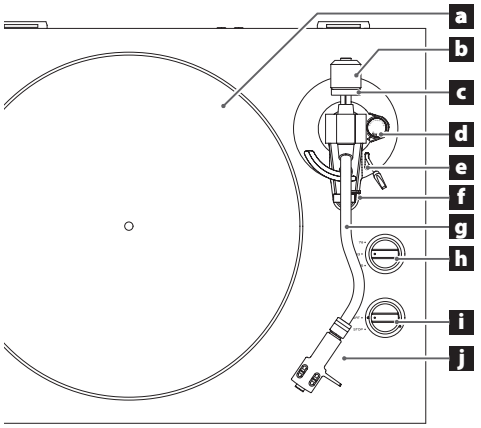
- Die Zuordnung zwischen den Signalen und Kabelfarben ist unten dargestellt.

Signal	Farbe
Linker Kanal +	Weiß
Linker Kanal –	Blau
Rechter Kanal +	Rot
Rechter Kanal –	Grün

5 Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel ein.

Folgen Sie den Anleitungen im Abschnitt „Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel“ auf Seite 45.

Bezeichnungen und Funktionen



a Plattenteller

Legen Sie die Schallplatten mittig auf den Plattenteller.

b Gegengewicht

c Nadeldruckring

d Anti-Skating-Rad

e Lifthebel

Hiermit bewegen Sie die Nadel auf- und abwärts.
Wir empfehlen die Nutzung des Lifthebels, um eine Beschädigung der Nadel und der Schallplatten zu vermeiden. Seine Nutzung ist sicherer und zuverlässiger als das manuelle Aufsetzen der Nadel mit der Hand.

f Tonarm-Stütze

Auf dieser Stütze können Sie den Tonarm ablegen. Vor der Wiedergabe einer Schallplatte schieben Sie die Tonarmsicherung nach rechts, um diese zu entriegeln.

g Tonarm

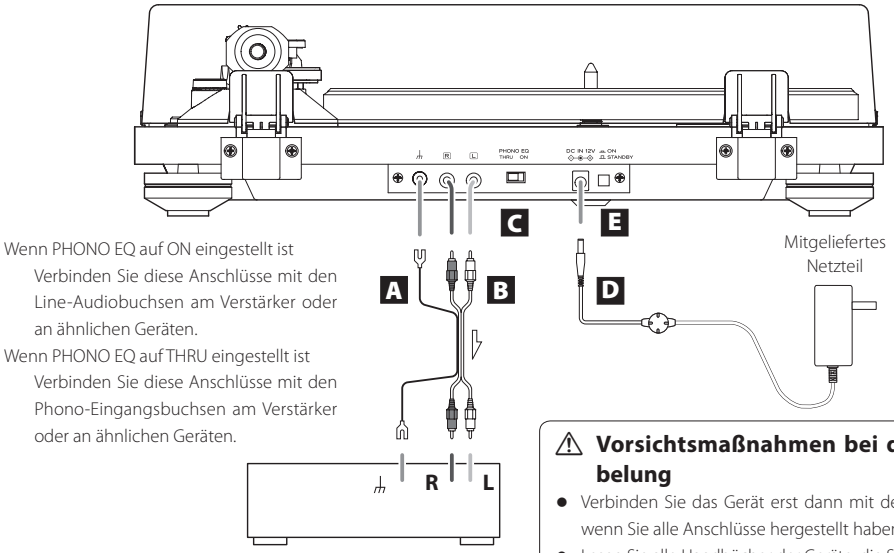
h Drehzahl-Regler

Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit.

i START/STOP Drehknopf

j Systemträger

Hierbei handelt es sich um einen Universalträger, bei dem sich das System besonders einfach austauschen lässt.



Wenn PHONO EQ auf ON eingestellt ist
Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Line-Audiobuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.

Wenn PHONO EQ auf THRU eingestellt ist
Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Phono-Eingangsbuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.

⚠ Vorsichtsmaßnahmen bei der Verkabelung

- Verbinden Sie das Gerät erst dann mit dem Stromnetz, wenn Sie alle Anschlüsse hergestellt haben.
- Lesen Sie alle Handbücher der Geräte, die Sie anschließen, sorgfältig durch und verkabeln Sie diese wie beschrieben.

A Masseanschluss (⏚)

Über das Massekabel des mitgelieferten Cinch-Audiokabels verbinden Sie diesen Massepunkt beispielsweise mit dem Masseanschluss des Verstärkers.

- Hierbei handelt es sich allerdings NICHT um einen elektrischen Schutzleiter.

Wenn Rauschen über die Lautsprecher ausgegeben wird

Wenn der Nebengeräuschanteil nicht abnimmt, nachdem Sie das Massekabel des Audiokabels mit dem Masseanschluss am Gerät verbunden haben, trennen Sie das Massekabel wieder und überprüfen die Audiowiedergabe erneut. Nutzen Sie dann die Methode (angeschlossen/getrennt), bei der die wenigsten Nebengeräusche auftreten.

B Analoge Audioausgänge (L/R)

Über diese Anschlüsse wird das analoge Audiosignal ausgegeben.

Über den Schalter PHONO EQ wählen Sie dabei die Art des Ausgangssignals.

Nutzen Sie das mitgelieferte Audiokabel (oder ein anderes handelsübliches Audiokabel), um weitere Geräte mit dem Ausgang dieses Geräts zu verbinden.

C Schalter PHONO EQ (Einstellung für die Audioausgabe)

ON

In dieser Stellung werden die Signale über den internen Phono-Vorverstärker entzerrt, der auch MM-Systeme unterstützt, und über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

THRU

In dieser Stellung wird das Signal des MC- oder MM-Systems direkt über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

Schließen Sie dieses Gerät dazu an ein Gerät mit Phonoeingängen an, wie beispielsweise einen Phono-Vorverstärker oder einen Verstärker mit Phonoeingängen.

- Ab Werk ist dieser Schalter auf ON voreingestellt.

WICHTIGER HINWEIS

In der Stellung ON sollten Sie in keinem Fall die PHONO-Eingänge eines Verstärkers verwenden. Andernfalls wird ein besonders lautes Signal über die Lautsprecher und Kopfhörer ausgegeben, das externe Geräte oder auch das Gehör schädigen kann.

D Netzteilanschluss

Nachdem Sie die gesamte Verkabelung vorgenommen haben, schließen Sie das mitgelieferte Netzteil an dieser Buchse an.

Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist.

- Verwenden Sie ausschließlich das Netzteil aus dem Lieferumfang.
- Das mitgelieferte Netzteil hat austauschbare Stecker. Bringen Sie den Stecker an, der für die Region geeignet ist, in der das Gerät verwendet wird.

⚠ Schließen Sie das Netzteil nur an einer Netzsteckdose mit der richtigen Spannung an. Der Anschluss an einer Steckdose mit der falschen Netzspannung kann zu einem Brand oder Stromschlag führen.

⚠ Fassen Sie das Netzteil beim Einstecken oder Abziehen immer am Stecker selbst an. Ziehen oder reißen Sie niemals am Stromkabel selbst.

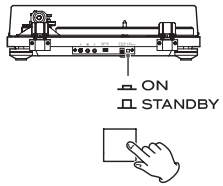
⚠ Wenn Sie das Gerät für einen längeren Zeitraum nicht verwenden, trennen Sie das Netzteil vom Stromnetz.

E Taste STANDBY/ON

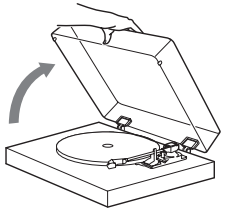
Mit der STANDBY/ON-Taste schalten Sie das Gerät ein oder aktivieren den Standbymodus.

Wiedergabe von Schallplatten

1 Drücken Sie die Taste STANDBY/ON auf der Geräterückseite, um das Gerät einzuschalten.



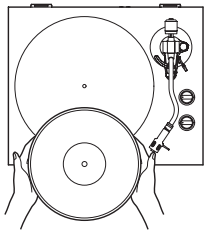
2 Öffnen Sie langsam die Staubabdeckung.



⚠ Achten Sie beim Öffnen und Schließen der Abdeckung darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.

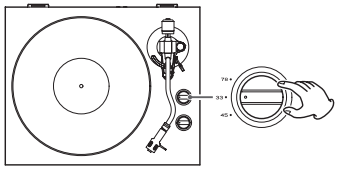
3 Legen Sie die Schallplatte auf den Plattenteller.

Wenn Sie eine Vinyl-Single mit 45 Umdrehungen pro Minute ohne Single-Stern wiedergeben möchten, verwenden Sie den mitgelieferten Puck-Adapter.

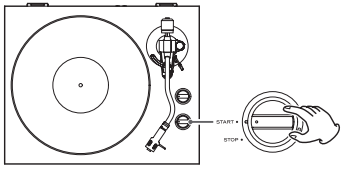


4 Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit.

Die Drehzahl kann auf 33 1/3, 45 oder 78 UpM eingestellt werden.

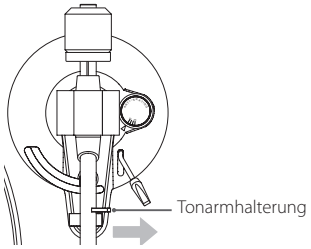


5 Bewegen Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position START, um den Plattenteller zu starten.

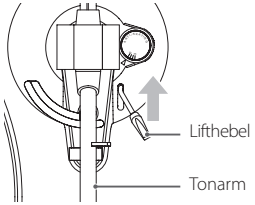


- Wenn Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position START stellen, beginnt sich der Plattenteller zu drehen. Gleichzeitig leuchtet die blaue START Anzeige.

6 Bewegen Sie den Tonarm ein wenig nach rechts, um ihn zu entriegeln.

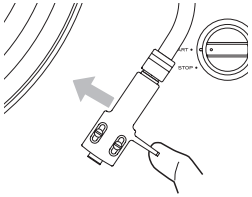


7 Heben Sie den Lifthebel an.



- Sie können den Tonarm auch ohne den Lifthebel anheben und die Nadel dann vorsichtig manuell auf der Schallplatte aufsetzen, um mit der Wiedergabe zu beginnen.

8 Richten Sie den Tonarm auf den Titel aus, den Sie wiedergeben möchten.



9 Senken Sie den Tonarm mit Hilfe des Lifthebels ab.

Der Tonarm wird langsam abgesenkt, bis die Nadel auf der Schallplatte aufsetzt und die Wiedergabe beginnt.

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So reduzieren Sie die Gefahr von Nebengeräuschen, indem Sie ein Springen der Nadel durch unbeabsichtigte Berührungen verhindern und die mögliche Einflussnahme externer Schallquellen blockieren.

⚠ Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung,

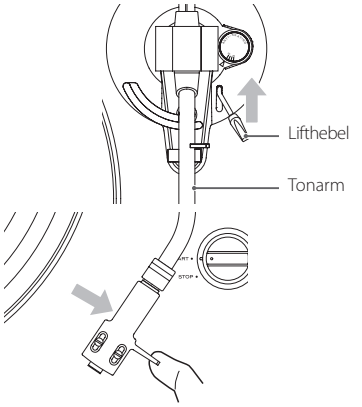
ACHTUNG

- Berühren Sie während der Wiedergabe weder den Tonarm noch die Schallplatte. Sie könnten andernfalls die Nadelspitze beschädigen oder Kratzer auf der Schallplatte verursachen.
- Halten Sie den Plattenteller nicht gewaltsam während der Wiedergabe an. Da es sich bei diesem Produkt nicht um einen Plattenspieler für den DJ-Einsatz handelt (Direktantrieb), können entsprechende Aktionen zu Fehlfunktionen führen.

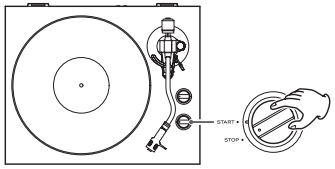
Bei zu hoher Lautstärke kann es während der Wiedergabe zu Rückkopplungen kommen. In diesem Fall senken Sie die Lautstärke des Verstärkers ab.

Nach dem Ende der Wiedergabe

1 Heben Sie den Tonarm bzw. die Nadel mit dem Llifthebel von der Schallplatte an und bewegen Sie den Tonarm in die Ausgangsposition zurück.



2 Bewegen Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position STOP, um den Plattenteller anzuhalten.



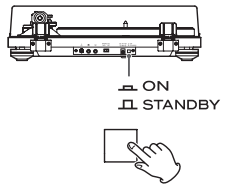
- Die blaue START-Anzeige erlischt und der Plattenteller hält an.

DEUTSCH

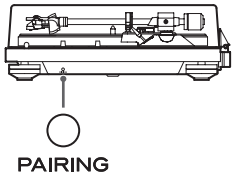
Wiedergabe über Bluetooth®-Lautsprecher

Das Gerät verfügt über einen Bluetooth-Sender, mit dem der Klang drahtlos an Bluetooth-Lautsprecher übertragen werden kann.

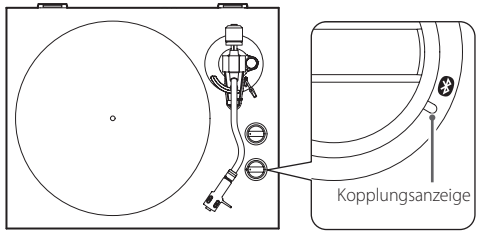
1 Drücken Sie die Taste STANDBY/ON auf der Geräterückseite, um das Gerät einzuschalten.



2 Koppeln und verbinden Sie die Bluetooth-Lautsprecher.



PAIRING-Taste



Koppeln mit Bluetooth-Lautsprechern (Pairing)

Um eine Verbindung zwischen diesem Gerät und einem anderen Bluetooth-Gerät herzustellen, müssen Sie die Geräte koppeln.

Drücken Sie die Taste PAIRING an diesem Gerät, um den Pairing-Modus zu aktivieren. Wenn ein anderes Bluetooth-Gerät bereits mit diesem Gerät gekoppelt wurde, wird der Verbindungsmodus aktiviert. Drücken Sie die Taste PAIRING erneut für mindestens zwei Sekunden, um den Pairing-Modus zu aktivieren.

Versetzen Sie zudem den Bluetooth-Lautsprecher in den Pairing-Modus.

Sobald dieses Gerät und die Bluetooth-Lautsprecher verkoppelt sind, leuchtet die zugehörige Kopplungsanzeige dauerhaft.

- Im Handbuch für die Bluetooth-Lautsprecher finden Sie weitere Anleitungen zur Bedienung.
- Abhängig vom jeweiligen Gerät kann die Verkopplung etwas Zeit in Anspruch nehmen.
- Dieses Gerät verbindet sich mit den nächsten Bluetooth-Lautsprechern. Sofern innerhalb von fünf Minuten keine Bluetooth-Lautsprecher erkannt werden, wird automatisch der Bluetooth-Standbymodus aktiviert und die Kopplungsanzeige erlischt.

Bedeutung der Pairing-Leuchte

Status	Bedeutung
Leuchtet	Verbunden
Blinkt langsam	Verbindungsmodus
Blinkt schnell	Pairing-Modus
Aus	Standby-Modus

Verbindung mit bereits verkoppelten Bluetooth-Lautsprechern

Drücken Sie die PAIRING-Taste an diesem Gerät, um den Verbindungsmodus zu aktivieren und eine Verbindung mit Bluetooth-Lautsprechern herzustellen, die früher bereits verbunden wurden.
Wenn bisher keine Bluetooth-Lautsprecher verbunden waren, wird der Pairing-Modus aktiviert.

Sobald dieses Gerät und die Bluetooth-Lautsprecher verkoppelt sind, leuchtet die zugehörige Kopplungsanzeige dauerhaft.

- Wenn Sie einen Bluetooth-Lautsprecher verbinden möchten, schalten Sie alle anderen Bluetooth-Lautsprecher entweder aus oder platzieren diese in mindestens 10 Meter Entfernung von diesem Gerät.

3 Spielen Sie eine Schallplatte ab.

- Eine Bluetooth-Verbindung ist auch während der Wiedergabe und Aufnahme möglich.
- Passen Sie den Pegel der Bluetooth-Lautsprecher an, sofern notwendig.
- Dieses Gerät ermöglicht selbst keine Aussteuerung der Lautstärke.
- Um eine Verkopplung zu beenden, drücken Sie die Taste PAIRING an diesem Gerät für mindestens sechs Sekunden, um den Bluetooth-Standbymodus zu aktivieren, oder schalten Sie das Gerät aus.
- Wenn Sie die PAIRING-Taste für 10 Sekunden oder länger drücken, blinkt die Kopplungsanzeige und alle bisher angelegten Kopplungen mit anderen Geräten werden gelöscht.

Fehlerbehebung

Bei Problemen mit dem Gerät überprüfen Sie zuerst die folgenden Punkte, bevor Sie den Service kontaktieren. Eventuell ist das Gerät gar nicht der Grund für das Problem. Stellen Sie zudem sicher, dass die angeschlossenen Geräte ordnungsgemäß verwendet werden.
Wenn weiterhin Fehler auftreten, wenden Sie sich zuerst an den Händler, bei dem Sie das Gerät gekauft haben.

Keine Stromversorgung.

➡ Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist. Drücken Sie anschließend die STANDBY/ON-Taste, um das Gerät einzuschalten (Seite 48).

Es erfolgt keine Tonausgabe.

➡ Bei Anschluss des Geräts über seine Audioausgänge an die Audioeingänge eines Verstärkers oder eines anderen Geräts stellen Sie den Schalter PHONO EQ (Einstellung für den Audio-Ausgang) auf ON (Seite 48).

Keine Wiedergabe möglich, viele Nebengeräusche.

➡ Entfernen Sie die Schutzkappe.

➡ Fingerabdrücke und Staub auf einer Schallplatte können zu Nebengeräuschen und einem Springen der Nadel führen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger (Seite 44).

➡ Säubern Sie die Nadelspitze (Seite 47).

➡ Sofern die Nadelspitze abgenutzt ist, ersetzen Sie diese (Seite 47). Die Nutzungsdauer der Nadel hängt von den Umgebungsbedingungen ab, sollte aber für gewöhnlich ca. 300 Stunden betragen.

➡ Stellen Sie das Gerät so weit wie möglich entfernt von Fernsehgeräten, Mikrowellen und anderen Geräten auf, die stark elektromagnetisch sind.

Bei der Wiedergabe einer Schallplatte kommt es zu Nebengeräuschen.

➡ Wenn der Auflagedruck der Nadel größer ist als für den Tonabnehmer empfohlen, kann es zu Nebengeräuschen kommen. Korrigieren Sie den Auflagedruck auf den spezifizierten Wert (Seite 45).

Die Tonhöhe stimmt nicht.

➡ Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit (Seite 49).

Die Wiedergabe springt.

➡ Durch Vibrationen kann die Wiedergabe springen. Stellen Sie das Gerät auf stabilem Untergrund auf.

➡ Säubern Sie die Schallplatte.

➡ Spielen Sie keine verkratzten Schallplatten ab.

➡ Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel erneut ein (Seite 45). Die Nadel und damit die Wiedergabe kann springen, wenn der Nadelauflagedruck niedriger eingestellt wurde als für das Tonabnehmersystem spezifiziert.

Es kann keine Verbindung zum gewünschten Bluetooth-Lautsprecher hergestellt werden.

➡ Schalten Sie beide Geräte aus. Schalten Sie anschließend beide Geräte wieder ein und versuchen Sie nochmals, eine Verkopplung herzustellen.

➡ Schalten Sie weitere Bluetooth-Lautsprecher im Umkreis von 10 Metern aus. Das Gerät verbindet sich mit dem nächstgelegenen Bluetooth-Lautsprecher.

Die Verbindung mit einem Bluetooth-Lautsprecher war erfolgreich, aber es erfolgt keine Tonausgabe.

➡ Überprüfen Sie die Lautstärke der Bluetooth-Lautsprecher.

➡ Drücken Sie die Taste PAIRING an diesem Gerät für mindestens sechs Sekunden, um die Verbindung zum Bluetooth-Lautsprecher zu unterbrechen. Versuchen Sie anschließend eine erneute Verkopplung.

➡ Schalten Sie dieses Gerät aus und anschließend wieder ein. Drücken Sie anschließend erneut die Taste PAIRING und versuchen Sie, eine neue Verkopplung herzustellen.

Es ist keine Verbindung mit Smartphones möglich.

➡ Dieses Gerät arbeitet als Bluetooth-Sender und kann daher Audio an Bluetooth-Lautsprecher übertragen.
Es arbeitet allerdings nicht als Bluetooth-Empfänger und kann daher nicht mit Smartphones verbunden werden.

Spezifikationen

Plattenteller

Antriebssystem ..... Riemenantrieb
Motor ..... Gleichstrommotor
Drehgeschwindigkeiten ..... 33 1/3 UpM, 45 UpM, 78 UpM
Abweichung der Drehgeschwindigkeit ..... ±2%
Gleichlaufschwankungen ..... 0,2% oder weniger
Rauschabstand. ... 67 dB oder größer (A-gewichtet, 20 kHz LPF)
Plattenteller ..... Aluminium-Druckguss
30 cm Durchmesser

Tonarm

Tonarmtyp ..... Statisch ausbalancierter, S-förmiger Tonarm
Effektive Tonarmlänge ..... 223 mm
Einstellbereich für Nadel-Auflagedruck ..... 0 bis 5 g
Zulässiges Tonabnehmergewicht ..... 4,0 bis 8,0 g

Tonabnehmersystem

Typ ..... VM (entspricht MM)
Ausgangsspannung ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Auflagedruck ..... 2,0 g (±0,5 g)
Tonabnehmergewicht ..... 5,7 g (±0,5 g)
Gesamtgewicht Systemträger
10 g (inkl. Schrauben, Muttern und Kabeln)

- Die Nutzungsdauer der Nadel hängt von den Umgebungsbedingungen ab, sollte aber für gewöhnlich ca. 300 Stunden betragen.
- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT95E VM-Tonabnehmer installiert.
  Anmerkung: VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.
- Ersatznadel-Modell: Audio-Technica ATN95E

Ausgangsspannung

PHONO EQ THRU ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Anschlüsse ..... Cinch

Bluetooth-Funktion

Bluetooth Version ..... 5.2 (DUAL MODE)
Ausgabe-Klasse ..... Klasse 2
Unterstütztes Profil A2DP
Codecs ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Maximale Anzahl gespeicherter Kopplungen ..... 8 Geräte

Allgemein

Spannungsversorgung Netzteil
  Eingang ..... Wechselstrom 100 bis 240 Volt, 50/60 Hz
  Ausgang ..... Gleichstrom 12 Volt, 500 mA
Leistungsaufnahme
  Standby ..... 0,5 W oder weniger
  On (START) ..... 1,5 W oder weniger
Gewicht ..... 4,9 kg
Betriebstemperatur ..... 5 bis 35° C
Abmessungen (B × H × T, inkl. Überständen)
  Bei geschlossener Staubabdeckung ... 420 × 117 × 356 mm
  Bei geöffneter Staubabdeckung ..... 420 × 381 × 402 mm
  Bei entfernter Staubabdeckung ..... 420 × 102 × 356 mm

- Alle Leistungsdaten wurden bei 20° C ermittelt.

Lieferumfang

Tellerauflage aus Filz × 1
45er/Single-Adapter × 1
Gegengewicht × 1
Systemträger × 1
  Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (AT95E, Doppelmagnet) vorinstalliert
Plattenteller × 1
Staubabdeckung × 1
Scharniergelenke für Staubabdeckung × 2
Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss × 1
Netzteil (GPE053A-V120050) × 1
Bedienungsanleitung (dieses Dokument) × 1

- Informationen zu den Garantiebestimmungen finden Sie auf Seite 83.

- Spezifikationen und Design können ohne vorherige Ankündigung geändert werden.
- Gewicht und Abmessungen sind Näherungswerte.
- Alle Abbildungen in dieser Bedienungsanleitung können geringfügig von den Produktionsmodellen abweichen.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

CAUTELA: PER RIDURRE IL RISCHIO DI SCOSSE ELETTRICHE, NON RIMUOVERE IL COPERCHIO (O IL RETRO). NON CI SONO PARTI RIPARABILI ALL'INTERNO DESTINATE ALL'UTENTE. PER LE RIPARAZIONI RIVOLGERSI SOLO A PERSONALE QUALIFICATO.

Il simbolo di un fulmine appuntito dentro un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di "tensioni pericolose" non isolate all'interno del contenitore del prodotto che possono essere di intensità sufficiente per costituire un rischio di scossa elettrica alle persone.

Il punto esclamativo all'interno di un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di importanti istruzioni operative e di manutenzione nella documentazione che accompagna l'apparecchio.

AVVERTENZA: PER PREVENIRE IL PERICOLO DI INCENDI O DI FOLGORAZIONE, NON ESPORRE QUESTO APPARATO ALLA PIOGGIA O ALL'UMIDITÀ.

CAUTELA

- NON RIMUOVERE IL COPERCHIO O L'INVOLUCRO ESTERNO PER ESPORRE LE PARTI ELETTRONICHE. ALL'INTERNO NON CI SONO PARTI RIPARABILI DALL'UTENTE.
- SE SI VERIFICANO PROBLEMI CON QUESTO PRODOTTO, CONTATTARE IL NEGOZIO DOVE È STATO ACQUISTATO L'APPARECCHIO PER UNA RIPARAZIONE. NON USARE IL PRODOTTO FINO A CHE NON SIA STATO RIPARATO.
- L'USO DI CONTROLLI O REGOLAZIONI O L'ESECUZIONE DI PROCEDURE DIVERSE DA QUELLE SPECIFICATE QUI POTREBBERO PROVOCARE PERICOLOSE ESPOSIZIONI A RADIAZIONI.

1) Leggere le seguenti istruzioni.
2) Conservare queste istruzioni.
3) Prestare attenzione agli avvertimenti.
4) Seguire tutte le istruzioni.
5) Non usare l'apparecchio vicino all'acqua.
6) Pulire solo con un panno asciutto.
7) Non bloccare le aperture per la ventilazione. Installare secondo le istruzioni del costruttore.
8) Non installare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori, regolatori di calore, stufe o altri apparecchi che producono calore (inclusi gli amplificatori).
9) Non eliminare la spina polarizzata di sicurezza o la spina di messa a terra. La spina polarizzata ha due lame, una più larga dell'altra. Una spina di messa a terra ha due lame e una terza punta di messa terra. La lama larga o la terza punta sono fornite per la vostra sicurezza. Se la spina fornita non è adatta al tipo di presa, consultate un elettricista per sostituire la presa obsoleta.
10) Non calpestare o strattonare il cordone di alimentazione, in modo particolare vicino alla spina e alla presa a cui è collegato l'apparecchio e dal punto in cui esce dall'apparecchio.
11) Usare solamente attacchi/accessori specificati dal costruttore.
12) Usare solo carrello, supporto, treppiede, mensola o tavola specificata dal costruttore o venduto insieme all'apparecchio. Quando viene usato un carrello, prestare attenzione quando si sposta la combinazione carrello/apparato per evitare cadute da sopra.



13) Scollegare questo apparato durante temporali o quando non viene utilizzato per lunghi periodi di tempo.
14) Rivolgersi solo a personale qualificato. La riparazione è richiesta quando l'apparecchio è stato danneggiato in qualunque modo, come nel caso che il cordone dell'alimentazione o la spina siano stati danneggiati, l'apparecchio sia stato esposto a pioggia o umidità, non funzioni correttamente o sia stato lasciato cadere.
    - Questo apparecchio consuma una quantità di corrente elettrica irrilevante dalla presa di rete mentre il suo interruttore POWER o STANDBY/ON non è in posizione ON.
    - La presa di rete è utilizzata come dispositivo di sconnessione; il quale dovrebbe restare sempre operabile.
    - Si deve usare cautela quando si usano gli auricolari o le cuffie con il prodotto, perché un eccesso di pressione sonora (volume) negli auricolari o nelle cuffie può causare la perdita dell'udito.

CAUTELA

- Non esporre questo apparecchio a gocce o schizzi.
- Non appoggiare alcun contenitore, come un vaso, pieno d'acqua sopra l'apparecchio.
- Non installare questo apparecchio in spazi ristretti come una libreria o ambienti simili.
- Questo apparecchio dovrebbe essere collocato sufficientemente vicino alla presa AC in modo da poter facilmente afferrare la spina del cordone di alimentazione in qualsiasi momento.

Per gli utenti europei

Smaltimento delle apparecchiature elettriche ed elettroniche e di batterie e/o accumulatori

a) Tutte le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere smaltite separatamente dai rifiuti urbani mediante impianti di raccolta designati dal governo o dalle autorità locali.

b) Il corretto smaltimento di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori, contribuisce a risparmiare preziose risorse ed evitare potenziali effetti negativi sulla salute umana e sull'ambiente.

c) Lo smaltimento non corretto di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori può avere gravi conseguenze per l'ambiente e la salute umana a causa della presenza di sostanze pericolose nelle apparecchiature.

d) Il simbolo RAEE (Rifiuti Apparecchiature Elettriche ed Elettroniche), che mostra un bidone con ruote barrato, indica che le apparecchiature elettriche/elettroniche e le batterie/accumulatori devono essere raccolti e smaltiti separatamente dai rifiuti domestici.



Se una batteria o accumulatore contiene più dei valori specificati di piombo (Pb), mercurio (Hg) e/o cadmio (Cd) come definito nella direttiva sulle batterie (2006/66/CE, 2013/56/UE), i simboli chimici per quegli elementi sarà indicato sotto al simbolo RAEE.



e) I centri di raccolta sono a disposizione degli utenti finali. Per informazioni più dettagliate circa lo smaltimento delle vecchie apparecchiature elettroniche/elettriche e dei rifiuti di batterie/accumulatori, si prega di contattare il comune, il servizio di smaltimento rifiuti o il negozio dove è stato acquistato l'apparecchio.

Conformità del trasmettitore radio e delle interferenze

Questo prodotto ha una funzione di trasmettitore a banda larga sulla banda di 2.4 GHz.

Gamma di frequenza utilizzata: 2402 MHz – 2480 MHz
Potenza massima di uscita: Bluetooth® Classe 2 (meno di 2,5 mW)

Si prega di utilizzare il prodotto solo nel paese in cui è stato acquistato. A seconda del paese, potrebbero esistere restrizioni sull'uso della tecnologia wireless Bluetooth.

Modello SEE (Spazio economico europeo)

CE Con la presente, TEAC Corporation dichiara che il tipo di apparecchiatura radio è conforme alla direttiva 2014/53/UE., e le altre direttive e regolamenti della Commissione.

Il testo integrale della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: Si prega di contattarci via e-mail.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Requisiti di esposizione alle radiazioni

Questa apparecchiatura è conforme al regolamento, che è riconosciuto a livello internazionale, nel caso di esposizione umana alle onde radio generate dal trasmettitore.

Dichiarazione di conformità

Modello SEE (Spazio economico europeo)
Questa apparecchiatura è conforme EN.62479; la valutazione degli apparecchi elettronici ed elettrici in relazione ai limiti di esposizione umana ai campi elettromagnetici; la norma armonizzata della direttiva 2014/53/UE.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Altri nomi di società, nomi di prodotto e loghi in questo documento sono marchi o marchi registrati dei rispettivi proprietari.

Indice

Grazie per aver scelto TEAC. Leggere attentamente questo manuale per ottenere le migliori prestazioni da questo apparecchio.
Dopo averlo letto, si consiglia di conservarlo in un luogo sicuro per riferimenti futuri.

IMPORTANTI ISTRUZIONI PER LA SICUREZZA....52
Prima dell'uso....54
Maneggiare i dischi....54
Preparazione del giradischi....55
Coperchio antipolvere....56
Note sulle puntine....57
Sostituzione della cartuccia....57
Nomi e funzioni delle parti....57
Collegamenti....58
Operazioni di base....59
Ascolto con altoparlanti Bluetooth®....60
Risoluzione dei problemi....60
Specifiche....61

Prima dell'uso

Accessori inclusi

Controllare che la confezione comprenda tutti gli accessori in dotazione indicati di seguito. Si prega di contattare il negozio dove è stata acquistata l'unità se uno qualsiasi di questi accessori è mancante o è stato danneggiato durante il trasporto.

Tappeto di feltro × 1
Adattatore 45 giri × 1
Contrappeso × 1
Conchiglia × 1
Cartuccia Audio-Technica VM Type (doppio magnete) stereo (AT95E) preinstallata
Piatto × 1
Coperchio antipolvere × 1
Cerniere coperchio antipolvere × 2
Cavo audio RCA con terminale di massa × 1
Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V120050) × 1
Manuale di istruzioni (questo documento) × 1

- Per informazioni sulla garanzia, consultare la pagina 83.

Utilizzo del sito TEAC International

È possibile scaricare gli aggiornamenti per questa unità dal sito TEAC International:

https://teac.jp/int/

Fare clic su Language in alto a destra della pagina e selezionare il paese o la regione desiderati per accedere a una pagina nella lingua corrispondente.

Precauzioni per l'uso

- Posizionare l'unità su una superficie piana.
- Non collocare alcun oggetto sul coperchio antipolvere. Gli oggetti sul coperchio potrebbero causare disturbi a causa di vibrazioni o cadere, soprattutto durante la riproduzione.
- Evitare di collocare l'unità alla luce solare diretta, vicino a una fonte di calore o in altre condizioni simili. Non collocare l'unità sopra un amplificatore o altri dispositivi che possono generare calore superiore alla temperatura di funzionamento di questa unità. Ciò potrebbe causare scolorimento, deformazione o malfunzionamenti.
- Poiché l'unità potrebbe divenire calda durante il funzionamento, lasciare sempre uno spazio sufficiente intorno per la ventilazione. Quando si installa questa unità, lasciare un po' di spazio (almeno 20 cm) dagli altri dispositivi e le pareti per consentire una buona dissipazione del calore.
  Quando si colloca in un rack, per esempio, lasciare almeno 35 cm sopra e 10 cm dietro. Il mancato rispetto di queste precauzioni potrebbe causare un surriscaldamento interno e provocare incendi.
- NON SPOSTARE L'unità DURANTE LA RIPRODUZIONE. Durante la riproduzione, il disco ruota. Non sollevare o spostare l'unità durante la riproduzione. Ciò potrebbe danneggiare il disco, la puntina, la cartuccia o l'unità.
- Rimuovere sempre il disco prima di trasferirsi o spostare l'unità. Spostamento dell'unità con un disco sul giradischi potrebbe danneggiare il disco, la puntina e la cartuccia o potrebbe causare malfunzionamenti.
- Il voltaggio fornito all'unità deve corrispondere alla tensione indicata sul pannello posteriore. Se si è in dubbio riguardo a ciò, consultare un elettricista.

Manutenzione

Se la superficie dell'unità si sporca, pulirla con un panno morbido o utilizzare sapone liquido neutro diluito. Lasciare asciugare completamente la superficie dell'unità prima di utilizzarla.

- Non utilizzare panni chimici, solventi o sostanze simili perché potrebbero danneggiare la superficie dell'unità.

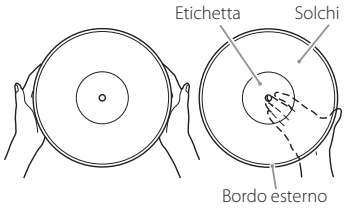
⚠ CAUTELA

Per motivi di sicurezza, scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente prima di pulirla.

Maneggiare i dischi

Come tenere i dischi

Quando si tiene un disco o lo si rimuove dalla custodia, evitare di toccare i solchi tenendolo per l'etichetta e il bordo con una mano o tenendolo per i bordi con entrambe le mani.



Pulizia

- Le impronte digitali e la polvere su un disco possono causare rumore e salti, così come danneggiare il disco stesso e la puntina. Usare un pulisci-dischi reperibile in commercio per pulire i dischi. Non usare solventi o qualcosa di diverso da un pulisci-dischi. Tali sostanze potrebbero danneggiare la superficie del disco.
- Quando si utilizza un pulisci-dischi, pulire la superficie del disco con un movimento circolare, seguendo i solchi.



Precauzioni per l'uso

- Non lasciare i dischi in luoghi esposti alla luce solare diretta o molto caldi o molto umidi. Lasciare un disco in tali condizioni per lungo tempo può causare deformazioni, crescita di muffe o altri danni.
- Non impilare più dischi o collocare oggetti pesanti su di loro. Non lasciare i dischi in posizione angolata per lunghi periodi di tempo. Ciò potrebbe causare deformazioni o altri danni.
- Non lasciare che oggetti duri vengano in contatto direttamente con i solchi. Ciò potrebbe graffiarli.
- Dopo aver terminato la riproduzione di un disco, rimetterlo sempre nella sua custodia per una corretta conservazione. Lasciare un disco non protetto potrebbe causare deformazioni o graffi.
- Non utilizzare dischi con crepe.

Preparazione del giradischi

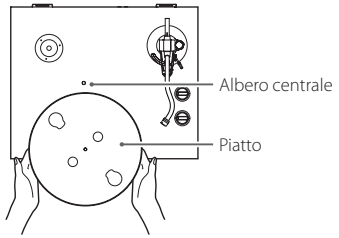
Tenere l'unità in standby durante l'installazione (E a pagina 58).

1 Mettere l'unità su una superficie piana.

Posizionarla su una superficie piana, in modo che il disco possa venire letto in modo accurato.

2 Installare il piatto giradischi.

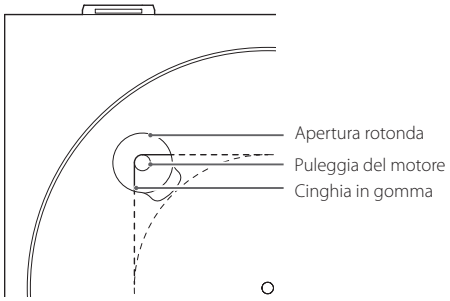
Allineare il piatto giradischi con l'albero centrale e installarlo.



3 Avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

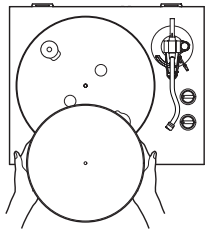
Usare un dito per avvolgere la cinghia in gomma inclusa intorno alla parte esterna del piatto e quindi avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

- Fare attenzione a non torcere la gomma.
- Ruotare più volte il giradischi (piatto) per assicurarsi che la cinghia in gomma sia ben posizionata.



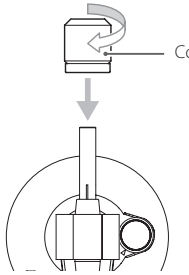
4 Posizionare il tappeto di feltro sul giradischi.

Posizionare il tappeto di feltro incluso con il giradischi prima dell'uso.



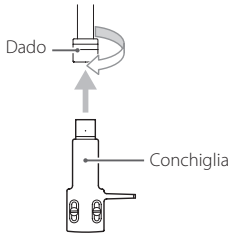
5 Installare il contrappeso.

Posizionare il contrappeso all'estremità del braccetto e ruotarlo delicatamente in senso orario per stringerlo.

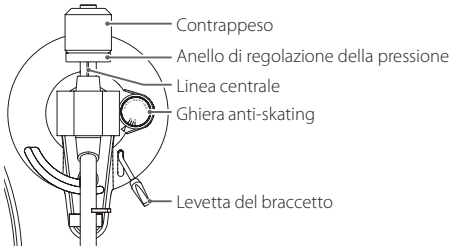


6 Installare la conchiglia.

Inserire la conchiglia alla fine del braccetto e ruotare il dado per fissarla al suo posto.

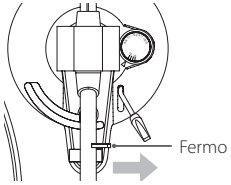


Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina



1 Impostare la ghiera anti-skating a zero.

2 Spostare il fermo del braccetto verso destra per rilasciare il braccetto.



3 Sollevare la levetta e spostare leggermente il braccetto verso sinistra.

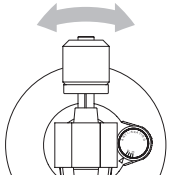
4 Abbassare la levetta del braccetto.

ITALIANO

Continua a pagina seguente ➡

Preparazione del giradischi (seguito)

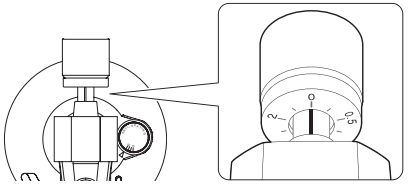
5 **Ruotare il contrappeso e regolarlo in modo che il braccetto rimanga bilanciato in sospensione.**



- Rimuovere il cappuccio di protezione della puntina prima di eseguire le regolazioni.
- Fare attenzione a non lasciare che la puntina tocchi l'unità.

6 **Riportare il braccetto alla sua posizione originale e spostare il fermo del braccetto verso sinistra per bloccarlo.**

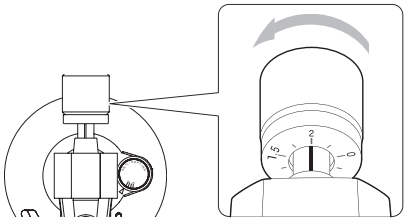
7 **Ruotare l'anello di regolazione della pressione della puntina in modo che la linea centrale sia allineata con lo 0 della scala.**



- Ruotare solo l'anello. Fare attenzione a non ruotare anche il contrappeso.

8 **Ruotare il contrappeso in modo che la pressione della puntina indicata sulla scala di regolazione corrisponda al peso specificato per il tipo di cartuccia.**

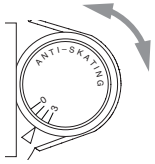
- Il peso da impostare per la puntina della cartuccia in dotazione è di 2,0 g.
  Quindi, ruotare su 2 della scala del contrappeso quando si utilizza la cartuccia in dotazione.



- Ruotare il contrappeso nella direzione della freccia dell'illustrazione qui sopra, in modo che il valore cambi da 0 a 1 a 2.

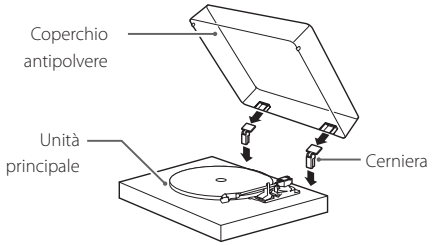
9 **Regolare il selettore di anti-skating.**

Iniziare con un'impostazione a 2 e regolare l'anti-skating durante la riproduzione del disco (pagina 59) nella posizione in cui il bilanciamento sinistro/destro del volume risulti centrale.



Coperchio antipolvere

Montaggio del coperchio antipolvere



1 **Inserire completamente le cerniere nei supporti alle estremità destra e sinistra della parte posteriore dell'unità principale.**

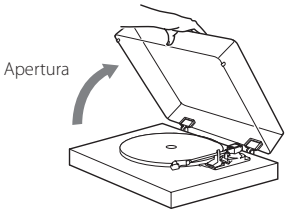
2 **Allineare la parte superiore delle cerniere con i supporti del coperchio antipolvere e inserirle.**

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. Dato che questo previene contatti esterni accidentali e scherma la pressione sonora esterna, è meno probabile che si verifichino disturbi durante la riproduzione.
- Non aprire o chiudere il coperchio quando un disco è in riproduzione. In tal modo si evita, per esempio, che si verifichino salti della puntina sul disco.
- Tenere il coperchio chiuso per quanto possibile per proteggere il disco dalla polvere.

Rimozione del coperchio antipolvere

Tenere entrambi i bordi del coperchio antipolvere e sollevarlo lentamente per rimuoverlo insieme alle cerniere dall'unità. Quindi, rimuovere le cerniere dal coperchio antipolvere.

Apertura e chiusura del coperchio antipolvere



Apertura

Tenere il bordo anteriore del coperchio antipolvere e sollevarlo delicatamente fino al suo completo arresto.
Il coperchio antipolvere rimarrà aperto in questa posizione.

Chiusura

Abbassare delicatamente il coperchio antipolvere fino alla sua completa chiusura.

⚠ **Fare attenzione alle dita durante l'apertura e la chiusura del coperchio antipolvere.**

Note sulle puntine

- Se la puntina viene piegata (danneggiata), non sarà più in grado di tracciare con precisione i solchi. Dal momento che una puntina piegata potrebbe anche danneggiare i dischi e causare malfunzionamenti, bisogna maneggiare le puntine con cura.
- Usare sempre un pulisci puntine disponibile in commercio per la pulizia. Usare altri metodi per la pulizia potrebbe danneggiare la puntina.

Sostituzione della puntina

Se la puntina si usura, non solo peggiora la qualità del suono, ma potrebbe anche danneggiare il disco. Dopo circa 300 ore di riproduzione, sostituire la puntina con una specifica.

Si prega di utilizzare una puntina di ricambio ATN95E Audio-Technica.

- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT95E VM è installata in questa unità.

NOTA

Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.

- Seguire le istruzioni per la sostituzione nel manuale della puntina di ricambio.

CAUTELA

- Poiché potrebbero verificarsi forti rumori, mettere l'unità in standby prima di cambiare la puntina.
- Fare attenzione a non ferire le dita o danneggiare l'apparecchiatura.
- Non permettere a bambini piccoli di ingerire accidentalmente una puntina.
- Tenere presente che le puntine piegate, per esempio, a causa di insufficiente attenzione del cliente o altre cause esterne non sono coperte dalla garanzia.

Sostituzione della cartuccia

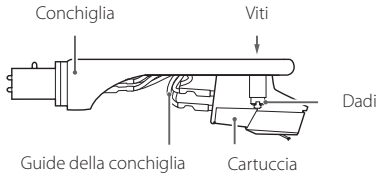
Per cambiare la cartuccia, rimuovere prima la conchiglia dal braccetto.

- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT95E VM è installata in questa unità.

NOTA

Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.

- Si consiglia di mantenere il cappuccio di protezione della puntina durante la sostituzione.

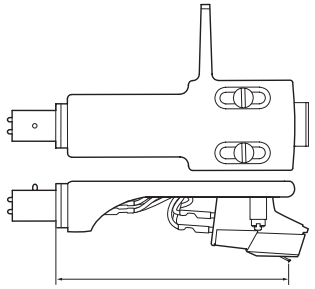


1 Scollegare i terminali della conchiglia dalla cartuccia.

2 Allentare le viti e rimuovere la cartuccia.

3 Fissare la nuova cartuccia e serrare le viti.

Vedere la figura seguente per la posizione delle viti quando sono fissate.



4 Collegare i terminali della conchiglia alla cartuccia.

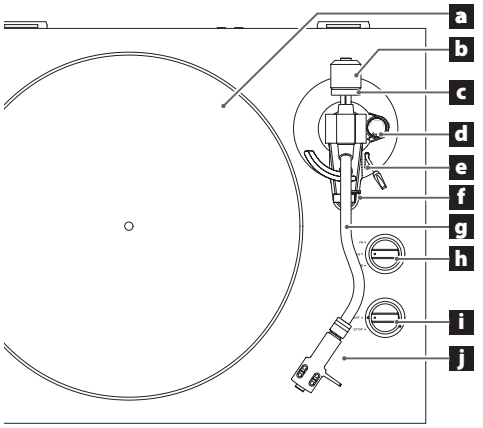
- I segnali e i colori dei fili della conchiglia sono riportati di seguito.

Segnale	Colore
Canale sinistro +	Bianco
Canale sinistro –	Blu
Canale destro +	Rosso
Canale destro –	Verde

5 Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina.

Seguire le procedure descritte in "Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina" a pagina 55.

Nomi e funzioni delle parti



a Piatto del giradischi

Posizionare il disco centrandolo sul piatto.

b Contrappeso

c Anello per regolare il peso sulla puntina

d Ghiera anti-skating

e Levetta del braccetto

Usare questo per alzare e abbassare la puntina.
Invece di usare un dito, si consiglia di utilizzare la levetta per alzare e abbassare il braccetto onde evitare di danneggiare i dischi e la puntina.

f Fermo per il braccetto

Questo è il supporto per il braccetto nella posizione di riposo. Spingere delicatamente il fermo verso destra per rilasciare il braccetto prima di riprodurre un disco.

g Braccetto

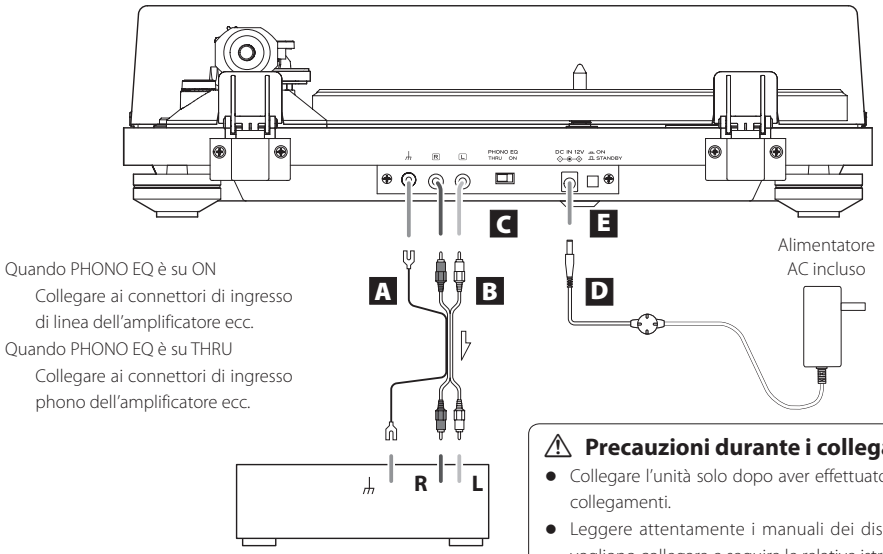
h Manopola di regolazione della velocità di rotazione

Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco da riprodurre.

i Manopola rotante START/STOP

j Conchiglia

Questa è di tipo universale e permette di sostituire la cartuccia facilmente.



⚠ Precauzioni durante i collegamenti

- Collegare l'unità solo dopo aver effettuato tutti gli altri i collegamenti.
- Leggere attentamente i manuali dei dispositivi che si vogliono collegare e seguire le relative istruzioni quando si effettuano i collegamenti.

A Connettore a massa (⏚)

Utilizzare il filo di massa del cavo audio RCA in dotazione per collegare questo connettore al connettore di massa dell'amplificatore.

- Questo NON è un connettore di messa a terra elettrica.

Se il rumore dagli altoparlanti è notevole

Se collegando il cavo di massa del cavo audio al terminale di massa di questa unità il rumore non diminuisce, scollegare il filo di massa e controllare di nuovo l'audio. Scegliere la combinazione (cavo connesso/disconnesso) che offre un risultato migliore.

B Connettori di uscita audio analogica (L/R)

Queste sono uscite audio analogiche.

L'impostazione del commutatore PHONO EQ cambia il tipo di segnale in uscita.

Utilizzare il cavo audio incluso (o quelli disponibili in commercio) per collegare altri dispositivi ai connettori di uscita di questa unità.

C PHONO EQ (interruttore di impostazione di uscita audio)

ON

I segnali amplificati dall'equalizzatore phono incorporato vengono emessi dai connettori di uscita audio analogici (L/R).

THRU

Il segnale della cartuccia MC o MM viene emesso direttamente attraverso i connettori di uscita audio analogica (L/R).

Collegare a un dispositivo con ingressi phono, come ad esempio un preamplificatore con equalizzazione phono o un amplificatore con connettori di ingresso phono.

- Al momento della spedizione dalla fabbrica, questo è impostato su ON.

CAUTELA

Quando è impostato su ON, se viene collegato agli ingressi PHONO di un amplificatore, per esempio, l'uscita dagli altoparlanti o dalle cuffie sarà molto forte, per cui potrebbe danneggiare le apparecchiature o l'udito.

D Connettore di ingresso DC

Dopo aver completato tutti gli altri collegamenti, collegare l'alimentatore AC incluso a questa presa.

Verificare che la spina di alimentazione dell'alimentatore AC sia inserita in una presa di corrente.

- Non utilizzare un alimentatore AC diverso da quello in dotazione.
- L'adattatore AC incluso ha spine che possono essere cambiate. Collegare la spina adatta per il Paese in cui viene utilizzata.

⚠ Assicurarsi di collegare il cavo di alimentazione a una presa AC che fornisca la giusta tensione. Il collegamento a una presa che fornisce una tensione non corretta può provocare incendi o scosse elettriche.

⚠ Tenere la spina quando la si collega o scollega da una presa. Non tirare o strattonare il cavo di alimentazione.

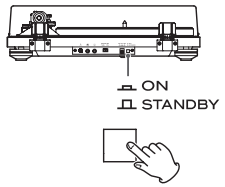
⚠ Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente quando non si prevede di utilizzare l'unità per un lungo periodo di tempo.

E Pulsante STANDBY/ON

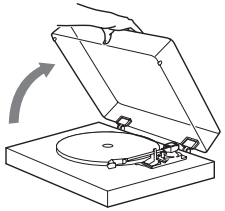
Premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità o metterla in standby.

Riproduzione di dischi

1 **Premere il pulsante STANDBY/ON sul retro dell'unità per accenderla.**



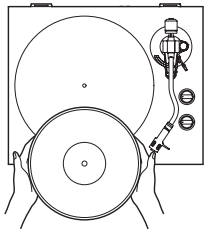
2 **Aprire lentamente il coperchio antipolvere.**



⚠ **Fare attenzione alle dita durante l'apertura e la chiusura del coperchio antipolvere.**

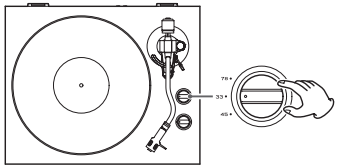
3 **Posizionare un disco sul piatto.**

Durante la riproduzione di un 45 giri con il foro grande, utilizzare l'adattatore incluso.

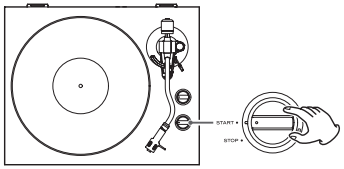


4 **Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco.**

La velocità di rotazione può essere impostata a 33 1/3, 45 o 78 RPM.

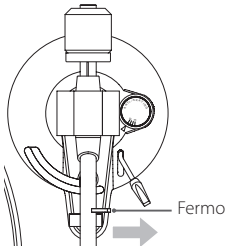


5 **Ruotare la manopola START/STOP su START per avviare il piatto.**

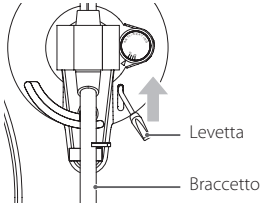


- Quando la manopola START/STOP è impostata su START, il piatto inizierà a ruotare e la spia START si accenderà in blu.

6 **Spostare il fermo del braccetto verso destra per rilasciare il braccetto.**

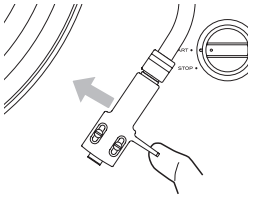


7 **Sollevare la levetta.**



- È possibile lasciare la levetta abbassata e spostare manualmente il braccetto sopra il disco e poi abbassare lentamente il braccetto per avviare la riproduzione.

8 **Spostare il braccetto sul brano da cui si desidera avviare la riproduzione.**



9 **Utilizzare la levetta del braccetto per abbassare il braccetto.**

Il braccetto si abbassa lentamente finché la puntina non tocca il disco e inizia la riproduzione.

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. In questo modo si riduce il rumore schermando la pressione sonora esterna e si impediscono salti causati dal contatto involontario.

⚠ **Non collocare nulla sopra il coperchio antipolvere.**

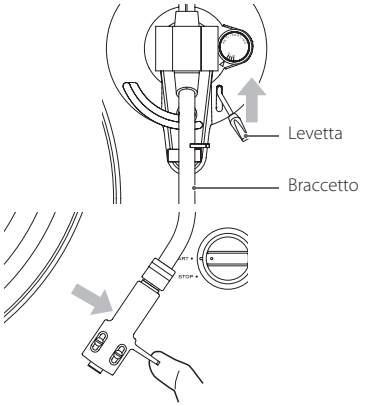
ATTENZIONE

- Durante la riproduzione, non toccare il braccetto o il disco. In caso contrario, si potrebbe danneggiare la puntina o graffiare il disco.
- Non interrompere con una mano la rotazione del piatto durante la riproduzione. Dal momento che questo prodotto non è un giradischi progettato per i DJ (trazione diretta), fare qualcosa di simile potrebbe causare malfunzionamenti.

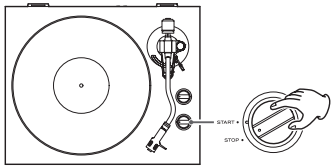
Durante la riproduzione di dischi, potrebbe verificarsi un feedback se il volume è troppo alto. Se questo accade, abbassare il volume dell'amplificatore.

Quando la riproduzione termina

1 **Sollevare la levetta del braccetto per alzare la puntina dal disco e riportare il braccetto nella posizione di riposo.**



2 **Ruotare la manopola START/STOP su STOP per arrestare il piatto.**



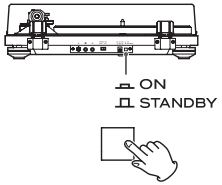
- La spia START blu si spegnerà e il piatto si fermerà.

ITALIANO

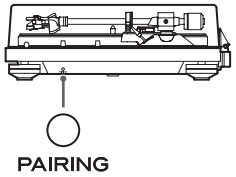
Ascolto con altoparlanti Bluetooth®

Questa unità ha un trasmettitore Bluetooth che può inviare il suono di altoparlanti Bluetooth in modalità wireless.

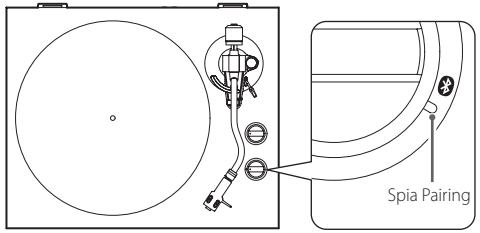
1 Premere il pulsante STANDBY/ON sul retro dell'unità per accenderla.



2 Associare e collegare gli altoparlanti Bluetooth.



Pulsante PAIRING



Associazione degli altoparlanti Bluetooth

L'abbinamento di questa unità con un altro dispositivo Bluetooth è necessario la prima volta che la si collega con quel dispositivo Bluetooth.

Premere il pulsante PAIRING di questa unità per attivare la modalità di associazione. Se un altro dispositivo Bluetooth è già stato associato a questa unità, verrà attivata la modalità di connessione. Premere nuovamente il pulsante PAIRING per almeno due secondi per attivare la modalità di associazione.

Mettere l'altoparlante Bluetooth in modalità di associazione.

Quando questa unità e l'altoparlante Bluetooth sono collegati, la spia di associazione rimane accesa senza lampeggiare.

- Fare riferimento al manuale di istruzioni del diffusore Bluetooth per informazioni su come usarlo.
- L'associazione potrebbe richiedere un certo tempo a seconda del dispositivo collegato.
- Questa unità si collega al diffusore Bluetooth più vicino. Se nessun altoparlante Bluetooth viene trovato entro cinque minuti, entrerà in modalità standby Bluetooth e la spia di associazione si spegnerà.

Significato dell'illuminazione durante l'associazione

Stato	Significato
Acceso	Connesso
Lampeggio lento	Modalità di connessione
Lampeggio rapido	Modalità di associazione
Spento	Modalità standby

Collegamento agli altoparlanti Bluetooth già associati

Premere il pulsante PAIRING di questa unità per attivare la modalità di connessione, consentendo la connessione con gli altoparlanti Bluetooth che sono già stati associati. Se nessun altoparlante Bluetooth è già stato associato, verrà attivata la modalità di associazione.

Quando questa unità e l'altoparlante Bluetooth sono collegati, la spia di associazione rimane accesa senza lampeggiare.

- Quando ci si collega a un altoparlante Bluetooth, spostare altri altoparlanti e dispositivi Bluetooth riceventi ad almeno 10 metri da questa unità o spegnerli.

3 Ascoltare un disco.

- La connessione Bluetooth è possibile anche mentre un disco è in riproduzione.
- Regolare il volume dell'altoparlante Bluetooth, se necessario.
- Questa unità non può essere utilizzata per regolare il volume.
- Per terminare una connessione, premere il pulsante PAIRING di questa unità per almeno sei secondi per entrare in modalità standby Bluetooth o spegnere questa unità.
- Se si tiene premuto il pulsante PAIRING per 10 secondi o più, la lampada di associazione lampeggerà e cancellerà tutte le associazioni esistenti con altri dispositivi.

Risoluzione dei problemi

Se si sperimentano problemi con questa unità, si prega di controllare i seguenti punti prima di richiedere assistenza. Qualcosa di diverso potrebbe essere la causa del problema. Si prega di verificare che anche i dispositivi collegati vengano utilizzati correttamente.
Se l'unità persiste a non funzionare correttamente, contattare il rivenditore presso il quale è stata acquistata.

Assenza di alimentazione.

➡ Verificare che l'alimentatore sia collegato a una presa di corrente. Quindi, premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità (pagina 58).

Nessun suono.

➡ Quando si collegano le prese di uscita audio analogiche di questa unità alle prese di ingresso audio di un amplificatore o di un altro apparecchio, impostare l'interruttore PHONO EQ (impostazione di uscita audio) su ON (pagina 58).

La riproduzione non è possibile; c'è del rumore.

➡ Rimuovere il cappuccio protettivo.

➡ Impronte digitali e polvere sul disco possono causare rumore e salti. Utilizzare un pulisci dischi disponibile in commercio per pulire i dischi (pagina 54).

➡ Pulire la puntina (pagina 57).

➡ Se la puntina è logora, sostituirla (pagina 57). La durata di una puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma di solito è di circa 300 ore.

➡ Posizionare l'unità il più lontano possibile da televisori, forni a microonde e altri dispositivi che emettono onde elettromagnetiche.

Si verifica del rumore quando un disco è in riproduzione.

➡ Potrebbe verificarsi del rumore se la pressione sulla puntina è superiore al valore specificato sulla cartuccia. Regolare la pressione della puntina in modo che sia del valore specificato (pagina 55).

L'intonazione è errata.

➡ Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco (pagina 59).

Il suono salta.

➡ Le vibrazioni causano salti. Collocare l'unità in un luogo stabile.

➡ Pulire il disco.

➡ Non utilizzare dischi graffiati.

➡ Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina (pagina 55). Se la pressione della puntina è inferiore al valore designato per la cartuccia, è più probabile che si verifichino salti.

Il collegamento non è possibile con l'altoparlante Bluetooth che si vuole collegare.

➡ Spegnere sia questa unità che il dispositivo Bluetooth una volta. Con entrambi accesi riprovare l'associazione.

➡ Spegnere l'alimentazione di altri altoparlanti Bluetooth nel raggio di 10 metri. Verrà associato l'altoparlante Bluetooth più vicino.

Il collegamento con l'altoparlante Bluetooth è riuscito, ma non si sente alcun suono in riproduzione.

➡ Controllare il volume dell'altoparlante Bluetooth.

➡ Premere il pulsante PAIRING di questa unità per almeno sei secondi per disconnettere l'altoparlante Bluetooth una volta. Poi, riprovare l'associazione.

➡ Spegnere questa unità e riaccenderla. Quindi, premere il pulsante PAIRING per riprovare l'associazione.

Il collegamento con uno smartphone non è possibile.

➡ Questa unità funziona come un trasmettitore Bluetooth, e può inviare il suono agli altoparlanti Bluetooth.
Poiché non funziona come ricevitore Bluetooth, non può essere collegata a uno smartphone.

Specifiche

Giradischi

Sistema di trazione ..... Trasmissione a cinghia
Motore ..... Motore DC
Velocità di rotazione ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
Variazione della velocità di rotazione ..... ±2%
Wow & flutter ..... 0,2% o meno
Rapporto SN ..... 67 dB o superiore (pesato A, 20 kHz LPF)
Giradischi (piatto) ..... Alluminio pressofuso diametro 30 cm

Braccetto

Tipo di braccetto
Braccetto a forma di S bilanciato staticamente
Lunghezza effettiva del braccetto ..... 223 mm
Campo di variazione di pressione della puntina ..... 0–5 g
Peso della cartuccia accettato ..... 4,0–8,0 g

Cartuccia

Tipo ..... VM (equivalente MM)
Tensione di uscita ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Pressione della puntina ..... 2,0 ±0,5 g
Peso della cartuccia ..... 5,7 ±0,5 g
Peso della conchiglia inclusa ..... 10 g (viti, dadi e fili compresi)

- La durata di una puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma è solitamente di circa 300 ore.
- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT95E VM è installato in questa unità.
  Nota: le cartucce di tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.
- Modello della puntina di ricambio: Audio-Technica ATN95E

Tensione di uscita

PHONO EQ THRU ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Connettori di uscita ..... RCA

Funzione Bluetooth

Versione Bluetooth ..... 5.2 (DUAL MODE)
Classe di uscita ..... Class 2
Profilo supportato A2DP
Codec ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Numero massimo di associazioni memorizzate ..... 8 dispositivi

Generali

Alimentazione AC
  Ingresso ..... AC 100 V – AC 240 V, 50/60 Hz
  Uscita ..... DC 12 V, 500 mA
Consumo
  Standby ..... 0.5 W o meno
  On (START) ..... 1.5 W o meno
Peso ..... 4,9 kg
Temperatura di esercizio ..... da 5°C a 35°C
Dimensioni (L × A × P) (incluse le parti sporgenti)
  Quando il coperchio antipolvere è chiuso
  420 × 117 × 356 mm
  Quando il coperchio antipolvere è aperto
  420 × 381 × 402 mm
  Quando il coperchio antipolvere è rimosso
  420 × 102 × 356 mm

- Dati relativi al funzionamento a 20 °C.

Accessori in dotazione

Tappeto di feltro × 1
Adattatore 45 giri × 1
Contrappeso × 1
Conchiglia × 1
  Cartuccia Audio-Technica VM Type (doppio magnete) stereo (AT95E) preinstallata
Piatto × 1
Coperchio antipolvere × 1
Cerniere coperchio antipolvere × 2
Cavo audio RCA con terminale di massa × 1
Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V120050) × 1
Manuale di istruzioni (questo documento) × 1

- Per informazioni sulla garanzia, consultare la pagina 83.

- Le specifiche e l'aspetto sono soggetti a modifiche senza preavviso.
- Peso e dimensioni sono approssimativi.
- Le illustrazioni in questo manuale potrebbero differire leggermente dai modelli di produzione.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

LET OP: LET OP: VERWIJDER HET DEKSEL (OF DE ACHTERKANT) NIET OM EEN ELEKTRISCHE SCHOK TE VOORKOMEN. BEVAT GEEN ONDERDELEN WAAR GEBRUIKERS AAN KUNNEN WERKEN. LAAT ONDERHOUD OVER AAN BEVOEGD ONDERHOUDSPERSONEEL.

Het bliksemsymbool in de driehoek waarschuwt de gebruiker voor gevaarlijke ongeïsoleerde spanning in de behuizing die mogelijk hoog genoeg is om een elektrische schok te veroorzaken.

De gelijkzijdige driehoek met uitroepteken is bedoeld om de gebruiker te wijzen op belangrijke bedienings- of onderhoudsinstucties in de onderhoudshandleidingen voor dit apparaat.

WAARSCHUWING: STEL DEZE TOEPASSING NIET BLOOT AAN REGEN OF VOCHT OM HET GEVAAR OP VUUR OF ELEKTRISCHE SCHOKKEN TE VOORKOMEN.

LET OP

- Verwijder nooit de externe behuizing of kast om de elektronica bloot te leggen. Bevat geen onderdelen waar gebruikers aan kunnen werken.
- Als u problemen ondervindt met dit product, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht voor een serviceverwijzing. Gebruik het product niet voordat het is gerepareerd.
- Als de bedieningselementen, instellingen of prestaties van procedures anders worden gebruikt dan in deze handleiding beschreven, kan dit leiden tot gevaarlijke blootstelling aan straling.

1) Lees deze instructies.
2) Bewaar deze instructies.
3) Let op alle waarschuwingen.
4) Volg alle instructies op.
5) Gebruik dit apparaat niet in de buurt van water.
6) Alleen reinigen met een droge doek.
7) Blokkeer geen ventilatieopeningen. Installeren volgens de instructies van de fabrikant.
8) Niet installeren naast warmtebronnen, zoals radiatoren, verwarmingsroosters, kachels of andere apparatuur (waaronder versterkers) die warmte produceren.
9) Omzeil de veiligheidsvoorzieningen van een gepolariseerde of geaarde stekker niet. In sommige landen worden gepolariseerde stekkers gebruikt. Een gepolariseerde stekker heeft twee verschillend gevormde polen, waardoor de stekker niet verkeerd kan worden ingestoken. Een geaarde stekker heeft naast de twee polen een randcontact of extra pin voor aarde. De twee verschillende polen of het aardcontact zijn voor uw veiligheid. Als de meegeleverde stekker niet in het stopcontact past, raadpleeg dan een elektricien om het stopcontact te vervangen.
10) Zorg dat er niet op het netsnoer kan worden getrapt, dat het kan worden bekneld of onder spanning kan komen te staan, vooral bij stekkers, contactdozen en het punt waar het snoer het apparaat verlaat.
11) Gebruik alleen verloopstukken of accessoires die door de fabrikant worden gespecificeerd.
12) Alleen gebruiken met de door de fabrikant gespecificeerde of bij het apparaat verkochte wagen, standaard, statief, beugel of tafel. Verplaats de wagen met het apparaat erop met beleid, om letsel door omvallen te voorkomen.



13) Maak de kabels van het apparaat los tijdens onweer of bij buitengebruikstelling voor langere tijd.
14) Laat al het onderhoud en reparaties over aan gekwalificeerd onderhoudspersoneel. Reparatie is vereist als het apparaat schade heeft opgelopen, bijvoorbeeld als het netsnoer of de stekker is beschadigd, als er vloeistof op is gemorst of als er voorwerpen op het apparaat zijn gevallen, als het apparaat is blootgesteld aan regen of vocht, niet normaal functioneert of is gevallen.
    - Ook uitgeschakeld neemt het apparaat een geringe stroom op wanneer de POWER of STANDBY/ON schakelaar niet op ON staat.
    - De stekker fungeert als hoofdschakelaar en dient altijd bereikbaar te zijn.
    - Wees altijd voorzichtig met het afspeelniveau bij oortelefoons of hoofdtelefoons in combinatie met dit product. Excessieve geluidsdruk (volume) van oortelefoons of hoofdtelefoon kan leiden tot gehoorverlies.

LET OP

- Stel dit apparaat niet bloot aan regen of spatten.
- Plaats geen met vloeistof gevulde voorwerpen zoals vazen op het apparaat.
- Plaats het apparaat niet in een afgesloten ruimte zoals een kast o.i.d.
- Plaats het apparaat dicht genoeg bij een stopcontact om snel de stekker uit te kunnen trekken in geval van nood.

Voor Europese Gebruikers

Verwerking van elektrische en elektronische apparatuur en batterijen en/of accu's

a) Alle elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's dient te worden gescheiden van het normale huisvuil en te worden ingeleverd bij door de overheid daartoe aangewezen locaties.

b) Door elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen en/of accu's op de juiste manier af te voeren, draagt u bij aan het juiste gebruik van grondstoffen en voorkomt u een negatief effect op ons milieu en de volksgezondheid.

c) Onjuiste verwerking van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en batterijen/accu's kan het milieu en de volksgezondheid ernstig schaden door de aanwezigheid van gevaarlijke stoffen in de apparatuur.

d) De symbolen voor afgedankte elektrische en elektronische apparatuur (AEEA) met doorgekruiste klikocontainers geven aan dat u elektrische/elektronische apparaten en batterijen/accu's dient te scheiden van huishoudelijk afval en apart dient in te leveren.



Wanneer een batterij of accu meer dan de gespecificeerde hoeveelheid lood (Pb), kwik (Hg) en/of cadmium (Cd) als aangegeven in de Richtlijn Batterijen (2006/66/EG, 2013/56/EU) dan worden deze symbolen voor chemische elementen aangegeven onder het WEEE symbool.



e) Inlever- en verzamelplaatsen zijn voor eindgebruikers beschikbaar gesteld. Nadere informatie over het afvoeren van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's kan uw gemeente u geven en ook de leverancier waar u de apparatuur heeft aangeschaft.

Nalevingsregels voor radiozender en interferentie

Dit product heeft de functie van breedbandzender en maakt gebruik van de 2,4-GHz-band.

Gebruikt frequentiebereik: 2402–2480 MHz
Maximaal uitgangsvermogen: Bluetooth® Klasse 2 (minder dan 2,5 mW)

Alleen gebruiken in het land waar het product is aangeschaft. Afhankelijk van het land kunnen beperkingen voor gebruik van Bluetooth draadloze techniek bestaan.

Model voor EER (Europese Economische Ruimte)

CE TEAC Corporation verklaart hierbij dat het type radioapparatuur in overeenstemming is met de richtlijn 2014/53/EU en andere richtlijnen en commissieregelgeving.

De volledige tekst van de EU conformiteitsverklaring is beschikbaar op het volgende internetadres: Neem contact met ons op via e-mail.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Eisen voor blootstelling aan straling

Deze apparatuur voldoet aan de internationaal erkende regeling voor het blootstellen van personen aan radiogolven, die door een zender worden gegenereerd.

Verklaring van overeenstemming

Model voor EER (Europese Economische Ruimte)
Deze apparatuur voldoet aan EN 62479; Evaluatie van elektronische en elektrische apparatuur met betrekking tot stralingsbeperking voor elektromagnetische velden; de geharmoniseerde standaard van RICHTLIJN 2014/53/EU.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Andere bedrijfsnamen, productnamen en logo's in dit document zijn handelsmerken of geregistreerde handelsmerken van hun respectieve eigenaars.

Inhoud

Dank u voor het gebruik van TEAC.
Lees deze handleiding aandachtig om dit apparaat zo goed mogelijk te kunnen gebruiken.
Berg deze na het lezen op een veilige plek op, zodat u deze later kunt raadplegen.

BELANGRIJKE VEILIGHEIDSINSTRUCTIES....62
Vóór gebruik....64
Omgaan met grammofoonplaten....64
De platenspeler voorbereiden....65
Stofkap....66
Opmerking over draaitafelnaalden....67
Het element verwisselen....67
Namen en functies van onderdelen....67
Aansluitingen....68
Basisbediening....69
Via Bluetooth®-luidsprekers luisteren....70
Problemen oplossen....70
Specificaties....71

Vóór gebruik

Meegeleverde onderdelen

Controleer of de verpakking alle hieronder weergegeven accessoires bevat. Neem contact op met de winkel waar u dit apparaat heeft gekocht als een van deze accessoires ontbreekt of tijdens transport is beschadigd.

Viltmat × 1
45 RPM adapter × 1
Contragewicht × 1
Elementhouder × 1
Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (AT95E)
Draaitafelplateau × 1
Stofkap × 1
Stofkap scharnieren × 2
RCA audiokabel met aardaansluiting × 1
Netadapter (GPE053A-V120050) × 1
Gebruikershandleiding (dit document) × 1

- Zie pagina 83 voor informatie over de garantie.

Gebruik van de TEAC International Site

U kunt updates voor dit apparaat downloaden vanaf de TEAC International Site:

https://teac.jp/int/

Klik op "Language" rechtsboven op de pagina en selecteer het gewenste land of de gewenste regio om een pagina in de betreffende taal te openen.

Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Plaats het apparaat op een vlakke ondergrond.
- Plaats geen objecten op de stofkap. Objecten op de kap kunnen storing veroorzaken als gevolg van trillingen of ze kunnen van de kap vallen, vooral tijdens afspelen.
- Plaats het apparaat niet in direct zonlicht of dicht bij een hittebron of in andere vergelijkbare situaties. Plaats het apparaat niet bovenop een versterker of andere apparatuur die meer warmte produceert dan het bedrijfstemperatuurbereik van dit apparaat. Hierdoor kan verkleuring, vervorming of kunnen defecten ontstaan.
- Omdat het apparaat tijdens gebruik warm kan worden moet u er voldoende ruimte omheen vrij laten voor ventilatie. Laat bij het installeren van dit apparaat enige ruimte (minstens 20 cm) tussen het apparaat en de wand en andere apparatuur om voldoende warmteafvoer mogelijk te maken.
  Laat bij plaatsing in een rek minstens 35 cm ruimte open aan de bovenkant en 10 cm aan de achterkant. Als er niet voldoende ruimte is kan zich hitte ontwikkelen, die zelfs kan resulteren in brand.
- VERPLAATS HET APPARAAT NIET TIJDENS AFSPELEN. Tijdens afspelen draait de plaat. Het apparaat tijdens afspelen niet optillen of verplaatsen. Hierdoor kan de grammofoonplaat, de naald, het element of het apparaat beschadigen.
- Verwijder altijd de plaat alvorens het apparaat te verplaatsen. Als het apparaat wordt verplaatst met een grammofoonplaat op de draaitafel kan de grammofoonplaat, de naald of het element worden beschadigd of kan er een defect optreden.
- Het voltage waarmee het apparaat wordt gevoed moet overeenkomen met het voltage dat op het achterpaneel wordt vermeld. Neem bij twijfel contact op met een elektricien.

Onderhoud

Als het oppervlak van het apparaat vuil wordt, veeg dit dan schoon met een zachte doek, of gebruik verdunde milde zachte zeep. Laat het oppervlak van het apparaat volledig opdrogen alvorens het te gebruiken.

- Gebruik geen chemische reinigingsdoekjes, oplosmiddel of soortgelijke substanties, omdat deze het oppervlak van het apparaat kunnen beschadigen.

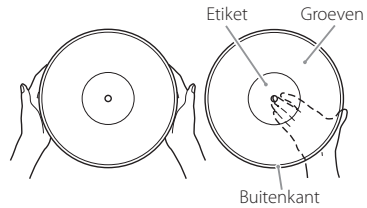
⚠ LET OP

Trek voor uw veiligheid vóór het schoonmaken de stekker uit het stopcontact.

Omgaan met grammofoonplaten

Grammofoonplaten vasthouden

Vermijd het aanraken van de groeven als een grammofoonplaat uit de hoes wordt gehaald en wordt vastgehouden. Houd de grammofoonplaat vast bij het etiket en aan de zijkant of met beide handen aan de zijkanten.



Reinigen

- Vingerafdrukken en vuil op een grammofoonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken, maar ook de plaat zelf en de naald beschadigen. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofoonplaten te reinigen. Gebruik geen oplosmiddel of andere vloeistoffen dan platenreiniger. Dergelijke chemicaliën kunnen het oppervlak van de plaat beschadigen.
- Veeg over het oppervlak van de grammofoonplaat met de platenreiniger in een ronde beweging in de richting van de groeven.



Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Bewaar grammofoonplaten niet op plaatsen die blootstaan aan direct zonlicht of die uitzonderlijk heet of vochtig zijn. Als een grammofoonplaat aan dergelijke condities wordt blootgesteld kan deze vervormen, beschimmelen of op een andere manier schade oplopen.
- Grammofoonplaten niet op elkaar stapelen of onder zware objecten plaatsen. Grammofoonplaten niet voor langere tijd schuin bewaren. Hierdoor kan vervorming of andere schade ontstaan.
- Zorg dat de groeven niet in direct contact komen met harde objecten. Hierdoor kunnen krassen ontstaan.
- Bewaar een grammofoonplaat na afspelen altijd in de hoes. Een onbeschermde grammofoonplaat kan vervormen of er kunnen krassen op komen.
- Gebruik geen platen met krassen.

De platenspeler voorbereiden

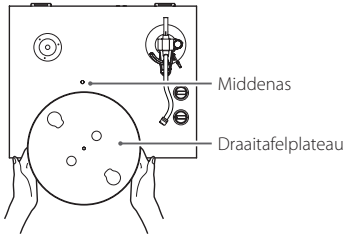
Zet het apparaat op standby tijdens de installatie (**E** op pagina 68).

1 Plaats het op een vlakke ondergrond.

Plaats het op een vlakke ondergrond, zodat de grammofoonplaat correct kan worden afgetast.

2 Installeer het draaitafelplateau.

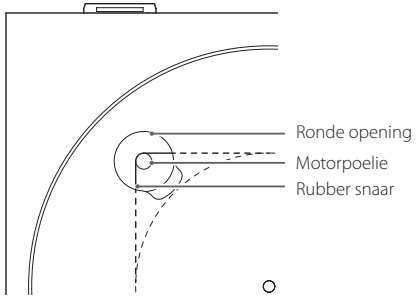
Hou het draaitafelplateau boven de middenas en installeer deze.



3 Sla de snaar om de motorpoelie.

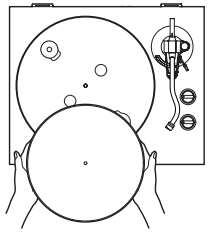
De rubber snaar bevindt zich rond de subschotel. Trek met uw vinger de rubber snaar door de ronde opening en lus deze om de motorpoelie.

- Zorg dat het rubber niet wordt gedraaid.
- Draai het draaitafelplateau verschillende keren rond om te zorgen dat de rubber snaar goed zit.



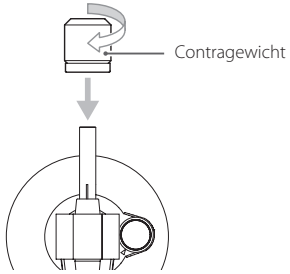
4 Plaats de vilten mat op het draaitafelplateau.

Plaats de meegeleverde vilten mat vóór gebruik op het draaitafelplateau.



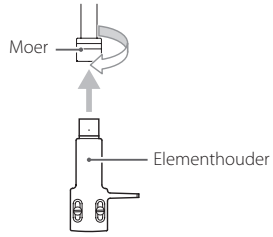
5 Installeer het contragewicht.

Draai het contragewicht met de klok mee op het uiteinde van de draaitafelarm en druk het voorzichtig aan om het draaiend vast te maken.

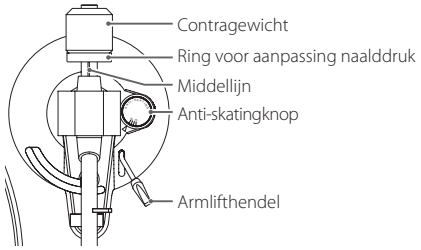


6 Installeer de elementhouder.

Installeer de elementhouder aan het uiteinde van de draaitafelarm en draai de moer aan om de elementhouder vast te maken.

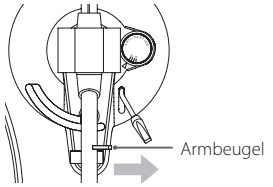


De draaitafelarm balanceren en de naalddruk aanpassen



1 Zet de anti-skatingdraaiknop op nul.

2 Beweeg de armbeugel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.



3 Breng de armlifthendel omhoog en verplaats de draaitafelarm enigszins naar links.

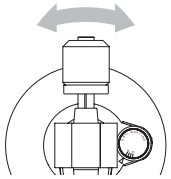
4 Breng de armlifthendel omlaag.

NEDERLANDS

Wordt vervolgd op de volgende pagina ➡

De platenspeler voorbereiden (vervolg)

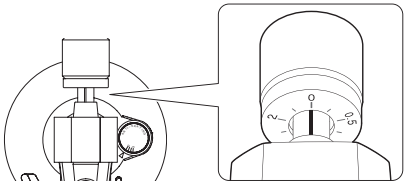
5 **Draai aan het contragewicht en stel dit zo in dat de draaitafelarm horizontaal is.**



- Verwijder vóór het aanpassen de beschermkap van de elementnaald.
- Laat de naald van het element geen contact maken met het apparaat.

6 **Breng de draaitafelarm terug in de oorspronkelijke positie en vergrendel de arm met de klem.**

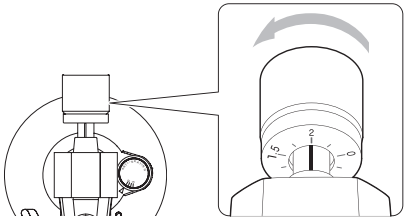
7 **Draai aan de ring om de naalddruk aan te passen zodat de middellijn gelijk ligt met 0 op de schaal.**



- Draai alleen aan de ring. Zorg dat het contragewicht niet draait.

8 **Draai het contragewicht zo dat de ring voor aanpassing van de naalddruk overeenkomt met de naalddruk die voor het element wordt gespecificeerd.**

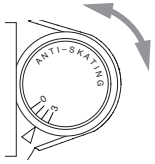
- De naalddruk van het meegeleverde element is 2,0 g. Draai dus tot 2 op de schaal van het contragewicht bij gebruik van het meegeleverde element.



- Draai in de richting van de pijl in bovenstaande afbeelding, zodat de waarde verandert van 0 naar 1 naar 2.

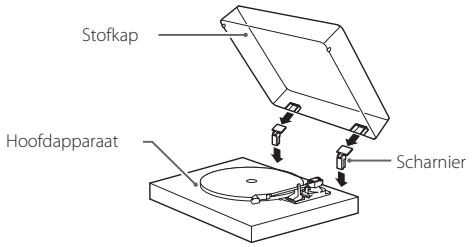
9 **Pas de anti-skatingdraaiknop aan.**

Start met deze knop op 2 en pas dit tijdens het afspelen van een grammofoonplaat (pagina 69) aan tot de positie waar de geluidsvolumes links en rechts in balans zijn.



Stofkap

De stofkap bevestigen



1 **Steek de scharnieren volledig in de scharnierhouders aan de linker en rechter achterkant van het hoofdapparaat.**

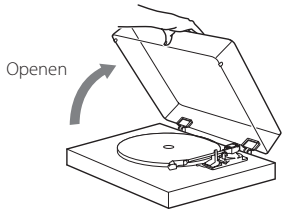
2 **Breng de bovenkanten van de scharnieren op één lijn met de scharnierhouders van de stofkap en schuif deze erin.**

- Sluit de stofkap tijdens afspelen. Hiermee wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd, waardoor er minder snel bijgeluiden optreden.
- Niet openen of sluiten als er een grammofoonplaat wordt afgespeeld. Hierdoor kan de naald bijvoorbeeld gaan haperen.
- Houd de kap zoveel mogelijk gesloten om stof te weren.

De stofkap verwijderen

Houd de stofkap aan beide kanten vast en wil deze langzaam omhoog om te verwijderen uit de scharnieren van het apparaat. Verwijder vervolgens de scharnieren van de stofkap.

De stofkap openen en sluiten



Openen

Houd de voorkant van de stofkap vast en heel deze voorzichtig open totdat hij stuit.
De stofkap blijft in deze positie openstaan.

Sluiten

Laat de stofkap voorzichtig zakken tot deze is gesloten.

⚠ **Voorkom dat uw vinger klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.**

Opmerking over draaitafelnaalden

- Als de naald vervormd (beschadigd) raakt, kunnen de groeven niet meer correct worden afgetast. Behandel naalden voorzichtig, omdat een vervormde naald grammofoonplaten kan beschadigen en defecten kan veroorzaken.
- Gebruik altijd een in de handel verkrijgbare naaldreiniger om de naald te reinigen. Gebruik van andere reinigingsmiddelen om een naald te reinigen kan de naald beschadigen.

De naald vervangen

Als de punt van de naald versleten raakt, wordt het geluid niet alleen slechter, maar kan dit ook schade aan de grammofoonplaten opleveren. Vervang de naald na ongeveer 300 uur speeltijd door een type dat door ons wordt geadviseerd.

Gebruik een Audio-Technica ATN95E vervangingsnaald.

- In dit apparaat is een Audio-Technica AT95E VM Type element geïnstalleerd.

OPMERKING

Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.

- Volg voor vervanging de instructies in de handleiding van de vervangende naald.

LET OP

- Schakel het apparaat op standby alvorens de naald te vervangen, omdat er zich hierbij luide geluiden kunnen voordoen.
- Zorg dat u uw hand niet bezeert of het apparaat beschadigt.
- Pas op dat kinderen niet per ongeluk naalden inslikken.
- Bedenk dat vervormde naalden, bijvoorbeeld veroorzaakt door onjuist gebruik of een externe oorzaak, niet onder de garantie vallen.

Het element verwisselen

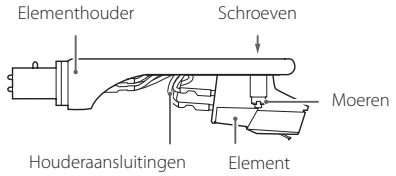
Verwijder voor het verwisselen van het element eerst de elementhouder van de draaitafelarm.

- In dit apparaat is een Audio-Technica AT95E VM Type element geïnstalleerd.

OPMERKING

Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.

- We adviseren om de beschermkap op de elementnaald te plaatsen alvorens deze taak uit te voeren.

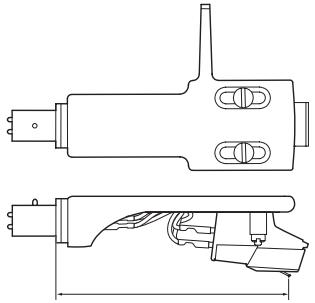


1 Maak de aansluitingen van de elementhouder los van het element.

2 Maak de schroeven los en verwijder het element.

3 Maak het nieuwe element vast en draai de schroeven aan.

Zie de onderstaande illustratie voor de positie van de schroeven als deze worden bevestigd.



4 Sluit de aansluitingen van de elementhouder aan op het element.

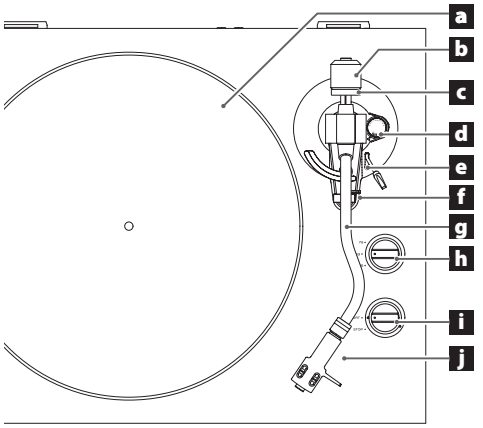
- De signalen en kleuren van de elementaansluitingen worden hieronder weergegeven.

Signaal	Kleur
Linker kanaal +	Wit
Linker kanaal –	Blauw
Rechter kanaal +	Rood
Rechter kanaal –	Groen

5 Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk aan.

Volg de aanwijzingen in "De draaitafelarm balanceren en de naalddruk aanpassen" op pagina 65.

Namen en functies van onderdelen



a Draaitafelplateau

Plaats grammofoonplaten gecentreerd op het draaitafelplateau.

b Contragewicht

c Ring voor aanpassing naalddruk

d Anti-skatingknop

e Armlifthendel

Hiermee brengt u de punt van de naald omhoog en omlaag. We adviseren het gebruik van de armlifthendel om beschadiging van grammofoonplaten en naalden te voorkomen. Dit werkt veiliger en stabieler dan de naald met de hand plaatsen.

f Armhouder

Hier rust de draaitafelarm op. Verplaats voor het afspelen van een grammofoonplaat de armbeugel enigszins naar rechts om deze te verwijderen.

g Draaitafelarm

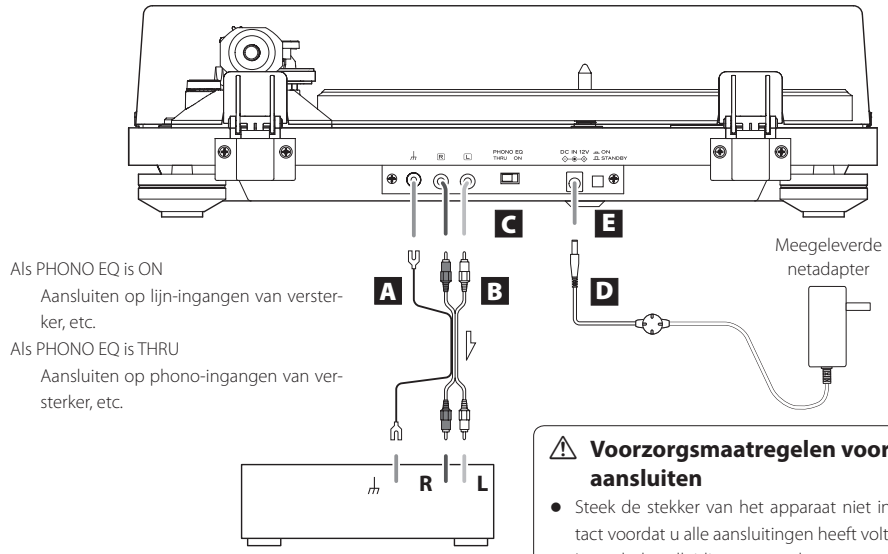
h Toerental instelknop

Selecteer het toerental dat op de grammofoonplaat wordt aangegeven.

i Draaiknop START/STOP

j Elementhouder

Dit is een universeel type waarmee het element eenvoudig kan worden vervangen.



⚠ Voorzorgsmaatregelen voor het aansluiten

- Steek de stekker van het apparaat niet in het stopcontact voordat u alle aansluitingen heeft voltooid.
- Lees de handleidingen van de apparatuur waarmee u aansluitingen tot stand brengt zorgvuldig en volg de instructies op bij het realiseren van de aansluitingen.

A Aardeaansluiting (⏚)

Gebruik de aardingskabel van de meegeleverde RCA-kabel om deze op de aardaansluiting van bijvoorbeeld de versterker aan te sluiten.

- Dit is geen elektrische aardbeveiliging.

Als de luidsprekers duidelijk waarneembare ruis laten horen.

Als door het aansluiten van de aardingskabel van de audiokabel op de aardaansluiting van dit apparaat het ruis niet wordt verminderd, koppel de aardingskabel los en controleer het geluid opnieuw. Gebruik de methode (aangesloten/verwijderd) met de minste ruis.

B Analoge audio-uitgangen (L/R)

Deze verzenden analoge audiosignalen.
De instelling van de schakelaar PHONO EQ wijzigt het type uitgangssignaal.
Gebruik de meegeleverde audiokabel (of een in de handel verkrijgbare audiokabel) om andere apparatuur op de uitgangen van dit apparaat aan te sluiten.

C Schakelaar PHONO EQ (instelling audio-uitgang)

ON

Signalen die zijn versterkt door de ingebouwde toonregelingsversterker worden weergegeven via de analoge audio-uitgangen (L/R).

THRU

Het signaal van het MC- of MM-element wordt direct via de analoge audio-uitgangen (L/R) weergegeven.
Sluit op een apparaat aan met phono-ingangen, zoals een voorversterker met toonregeling of een versterker met phono-ingangen.

- Bij aflevering vanaf de fabriek is dit ingesteld op ON.

LET OP

Indien ingeschakeld en aangesloten op de PHONO-ingangen van bijvoorbeeld een versterker kan de weergave via luidsprekers en hoofdtelefoons zeer luid zijn, wat de apparatuur of uw gehoor kan beschadigen.

D DC-ingang

Voltooi eerst alle andere aansluitingen en sluit dan de meegeleverde netadapter op deze ingang aan.
Controleer of de stekker van de netadapter in het stopcontact is gestoken.

- Gebruik geen andere netadapter dan de meegeleverde.
- De meegeleverde netadapter heeft verwisselbare pluggen. Bevestig de plug voor de regio waar het apparaat wordt gebruikt.

⚠ Zorg dat het netsnoer wordt aangesloten op een stopcontact dat het juiste voltage levert. Aansluiten op een stopcontact dat het verkeerde voltage levert kan brand of elektrische schokken veroorzaken.

⚠ Houd de stekker vast als het snoer in het stopcontact wordt gestoken of eruit wordt getrokken. Trek nooit met kracht aan het netsnoer.

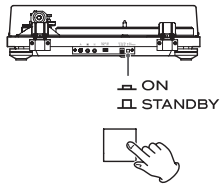
⚠ Trek de stekker uit het stopcontact als u het apparaat voor langere tijd niet gaat gebruiken.

E Toets STANDBY/ON

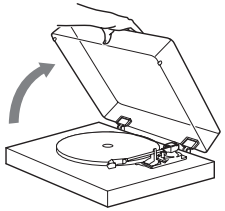
Druk op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen of op standby te zetten.

Grammofoonplaten afspelen

1 **Druk op de toets STANDBY/ON aan de achterkant van het apparaat om het in te schakelen.**



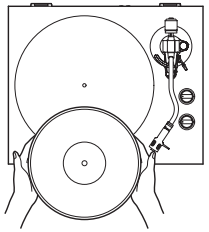
2 **Open de stofkap langzaam.**



⚠ **Voortkom dat uw hand klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.**

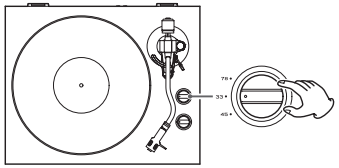
3 **Plaats een grammofoonplaat op het draaitafelplateau.**

Gebruik bij het afspelen van een 45-toeren-single met een groot middengat de meegeleverde adapter.

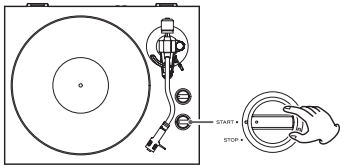


4 **Selecteer het toerental aangegeven op de plaat.**

Het toerental kan worden ingesteld op 33 1/3, 45 of 78 RPM (omwentelingen per minuut).

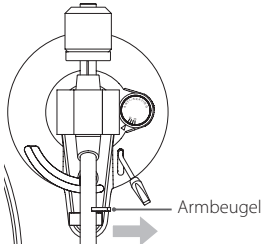


5 **Draai de knop START/STOP naar START om de draaitafel te starten.**

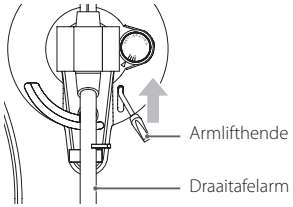


- Als de knop START/STOP naar START wordt gedraaid begint het draaitafelplateau te draaien en de blauwe START lamp gaat branden.

6 **Beweeg de armbeugel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.**

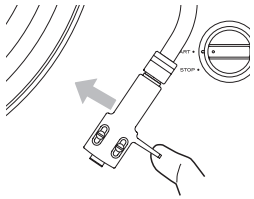


7 **Breng de armlifthendel omhoog.**



- U kunt zonder de armlifthendel te gebruiken de draaitafelarm ook met de hand boven de grammofoonplaat brengen en de arm langzaam omlaag brengen om het afspelen te starten.

8 **Breng de draaitafelarm naar de track die u wilt afspelen.**



9 **Gebruik de armlifthendel om de draaitafelarm omlaag te brengen.**

De draaitafelarm verlaagt langzaam tot de naald op de plaat terechtkomt en het afspelen begint.

- Sluit de stofkap tijdens afspelen. Hiermee worden bijgeluiden verminderd, wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd.

⚠ **Plaats geen objecten op de stofkap.**

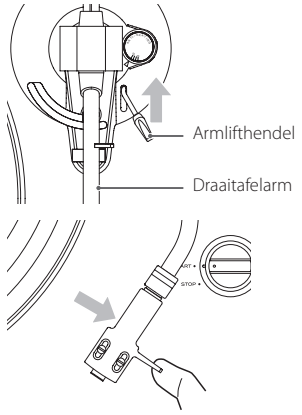
LET OP

- Raak tijdens afspelen de draaitafelarm of de grammofoonplaat niet aan. Hierdoor kan de punt van de naald beschadigen en kunnen er krassen op de grammofoonplaat komen.
- Stop het draaien van het draaitafelplateau niet geforceerd tijdens afspelen. Omdat dit product geen draaitafel is die ontworpen is voor DJ's (direct drive), kan hierdoor een defect ontstaan.

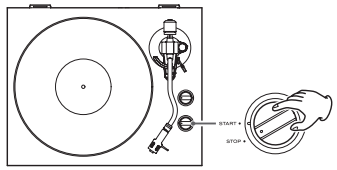
Als het geluidsvolume te hoog is, kan tijdens het afspelen van een grammofoonplaat feedback optreden. Als dit gebeurt, verlaag dan het volume van de versterker.

Als het afspelen is voltooid

1 **Breng de armlifthendel omhoog om de naald van de plaat te tillen en breng de draaitafelarm naar de uitgangspositie.**



2 **Draai de knop START/STOP naar STOP om de draaitafel te stoppen.**



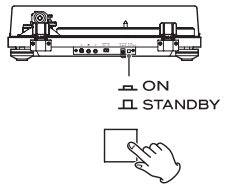
- De blauwe START-lamp dooft en het draaitafelplateau stopt.

NEDERLANDS

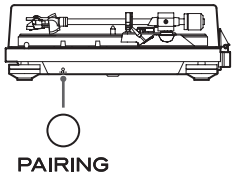
Via Bluetooth®-luidsprekers luisteren

Dit apparaat heeft een Bluetooth-zender die draadloos geluid naar Bluetooth-luidsprekers kan verzenden.

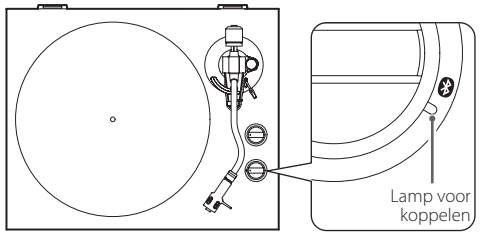
1 Druk op de toets STANDBY/ON aan de achterkant van het apparaat om het in te schakelen.



2 Koppel en verbind de Bluetooth-luidsprekers.



Toets PAIRING



Bluetooth-luidsprekers koppelen

Koppelen van dit apparaat met een ander Bluetooth-apparaat is vereist als u de eerste keer verbinding maakt met het betreffende Bluetooth-apparaat.

Druk op de toets PAIRING op dit apparaat om de koppelmodus te activeren. Als er al een ander Bluetooth-apparaat aan dit toestel gekoppeld is, wordt de verbindingsmodus geactiveerd. Houd de toets PAIRING nu minstens twee seconden vast om de koppelmodus te activeren.

Zet de Bluetooth-luidspreker in koppelmodus.

Als dit apparaat en de Bluetooth-luidspreker zijn verbonden, stopt de Bluetooth-indicator met knipperen en blijft branden.

- Raadpleeg de bedieningshandleiding van de Bluetooth-luidspreker voor gebruiksinformatie.
- Het koppelen kan even duren afhankelijk van het aangesloten apparaat.
- Dit apparaat maakt verbinding met de dichtstbijzijnde Bluetooth-luidspreker. Als er gedurende vijf minuten geen Bluetooth-luidspreker wordt gevonden, wordt de Bluetooth standby-modus ingeschakeld en dooft de lamp voor koppelen.

Betekenis van de lamp voor koppelen

Status	Betekenis
Brandt	Verbonden
Knippert langzaam	Verbindingsmodus
Knippert snel	Koppelmodus
Niet verlicht	Standby-modus

Bluetooth-luidsprekers verbinden die al zijn gekoppeld

Druk op de toets PAIRING op dit apparaat om de verbindingsmodus te activeren, zodat verbinding kan worden gemaakt met Bluetooth-luidsprekers die reeds gekoppeld zijn.

Als er nog geen Bluetooth-luidsprekers zijn gekoppeld, wordt de koppelmodus geactiveerd.

Als dit apparaat en de Bluetooth-luidspreker zijn verbonden, stopt de Bluetooth-indicator met knipperen en blijft branden.

- Plaats bij het verbinding maken met een Bluetooth-luidspreker andere Bluetooth-luidsprekers en ontvangende apparaten op minstens 10 meter afstand van dit apparaat of schakel ze uit.

3 Een grammofoonplaat afspelen.

- Bluetooth-verbinding is ook mogelijk tijdens het afspelen van een grammofoonplaat.
- Pas indien nodig het volume van de Bluetooth-luidspreker aan.
- Het geluidsvolume kan niet met dit apparaat worden aangepast.
- Druk om een verbinding te beëindigen minstens zes seconden op de toets PAIRING op dit apparaat om de Bluetooth standby-modus te activeren of om dit apparaat uit te schakelen.
- Als de toets PAIRING langer dan 10 seconden wordt ingedrukt, knippert de lamp voor koppelen en alle bestaande koppelingen met andere apparaten worden beëindigd.

Problemen oplossen

Als u een probleem met dit apparaat ervaart, controleer dan eerst de volgende onderdelen alvorens service aan te vragen. Er kan ook een andere oorzaak voor het probleem zijn dan dit apparaat. Controleer ook of de aangesloten apparaten op de juiste manier worden gebruikt.
Als er nog steeds niet correct werkt, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht.

Geen stroom.

➡ Controleer of de netadapter in het stopcontact is gestoken. Druk vervolgens op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen (pagina 68).

Er wordt geen geluid voortgebracht.

➡ Zet bij aansluiten van de analoge audio-uitgangen van dit apparaat op de analoge audioingangen van een versterker of andere apparatuur de schakelaar PHONO EQ (instelling audioingang) op ON (pagina 68).

Afspelen is niet mogelijk; er is ruis te horen.

➡ Verwijder de naaldbescherming.

➡ Vingerafdrukken en vuil op een grammofoonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofoonplaten te reinigen (pagina 64).

➡ Reinig de naald (pagina 67).

➡ Als de naald is versleten, vervang deze dan (pagina 67). De levensduur van een naald is afhankelijk van de gebruikscondities, maar bedraagt meestal ongeveer 300 uur.

➡ Plaats dit apparaat zover mogelijk van TV's, magnetrons en andere apparatuur die elektromagnetische golven uitzendt.

Er is ruis te horen als er een opname wordt afgespeeld.

➡ Er kan ruis optreden als de naalddruk hoger is dan voor het element wordt opgegeven. Pas de naalddruk opnieuw aan naar de opgegeven waarde (pagina 65).

De toonhoogte is niet correct.

➡ Selecteer het toerental aangegeven op de plaat (pagina 69).

Het geluid hapert.

➡ Trillingen kunnen haperingen veroorzaken. Plaats dit apparaat op een stabiele locatie.

➡ Reinig de plaat.

➡ Gebruik geen grammofoonplaten met krassen.

➡ Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk opnieuw aan (pagina 65). Als de naalddruk lager is dan voor het element aanbevolen, kunnen de naald en het geluid gaan haperen.

Het is niet mogelijk verbinding te maken met de Bluetooth-luidspreker die ik wil gebruiken.

➡ Schakel dit apparaat en het andere Bluetooth-apparaat één keer uit en weer in. Schakel ze beide in en probeer opnieuw te koppelen.

➡ Schakel andere Bluetooth-luidsprekers uit die zich binnen een afstand van 10 meter bevinden. Er wordt met de dichtstbijzijnde Bluetooth-luidspreker gekoppeld.

Verbinden met de Bluetooth-luidspreker is gelukt, maar ik hoor geen afspeelgeluid.

➡ Controleer het volume van de Bluetooth-luidspreker.

➡ Druk minstens zes seconden de toets PAIRING op dit apparaat in om de Bluetooth-luidspreker één keer los te koppelen. Probeer opnieuw te koppelen.

➡ Schakel dit apparaat uit en weer in. Druk daarna op de toets PAIRING om opnieuw te koppelen.

Verbinden met de smartphone is niet mogelijk.

➡ Dit apparaat werkt als een Bluetooth-zender en kan geluid naar Bluetooth-luidsprekers verzenden.
Omdat het niet als Bluetooth-ontvanger werkt, kan het niet worden verbonden met een smartphone.

Specificaties

Draaitafelplateau

Aandrijving ..... Snaaraandrijving
Motor ..... Gelijkstroommotor
Toerental ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
Toerental variatie ..... ±2 %
Wow en flutter ..... 0,2 % of minder
Signaal/ruisverhouding ..... 67 dB of hoger (A-gewogen, 20 kHz LPF)
Draaitafelplateau ..... Gegoten aluminium 30 cm diameter (12 inch)

Draaitafelarm

Type ..... Draaitafelarm met S-vorm en vaste balans
Effectieve armlengte ..... 223 mm
Variatiebereik naalddruk ..... 0–5 g
Toegestaan gewicht element ..... 4,0–8,0 g

Element

Type ..... VM (equivalent van MM)
Uitgangsvoltage ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Naalddruk ..... 2,0 ±0,5 g
Gewicht element ..... 5,7 ±0,5 g
Inclusief gewicht elementhouder 10 g (inclusief schroeven, moeren en bedrading)

- De levensduur van een naald is afhankelijk van de gebruiksomstandigheden, maar bedraagt meestal ongeveer 300 uur.
- In dit apparaat is een Audio-Technica AT95E VM Type element geïnstalleerd.
  Opmerking: Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.
- Type vervangende naald: Audio-Technica ATN95E

Uitgangsvoltage

PHONO EQ THRU ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Uitgangen ..... RCA

Bluetooth-functie

Bluetooth-versie ..... 5.2 (DUAL MODE)
Uitvoerklasse ..... Class 2
Ondersteunde profiel A2DP
Codecs ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Maximum aantal opgeslagen koppelingen ..... 8 apparaten

Algemeen

Vermogen netadapter
  Ingang ..... 100–240 V AC, 50/60 Hz
  Vermogen ..... 12 V DC, 500 mA
Opgenomen vermogen
  Standby ..... 0,5 W of minder
  On (START) ..... 1,5 W of minder
Gewicht ..... 4,9 kg
Temperatuurbereik voor gebruik ..... 5 °C tot 35 °C
Afmetingen (B × H × D, inclusief uitstekende delen)
  Stofkap gesloten ..... 420 mm × 117 mm × 356 mm
  Stofkap open ..... 420 mm × 381 mm × 402 mm
  Stofkap verwijderd ..... 420 mm × 102 mm × 356 mm

- Prestatiegegevens zijn gespecificeerd bij 20 °C.

Meegeleverde onderdelen

Viltmat × 1
45 RPM adapter × 1
Contragewicht × 1
Elementhouder × 1
  Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (AT95E)
Draaitafelplateau × 1
Stofkap × 1
Stofkap scharnieren × 2
RCA audiokabel met aardaansluiting × 1
Netadapter (GPE053A-V120050) × 1
Gebruikershandleiding (dit document) × 1

- Zie pagina 83 voor informatie over de garantie.

- Specificaties en uiterlijk kunnen worden gewijzigd zonder voorafgaande kennisgeving.
- Gewicht en afmetingen zijn benaderingen.
- Afbeeldingen in deze gebruikershandleiding kunnen enigszins afwijken van de productiemodellen.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN

OBS: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR ELSTÖTAR TA INTE BORT SKYDDET (ELLER BAKSIDAN). INGA DELAR INUTI SOM ANVÄNDAREN KAN REPARERA. LÅT KVALIFICERADE SERVICETEKNIKER UTFÖRA ALLT SERVICEARBETE.

Den lysande lampan med pilsymbol inom en liksidig triangel är avsedd för att varna användaren för närvaro av oisolerad "farlig spänning" inom produktens hölje som kan ha en betydande storlek för att skapa risk för elstötar för personer.

Utropstecknet inom den liksidiga triangeln är avsedd till att varna användaren för närvaro av viktiga drift- och underhållsanvisningar (service) i handboken som medföljer enheten.

VARNING: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR BRAND ELLER ELSTÖTAR, UTSÄTT INTE ENHETEN FÖR REGN ELLER FUKT.

FÖRSIKTIGHET

- Ta inte bort det externa höljet eller skåpet för att utsätta elektroniken. Det finns inga delar inuti som användaren kan reparera.
- Om du upplever problem med denna produkt skall du kontakta butiken där du köpte enheten för service. Använd inte produkten tills den har reparerats.
- Användning av kontroller eller justering eller prestanda av procedurer annat än som specificeras här kan leda till farlig utsättning för strålning.

1) Läs dessa anvisningar.
2) Behåll dessa anvisningar.
3) Följ alla varningar.
4) Följ alla anvisningar.
5) Använd inte enheten nära vattnet.
6) Rengör den endast med en torr trasa.
7) Blockera inga ventilationsöppningar. Installera i enlighet med tillverkarens anvisningar.
8) Installera den inte i närheten av värmekällor som element, värmeblock, kaminer eller andra enheter (inklusive förstärkare) som producerar värme.
9) Gör inte emot säkerhetsanordningen med polariserad kontakt eller jordningskontakt. En polariserad kontakt har två blad, en bredare än den andra. En jordningskontakt har två blad och en tredje jordningspinne. Den breda bladen eller den tredje pinnen r där för din säkerhet. Om den medföljande kontakten inte passar till ditt uttag, prata med en elektriker för att byta det gamla uttaget.
10) Skydda strömkablar från att böjas eller spricka främst i närheten av kontakter, vanliga fästen i punkten där de kommer ut från enheten.
11) Använd endast tillbehör/accessoarer som specificeras av tillverkaren.
12) Använd endast tillsammans med vagnen, ståndet, trefoten, bricka eller bordet som specificeras av tillverkaren eller som säljs med enheten. Om det används en vagn, var försiktig när du flyttar vagnen/enheten i kombination för att undvika skador vid vältning.



13) Koppla från denna enhet med åskan eller om du inte använder den över en längre tid.
14) Låt service utföra av kvalificerad servicepersonal. Service behövs när enheten har på något sätt skadats som till exempel att strömsladden- eller kontakten är skadad, att det har spillts ut vätska eller om det har fallit i föremål i enheten, enheten har varit utsatt för regn eller fukt, fungerar inte normalt eller har tappats.
    - Apparaten drar nominella icke-operativ ström från vägguttaget med dess POWER eller STANDBY/ON-knappen inte i ON-läge.
    - Nätkontakten används som frånkopplingsenhet och frånkopplingsenheten ska vara driftsduglig.
    - Försiktighet bör iakttas vid användning av öronsnäckor eller hörlurar med produkten eftersom överdrivet ljudtryck (volym) från öronsnäckor eller hörlurar kan orsaka hörselskador.

FÖRSIKTIGHET

- Utsätt inte denna apparat för dropp eller stänk.
- Ställ inga föremål som innehåller vätska, t.ex. vaser, på apparaten.
- Installera inte apparaten i ett slutet utrymme såsom en bokhylla eller liknande.
- Apparaten ska placeras tillräckligt nära vägguttaget så att du lätt kan nå nätsladden när som helst.

För kunder i Europa

Kassering av elektrisk och elektronisk utrustning och batterier och/eller ackumulatorer

a) Alla elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatorer bör kasseras separat från hushållsavfall, helst via insamlingsanläggningar som bestämts av regeringen eller lokala myndigheter.

b) Genom att kassera elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatorer på rätt sätt hjälper du till att spara värdefulla resurser och förhindrar eventuella negativa effekter på människors hälsa och på miljön.

c) Felaktig kassering av avfall från elektriska/elektroniska produkter och batterier/ackumulatorer kan få allvarliga effekter på miljön och människors hälsa. Detta på grund av förekomsten av farliga ämnen i utrustningen.

d) Symboler som visar en överstruken soptunna indikerar att elektrisk/elektronisk utrustning och batterier/ackumulatorer måste samlas och kasseras separat från hushållsavfallet.



Om ett batteri eller ackumulatorn innehåller mer än de specificerade värdena av bly (Pb), kvicksilver (Hg) och/eller kadmium (Cd) enligt definitionen i batteridirektivet (2006/66/EG, 2013/56/EU), kommer de kemiska symbolerna för dessa element visas under WEEE symbolen.



e) Återlämnings- och insamlingssystem finns tillgängliga för slutanvändare. För mer detaljerad information om avfallshantering av gammal elektrisk/elektronisk utrustning och förbrukade batterier/ackumulatorer, var god kontakta din kommun, renhållningsverket eller den butik där du köpte utrustningen.

Överensstämmelse av radiosändaren och gränssnitt

Denna produkt innehåller en bredbandssändare för 2,4 GHz-bandet.

Frekvensområde: 2402–2480 MHz
Maximal uteffekt: Bluetooth® Klass 2 (mindre än 2,5 mW)

Använd vänligen endast i det landet där du köpte produkten. Beroende av landet kan det finnan begränsningar i användning av trådlös Bluetooth-teknologi.

Modell för EEA (Europeiskt ekonomiskt område)

CE Härmed förklarar TEAC Corporation att denna typ av radioutrustning överensstämmer med direktivet 2014/53/EU och andra direktiv och Kommissionens regleringar.

Den fullständiga texten av EU-försäkran om överensstämmelse finns tillgänglig på följande webbadress: Kontakta oss via e-post.
https://teacsupport.aqipa.com/

TEAC Corporation
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo, 206-8530, Japan

Krav på utsättande för strålning

Denna utrustning uppfyller föreskrifterna som gäller internationellt och reglerar mänsklig utsättande för radiovågar som genereras genom sändaren.

Försäkran om överensstämmelse

Modell för EEA (Europeiskt ekonomiskt område)
Denna utrustning överensstämmer med EN 62479: Värdering av elektronisk och elektrisk utrustning relaterad till begränsningar för mänsklig utsättande för elektromagnetiska fält, den harmoniserade standarden av DIREKTIVET 2014/53/EU.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Andra företagsnamn, produktnamn och logotyper i detta dokument är varumärken eller registrerade varumärken som tillhör sina respektive ägare.

Innehåll

Tack för att du har valt TEAC.
Läs noggrant denna bruksanvisning, för att få ut enhetens bästa prestanda.
Efter att du har läst den, vänligen spara den på en säker plats för framtida bruk.

VIKTIGA SÄKERHETSINSTRUKTIONER....72
Före användning....74
Hantera skivor....74
Förbereda skivspelaren....75
Dammskydd....76
Anmärkning om skivnålar....77
Byta patron....77
Namn och funktion på enhetens delar....77
Anslutningar....78
Grundläggande användning....79
Lyssna med Bluetooth®-högtalare....80
Felsökning....80
Specifikationer....81

Före användning

Medföljande delar

Kontrollera lådan för att vara säker på att den innehåller all medföljande tillbehör nedan. Vänligen kontakta butiken där du köpte enheten om något av dessa tillbehör saknas eller har skadats under transporten.

Filtmat × 1
45 RPM-adapter × 1
Motvikt × 1
Headshell × 1
Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron AT95E (dubbel magnet)
Skivtallrik × 1
Dammskydd × 1
Dammskydd gångjärn × 2
RCA-ljudkabel med jordterminal × 1
Nätadapter (GPE053A-V120050) × 1
Bruksanvisning (detta dokument) × 1

- Se sida 83 för information om garantin.

Använda TEAC International Site

Du kan ladda uppdateringar för denna enhet från TEAC International Site:

https://teac.jp/int/

Klicka på "Language" överst till höger på sidan och välj önskat land eller region för att komma åt en sida på motsvarande språk.

Försiktighetsåtgärder för användning

- Placera enheten på en flat yta.
- Placera inget på dammskyddet. Föremål på locket skulle kunna orsaka buller på grund av vibrationer eller falla ner, framför allt vid uppspelning.
- Undvik att placera enheten i direkt solljus, nära till värmekällor eller i liknande förhållanden. Placera inte enheten på en förstärkare eller annan utrustning som kan generera värme som överskrider driftstemperaturnivån av denna enhet. Om du gör så, kan det komma till missfärgningar, deformering och fel funktion.
- Eftersom enheten kan bli varm vid bruk, låt det alltid vara tillräckligt plats runt den, så att den kan ventilera. När du installerar den här enheten, lämna lite utrymme (minst 20 cm) mellan enheten och andra enheter och väggar för att möjliggöra god värmeavledning.
  När du placerar den i en hylla, lämna till exempel minst 35 cm öppet ovanför och 10 cm öppet bakom. Underlåtenhet att tillhandahålla dessa luckor kan orsaka att värme alstras inuti och orsaka brand.
- FLYTTA INTE ENHETEN UNDER UPPSPELNINGEN. Skivan roterar medan uppspelning. Lyft eller flytta inte enheten under uppspelningen. Detta skadar väldigt mycket grammofonskivan, stylusen, patronen eller enheten.
- Innan du omplacerar eller flyttar på enheten, skall du alltid ta ut skivan. Om du flyttar enheten med en grammofonskiva på skivspelaren, skulle grammofonskivan, stylusen eller patronen kunna skadas och orsaka felfunktion.
- Spänningen som försörjer enheten skall matcha spänningen som står på den bakre panelen. Om du tvivlar angående detta, kontakta en elektriker.

Underhåll

Om enhetens yta blir smutsig, torka av den med en mjuk trasa eller använd utspädd och mild, flytande tvål. Låt enhetens yta torka helt innan du använder enheten.

- Använd inte kemiska rengöringstrasor, förtunnare eller liknande ämnen, eftersom de kan skada enhetens yta.

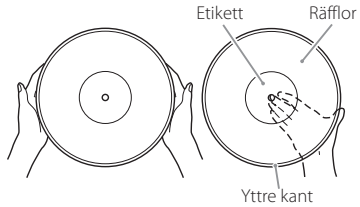
⚠ FÖRSIKTIGHET

För säkerhets skull dra ut nätsladden ur vägguttaget före rengöring.

Hantera skivor

Hålla skivor

När du håller en skiva eller tar ut den från sitt omslag, undvik att röra räfflorna genom att hålla skivan vid dess etikett och kanten med en hand eller genom att hålla den vid dess kant med båda händer.



Rengöring

- Fingeravtryck eller damm på en skiva kan orsaka buller och ljudet kan hoppa samt kan skivan skadas och även nålen. Använd en separat inköpt skivrengörare för att rengöra skivor. Använd inte en förtunnare eller något annat än en skivrengörare. Sådana kemikalier kan skada skivans yta.
- Om du använder en skivrengörare, torka av skivan yta i kretsrörelse, genom att följa räfflorna.



Försiktighetsåtgärder för användning

- Lämna inte skivorna på platser där de utsätts för direkt solljus eller på väldigt varma och fuktiga platser. Om du lämnar en skiva under sådana omständigheter under en längre tid, kan leda till böjning av skivan, mögeltillväxt eller andra skador.
- Lägg inte flera skivor på varandra eller placera inte tunga objekt på dem. Lämna inte heller skivor i ett hörn för en längre tidsperiod. De skulle kunna bli skeva eller skadade på ett annat sätt.
- Låt inte hårda objekt direkt röra vid ljudräfflorna. Det skulle kunna orsaka repor.
- När du har spelat klart en skiva, placera den alltid tillbaka i sitt omslag för lagring. Om du lämnar skivor oskyddade, kan de bli skeva eller repiga.
- Använd inte spruckna skivor.

Förbereda skivspelaren

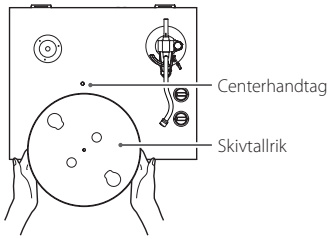
Håll enheten i vänteläge medan du konfigurerar (E på sida 78).

1 Placera den på en flat yta.

Placera den på en platta yta, så att skivan kan spåras korrekt.

2 Installera skivtallriken.

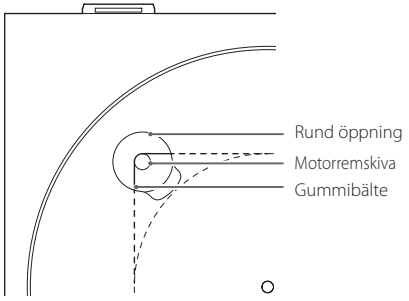
Justera skivtallriken till mellanhandtaget och installera den.



3 Linda bältet runt motorremskivan.

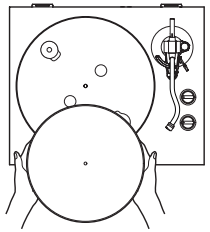
Gummibältet är lindad runt subdisken. Använd ett finger för att dra gummibältet genom den runda öppningen och linda den runt motorremskivan.

- Var försiktigt att gummit inte vrids.
- Vrid med skivtallriken flera gånger för att kontrollera att gummibälten är säkrad.



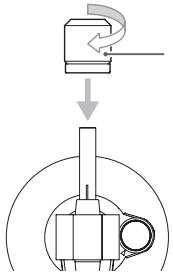
4 Placera den filtmattan på skivtallriken.

Placera den medföljer filtmat på skivtallriken innan du använder den.



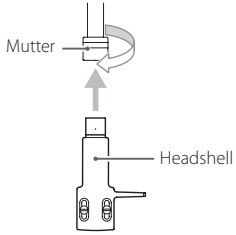
5 Installera motvikten.

Placera motvikten över änden av tonarmen och tryck in den försiktig när du vrider med den för att bifoga den.

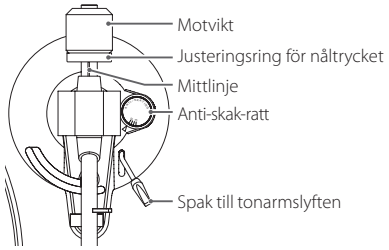


6 Installera headshellen.

Placera headshellen på änden av tonarmen och vrid med muttern för att säkra den på plats.

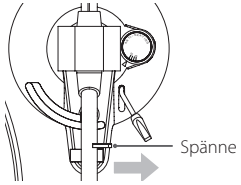


Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket



1 Ställ in anti-skak-ratten till noll.

2 Skjut tonarmens spänne till höger för att lossna tonarmen.



3 Lyft spaken till tonarmslyften och flytta tonarmen lite till vänster.

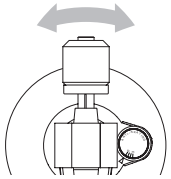
4 Sänk spaken till tonarmslyften.

SVENSKA

Fortsättning på nästa sida ➡

Förbereda skivspelaren (fortsättning)

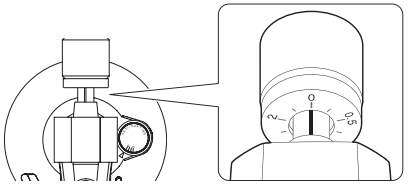
5 **Vrid med motvikten och justerade den att tonarmen är vågrät.**



- Ta bort skyddshättan från pickupens nål innan du justerar den.
- Var försiktigt att nålen inte kommer i kontakt med enheten.

6 **Sätt tonarmen till dess originalposition och flytta med tonarmens spänne till vänster, för att låsa den på plats.**

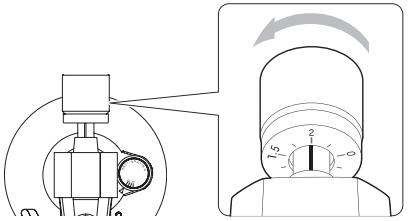
7 **Vrid med justeringsringen för nåltrycket, så att mittlinjen står på 0 på skalan.**



- Vrid endast med ringen. Var försiktigt att motvikten inte vrids.

8 **Vrid med motvikten, så att justeringringens skala för nåltrycket matchar nåltrycket som specificeras för patronen.**

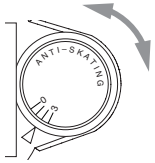
- Nåltrycket av den medföljande patronen är 2,0 g. Vrid den till 2 på motviktsskalan, när du använder den medföljande patronen.



- Vrid den i pilens riktning enligt ovanstående bild så att värdet ändras från 0 till 1 till 2.

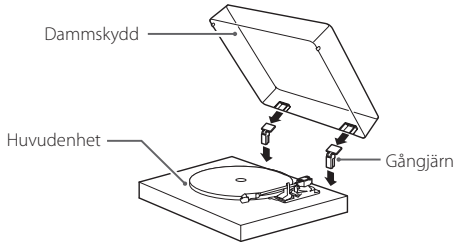
9 **Justera anti-skak-ratten.**

Starta med den inställd till 2 och justera medan du spelar upp skivan (sida 79) till positionen där den vänstra och högra volymen är balanserad.



Dammskydd

Fästa dammskyddet



1 **Sätt gångjärn komplett i gångjärnhållarna på vänster och höger slut av huvudenhetens baksida.**

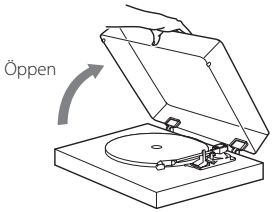
2 **Rätta upp toppen av gångjärn med dammskyddens gångjärnhållare och sätt in dem.**

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Detta förhindrar att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt och blockerar det externa ljudtrycket, vilket för att buller inte uppstår så ofta.
- Öppna inte eller stäng inte den när en skiva spelas upp. Om du gör så, kan det orsaka att nålen hoppar.
- Håll den alltid stängd då det är möjligt, för att förhindra att damm tränger in.

Ta bort dammskyddet

Håll båda kanter av dammskyddet och lyft den sakta för att ta bort den tillsammans med gångjärn från enheten. Sedan ta bort gångjärn från dammskyddet.

Öppna och stänga dammskyddet



Öppna

Håll framkanten av dammskyddet och lyft den försiktigt för att öppna den helt tills den stoppas.
Dammskyddet kan vara öppet i denna position.

Stänga

Sänk mjukt dammskyddet tills den stängs.

⚠ **Var försiktig att du inte klämmer dina fingrar när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.**

Anmärkning om skivnålar

- Om nålen böjs (blir skadad), kommer den inte längre exakt kunna spåra räfflat. Eftersom en böjd nål kan också skada skivor och orsaka felfunktion, hantera med nålar försiktigt.
- Använd en kommersiellt tillgänglig nålrengörare för att rengöra en nål. Om du använder något annat än en nålrengörare, kan de skada nålen.

Byta ut nålen

Om nålens spets blir sliten, kommer inte den inte bara försämra ljudkvaliteten, utan kan också skada skivor. Efter cirka 300 timmars uppspelningstid skal nålen ersättas med den vi specificerar.

Använd en Audio-Technica ATN95E-ersättningsnål.

- En Audio-Technica AT95E VM typ patron är installerad i apparaten.

ANMÄRKNING

VM-patrontyper har samma karakteristik som MM-patrontyper.

- Följ anvisningarna för byte i manualen för ersättningsnål.

VIKTIG ANMÄRKNING

- Eftersom starka ljud kan förekomma, sätt enheten i vänteläge innan du byter nålen.
- Var försiktigt att du inte skadar din hand eller utrustningen.
- Tillåt inte att små barn oavsiktligt sväljer nålar.
- Observera att till exempel börja nålar som orsakas av att kunder inte är tillräckligt försiktig eller av en yttre påverkan, inte täcks av garantin.

Byta patron

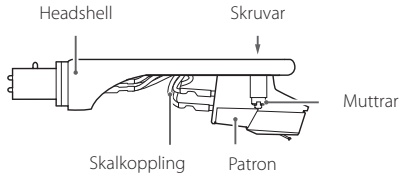
För att byta patron, ta först bort headshellen från tonarmen.

- En Audio-Technica AT95E VM typ patron är installerad i apparaten.

ANMÄRKNING

VM-patrontyper har samma karakteristik som MM-patrontyper.

- Vi rekommenderar att du sätter på skyddshättan på nålen innan du utför denna åtgärd.

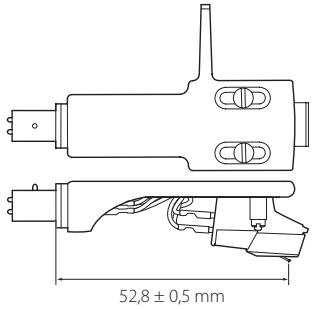


1 Koppla från skalkopplingens terminal från patronen.

2 Lossna skruvar och ta bort patronen.

3 Sätt in ny patron och dra åt skruvarna.

Se bilderna nedan, vilken position skruvarna skall ha när de är monterade.



4 Anslut skalkopplingens styrterminal till patronen.

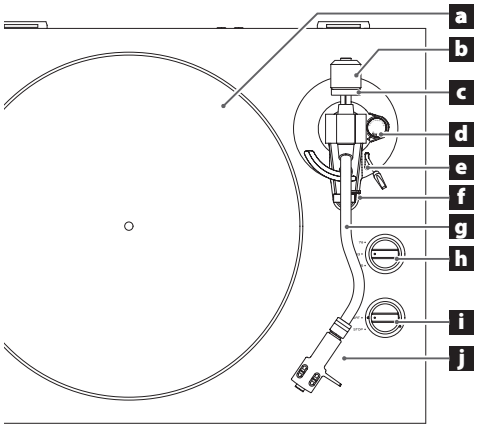
- Signalen och färgen på skalkopplingen visas nedan.

Signal	Färg
Vänster kanal +	Vit
Vänster kanal –	Blå
Höger kanal +	Röd
Höger kanal –	Grön

5 Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket.

Följ anvisningarna i "Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket" på sida 75.

Namn och funktion på enhetens delar



a Skivtallrik

Lägg skivor i mitten på skivtallriken.

b Motvikt

c Justeringsring för nåltrycket

d Anti-skak-ratt

e Spak till tonarmslyften

Använd den för att lyfta och sänka nålens spets.
Vi rekommenderar att använda spaken för att förhindra att skivor och nålar skadas, och för att det är säkrare och mer exakt än att göra det med fingret.

f Tonarmhållare

Detta är vilopositionen för tonarmen. Innan du spelar upp en skivan, skjut spärren till höger för att ta bort den.

g Tonarm

h Ratt för inställning av rotationshastighet

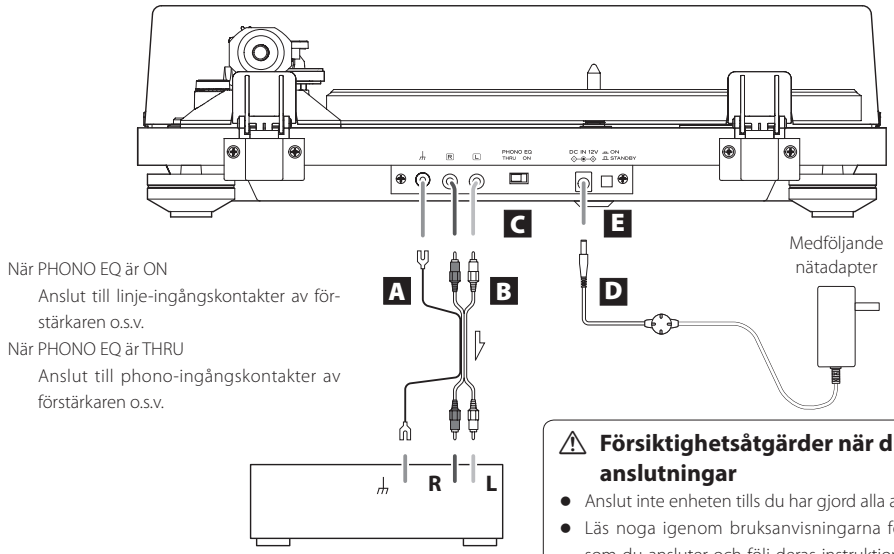
Välj rotationshastigheten som indikeras på skivan som skall spelas upp.

i START/STOP-ratt för rotation

j Headshell

Detta är en universell typ som tillåter att patronen ändras enkelt.

Anslutningar



När PHONO EQ är ON
Anslut till linje-ingångskontakter av förstärkaren o.s.v.
När PHONO EQ är THRU
Anslut till phono-ingångskontakter av förstärkaren o.s.v.

⚠ Försiktighetsåtgärder när du gör anslutningar

- Anslut inte enheten tills du har gjord alla anslutningar.
- Läs noga igenom bruksanvisningarna för de enheter som du ansluter och följ deras instruktioner när du gör anslutningar.

A Jordkontakt (⏚)

Använd jordkabel av den medföljande RCA-ljudkabeln för att till exempel ansluta denna kontakt till jordkontakten på förstärkaren.

- Denna är INTE elsäkert jordad.

Om bullret från högtalarna är misstänksamt

Om ansluta jordkabeln av ljudkabeln till jordkontakten på denna enhet inte minska buller, koppla från jordkabeln och kontrollera ljudet igen. Använd metoden (ansluten/inte ansluten) som har det minsta bullret.

B Analog ljudutgångskontakter (L/R)

Dessa matar ut analoga ljudsignaler.
Inställningen för PHONO EQ-brytare ändrar typen av utmatningssignalen.
Använd den medföljande ljudkabel (eller kommersiellt tillgängliga kablar) för att ansluta den andra utrustningen till utgångskontakter på denna enhet.

C PHONO EQ-brytare (inställning för ljudutmatning)

ON

Signaler som har förstärkts av den inbyggda frekvenskorrigeringen matar ut från det analoga ljudutgångskontakter (L/R).

THRU

MC- eller MM-patronsignalen matas ut direkt genom det analoga ljudutgångskontakter (L/R).
Anslut till en enhet med phono-ingångar som phono-frekvenskorrigerings förförstärkare eller en förstärkare med phono-ingångskontakter.

- Vid leverans från fabriken, är detta inställt på ON.

FÖRSIKTIGHET

När inställd på ON och ansluten till PHONO-ingången av till exempel en förstärkare, kommer utmatningen från högtalarna och hörlurarna vara väldigt hög. Det skulle kunna skada utrustningen eller din hörsel.

D DC-ingångskontakt

Efter att du har slutfört alla andra anslutningar, anslut den medföljande nätadaptern till denna kontakt.
Bekräfta att strömkontakten av nätadaptern är ansluten till strömuttaget.

- Använd inte en annan nätadapter än den som medföljde.
- Den medföljande nätadaptern har utbytbara kontakter. Anslut den kontakt som passar för det land du använder den.

⚠ Var noga med att ansluta nätsladden till ett eluttag som levererar rätt spänning. Anslutning till ett uttag som levererar fel spänning skulle kunna orsaka brand eller elektrisk chock.

⚠ Håll stickkontakten när du ansluter den till ett eluttag eller drar ut den. Dra eller ryck aldrig i nätsladden.

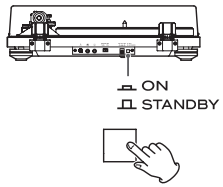
⚠ Koppla från nätsladden från uttaget om du inte skall använda enheten över en längre tidsperiod.

E STANDBY/ON-knapp

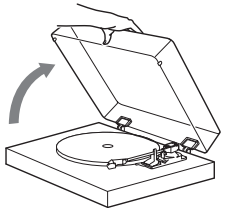
Tryck på STANDBY/ON-knappen för att sätta på enheten eller sätta den i vänteläget.

Spela upp skivor

1 **Tryck på STANDBY/ON-knappen på baksidan av enheten för att sätta på den.**



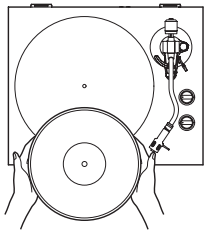
2 **Öppna försiktigt dammskyddet.**



⚠ **Var försiktig att du inte klämmer din hand när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.**

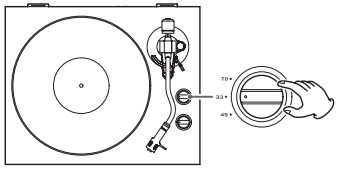
3 **Lägg en skiva på skivtallriken.**

När du spelar 45 RPM enskilda skivor med stora hål, använd den medföljande adaptern.

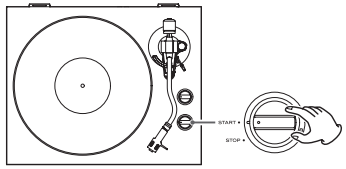


4 **Välj rotationshastighet som anges på skiva.**

Rotationshastigheten kan ställas in på 33 1/3, 45 eller 78 RPM.

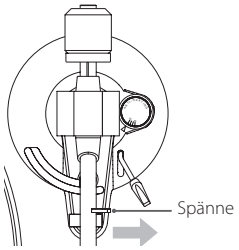


5 **Vrid med START/STOP-ratten till START för att starta skivspelaren.**

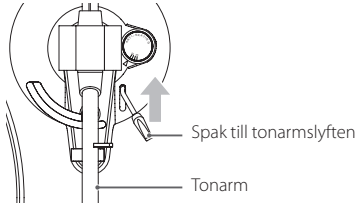


- När START/STOP-ratten är inställd på START, kommer skivtallriken att börja rotera och den blå START-lampan kommer att lysa.

6 **Skjut tonarmens spänne till höger för att ta bort den.**

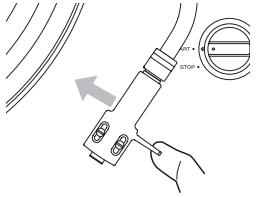


7 **Lyft spaken till tonarmslyften.**



- Du kan också låta spaken vara nere och flytta den höjda tonarmen över skivan och sedan sänka tonarmen mjukt för att starta uppspelningen.

8 **Flytta tonarmen till spåret där du vill starta uppspelningen.**



9 **Använd spaken till tonarmslyften för att sänka tonarmen.**

Tonarmen sänker långsamt till nålen rör vid skivan och uppspelningen börjar.

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Att göra så minskar uppkomsten av buller genom att förhindra att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt, och blockerar det externa ljudtrycket.

⚠ **Placera inget på dammskyddet.**

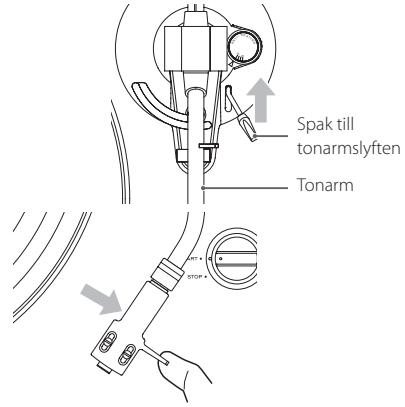
GIV AKT!

- Medan uppspelning, rör inte vid tonarmen eller den skivan. Om du gör så, kan det skada nålspetsen och orsaka repor på skivan.
- Stoppa inte skivtallrikens rotation under uppspelning med våld. Eftersom denna produkt inte är en skivspelare som är designad för DJs (direkt drivning), skulle något som detta orsaka felfunktion.

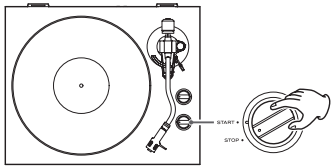
Medan skivan spelas upp, kan det komma till återkoppling, om volymen är för hög. Om detta händer, sänk förstärkarens volymen.

När uppspelningen avslutas

1 **Lyft spaken till tonarmslyften för att ta bort nålen från skivan och sätt tillbaka tonarmen till dess ursprungliga position.**



2 **Vrid med START/STOP-ratten till STOP för att stoppa skivspelaren.**

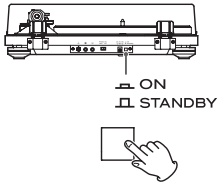


- Den blå START-lampan släcks och skivtallriken stoppas.

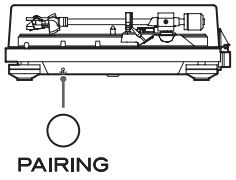
Lyssna med Bluetooth®-högtalare

Denna enhet har en Bluetooth-sändare som kan trådlöst skicka ljud till Bluetooth-högtalare.

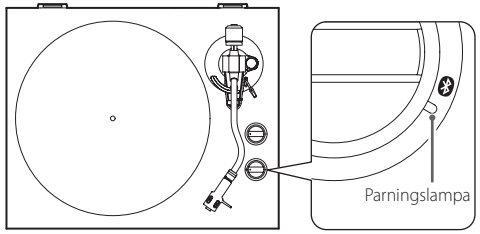
1 Tryck på STANDBY/ON-knappen på baksidan av enheten för att sätta på den.



2 Para och anslut Bluetooth-högtalarna.



PAIRING-knapp



Para Bluetooth-högtalare

Att para denna enhet med en annan Bluetooth-enhet är nödvändigt första gången du ansluter till denna Bluetooth-enhet.

Tryck på PAIRING-knappen på denna enhet för att aktivera parningsläget. Om en annan Bluetooth-enhet redan har parats med den här enheten aktiveras anslutningsläget. Tryck på PAIRING-knappen igen i minst två sekunder för att aktivera parningsläget.

Försätt Bluetooth-högtalarna i parningsläge.

När denna enhet och Bluetooth-högtalarna är anslutna, kommer parningslampan att lysa utan att blinka.

- Se användarhandboken till Bluetooth-högtalare för information om hur du använder dem.
- Parningen kan ta lite tid beroende på den anslutna enheten.
- Denna enhet kommer att anslutas till de närmaste Bluetooth-högtalarna. Om inga Bluetooth-högtalare hittas inom fem minuter, kommer Bluetooth standby-läge att börja och parningslampan släcks.

Betydelsen av parningslampan

Tillstånd	Beskrivning
Lyser	Ansluten
Blinkar långsamt	Anslutningsläge
Blinkar snabbt	Parningsläge
Släckt	Viloläge

Ansluta redan parade Bluetooth-högtalare

Tryck på PAIRING-knappen på denna enhet för att aktivera anslutningsläget, vilket möjliggör anslutning till Bluetooth-högtalare som redan har parats.
Om inga Bluetooth-högtalare redan har parats, aktiveras parningsläget.

När denna enhet och Bluetooth-högtalarna är anslutna, kommer parningslampan att lysa utan att blinka.

- När du ansluter till en Bluetooth-högtalare, flytta den andra Bluetooth-högtalaren och mottagarenheter minst 10 meter bort från denna enhet och stäng av dem.

3 Spela upp en skiva.

- Bluetooth-anslutning är också möjlig när en skiva spelas upp.
- Justera volymen på Bluetooth-högtalare vid behov.
- Denna enhet kan inte användas för att justera volymen.
- För att avsluta en anslutning, tryck på PAIRING-knappen på denna enhet i minst sex sekunder för att växla till Bluetooth standby-läge eller för att stänga av denna enhet.
- Om du trycker på PAIRING-knappen i minst 10 sekunder, kommer parningslampan att blinka och alla existerande anslutningar med andra enheter kommer att ta bort.

Felsökning

Om du får problem med enheten, kontrollera följande innan du begär service. Något annat än denna enhet kan också orsaka problemet. Vänligen kontrollera att anslutna enheter också används korrekt.
Om denna enhet fortfarande inte fungerar korrekt, kontakta återförsäljaren, där du köpte enheten.

Ingen ström.

➡ Bekräfta att nätadaptern är ansluten till uttaget. Tryck sedan på STANDBY/ON-knappen för att slå på enheten (sida 78).

Inget ljud.

➡ När du ansluter denna enhetens analoga ljudutgångskontakter till ljudingångskontakter på en förstärkare eller annan utrustning, ställ PHONO EQ-brytaren (inställning för ljudutmatning) till ON (sida 78).

Uppspelning är inte möjlig; det finns buller.

➡ Ta bort skyddshättan.

➡ Fingeravtryck och damm på en skiva kan orsaka buller och att ljudet hoppar. Använd en separat inköpt skivrengörare för att rengöra skivor (sida 74).

➡ Rengör nålen (sida 77).

➡ Om nålen är sliten, byt ut den (sida 77). Nålens livslängd beror på användningsvillkor, men är vanligtvis runt 300 timmar.

➡ Placera enheten så lång borta från teven, mikron och andra apparat som utstrålar elektromagnetiska vågor som det går.

Det uppstår buller när en skiva spelas.

➡ Det kan uppstå buller om nåltrycket är högre än patronens specificerade värde. Justera nåltrycket igen till det specificerade värdet (sida 75).

Tonhöjden är fel.

➡ Välj rotationshastighet som anges på skiva (sida 79).

Ljudet hoppar.

➡ Vibrationer kan orsaka hoppande. Placera denna enhet på en stabil plats.

➡ Ren skivan.

➡ Använd inte repiga skivor.

➡ Balansera ut tonarmen och justera om nåltrycket (sida 75). Nålen och ljudet kan hoppa om nåltrycket är lägre än pickupens specificerade värde.

Anslutning till Bluetooth-högtalare som du vill ansluta till är inte möjligt.

➡ Stäng av denna enhet och Bluetooth-enheten samtidigt. Sätt på de båda och försök att para dem igen.

➡ Stäng av strömmen på de andra Bluetooth-högtalarna inom 10 meter. Den närmaste Bluetooth-högtalaren kommer att paras.

Anslutning med Bluetooth-högtalare lyckades, men det går inte att höra uppspelat ljud.

➡ Kontrollera volymen på Bluetooth-högtalarna.

➡ Tryck på PAIRING-knappen på denna enhet i minst sex sekunder för att koppla från Bluetooth-högtalarna en gång. Sedan försök att para dem igen.

➡ Stäng av denna enhet och slå på den igen. Tryck sedan på PAIRING-knappen igen för att försöka para igen.

Anslutning med smartphonen är inte möjlig.

➡ Denna enhet fungerar som en Bluetooth-sändare och den kan skicka ljud till Bluetooth-högtalare.
Eftersom den inte fungerar som en Bluetooth-mottagare, kan den inte anslutas till en smartphone.

Specifikationer

Skivtallrik

Drivrutinsystem ..... Banddrivrutin
Motor ..... DC-motor
Rotationshastighet ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
Variation i rotationshastighet ..... ±2 %
Svaj ..... 0,2 % eller mindre
Signal-till-brus-förhållande ..... 67 dB eller högre
(A-vikt, 20 kHz LPF)
Skivtallrik ..... Aluminiumgjutjärn
30 cm diameter (12 tum)

Tonarm

Typ ..... Statiskt balanserad S-formad tonarm
Effektiv armlängd ..... 223 mm
Variationsintervall av stylustrycket ..... 0–5 g
Acceptabel patronvikt ..... 4,0–8,0 g

Patron

Typ ..... VM (ekvivalent med MM)
Utmatningsspänning ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Stylustryck ..... 2,0 ±0,5 g
Patronvikt ..... 5,7 ±0,5 g
Vikt av inkluderad headshell
10 g (inklusive skruvar, muttrar och kablar)

- Nålens livslängd beror på användarvillkor, men är vanligtvis runt 300 timmar.
- En Audio-Technica AT95E VM typ patron är installerad i apparaten.
  Anmärkning: VM-patrontyper har samma karakteristik som MM-patrontyper.
- Ersättningsnål: Audio-Technica ATN95E

Utmatningsspänning

PHONO EQ THRU ..... 3,5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 155 mV (–16 dBV)
Utgångskontakter ..... RCA

Bluetooth-funktion

Bluetooth version ..... 5.2 (DUAL MODE)
Utgångsklass ..... Klass 2
Profil som stöds A2DP
Codecs ..... SBC, AAC, Qualcomm aptX audio
Maximalt antal lagrade parningar ..... 8 enheter

Allmänt

Ström från nätadaptern
  Ingång ..... 100–240 V AC, 50/60 Hz
  Utgång ..... 12 V DC, 500 mA
Strömförbrukning
  Viloläge ..... 0,5 W eller mindre
  På (START) ..... 1,5 W eller mindre
Vikt ..... 4,9 kg
Intervall för drifttemperatur ..... 5–35 °C
Mått (B × H × D, inklusive utskjutande delar)
  Med dammskyddet stängt ... 420 mm × 117 mm × 356 mm
  Med dammskyddet öppen ... 420 mm × 381 mm × 402 mm
  Med dammskyddet bort ..... 420 mm × 102 mm × 356 mm

- Prestandadata är specificerade vid 20 °C.

Medföljande delar

Filtmat × 1
45 RPM-adapter × 1
Motvikt × 1
Headshell × 1
  Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron AT95E (dubbel magnet)
Skivtallrik × 1
Dammskydd × 1
Dammskydd gångjärn × 2
RCA-ljudkabel med jordterminal × 1
Nätadapter (GPE053A-V120050) × 1
Bruksanvisning (detta dokument) × 1

- Se sida 83 för information om garantin.

- Specifikationer och utseende kan ändras utan föregående meddelande.
- Vikt och mått är ungefärlig.
- Illustrationer i denna bruksanvisning kan skilja sig något från produktionsmodellerna.

Warranty provisions (United States and Canada only)

Length of Warranty
The parts and labor warranty will be effective for one (1) year from the date of the original purchase for products not used for commercial purposes. For products used commercially, the warranty is ninety (90) days for magnetic heads and optical pickups, one (1) year for all other parts and ninety (90) days for labor.

Who Is Covered Under This Warranty
This warranty is valid only in the United States or Canada, dependent upon the country in which original purchase was made, and enforceable only by the original purchaser within the country in which the purchase was made.
This warranty is not valid if the product was purchased through an unauthorized dealer.

What Is Not Covered Under This Warranty
- Damage to or deterioration of the external cabinet.
- Damage resulting from accident, misuse, abuse, or neglect.
- Damage resulting from failure to follow instructions contained in the products owners' manual or otherwise provided with the product.
- Damage occurring during shipment of the product (Claims must be presented to the carrier).
- Damage resulting from the repair or attempted repair by anyone other than TEAC or an authorized TEAC service station.
- Damage resulting from modification or attempted modification of product not authorized by TEAC.
- Damage resulting from causes other than product defects, including lack of technical skills, competence, or experience of the user.
- Damage to any unit that has been altered or which the serial number has been defaced, modified or removed.

What TEAC Will Pay For
TEAC will pay all labor and material expenses for items covered by the warranty. Payment of shipping charges is covered in the next section.

How To Obtain Warranty Service
Your unit must be serviced by an authorized TEAC service station within the country in which the product was purchased. If you are unable to locate an authorized service station in your area, please contact TEAC at the applicable address shown at the end of this warranty statement. PLEASE DO NOT RETURN YOUR UNIT TO TEAC WITHOUT OUR PRIOR AUTHORIZATION. You must pay shipping charges if it is necessary to ship the product for service. However, if the necessary repairs are covered by warranty, we will pay the return shipping charges to any destination within the country in which the product was purchased. Whenever warranty service is required, you must present the original dated sales receipt, or other proof indicating the purchase place and date, as proof of warranty coverage.

LIMITATION OF IMPLIED WARRANTIES
ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE LIMITED IN DURATION TO THE LENGTH OF THIS WARRANTY.

EXCLUSION OF DAMAGES
TEAC'S LIABILITY FOR ANY DEFECTIVE PRODUCT IS LIMITED TO REPAIR OR REPLACEMENT OF THE PRODUCT, AT TEAC'S OPTION. TEAC SHALL NOT BE LIABLE FOR DAMAGE BASED UPON INCONVENIENCE, LOSS OF USE OF THE PRODUCT, INTERRUPTED OPERATION, COMMERCIAL LOSS OR LOST PROFITS, OR ANY OTHER DAMAGES, WHETHER INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR OTHERWISE.
SOME STATES OR PROVINCES DO NOT ALLOW LIMITATIONS ON HOW LONG AN IMPLIED WARRANTY LASTS AND/OR DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATIONS AND EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.
THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC RIGHTS, AND MAY VARY FROM SOME OF THE RIGHTS PROVIDED BY LAW. THESE RIGHTS MAY VARY FROM STATE TO STATE OR PROVINCE TO PROVINCE.

Conditions de garantie (États-Unis et Canada uniquement)

Durée de la garantie
La garantie pièces et main d'œuvre sera valable un (1) an à compter de la date d'achat initial des produits non utilisés dans un but commercial. Pour les produits à utilisation commerciale, la garantie des têtes magnétiques et capteurs optiques est de quatre-vingt dix (90) jours, elle est d'un (1) an pour les autres pièces et quatre-vingt dix (90) jours pour la main d'œuvre.

Bénéficiaire de la garantie
Cette garantie n'est valable qu'aux États-Unis et au Canada, selon le pays d'achat initial, et ne s'applique qu'à l'acquéreur initial dans le pays d'achat.
Cette garantie n'est pas valable si le produit a été acheté auprès d'un revendeur non autorisé.

Ce qui n'est pas couvert par cette garantie
- Les dommages ou détériorations du boîtier externe.
- Les dommages résultant d'un accident, d'une mauvaise utilisation, d'un abus ou d'une négligence.
- Les dommages résultant du non-respect des instructions contenues dans le mode d'emploi du produit ou fournies avec le produit.
- Les dommages survenus durant le transport du produit (les réclamations doivent être adressées au transporteur).
- Les dommages résultant d'une réparation ou tentative de réparation effectuée par toute personne extérieure au service après-vente TEAC ou agréé par TEAC.
- Les dommages résultant d'une modification ou tentative de modification de produit non autorisée par TEAC.
- Les dommages résultant de causes autres que des défauts de produit, y compris le manque d'aptitude technique, de compétence ou d'expérience de l'utilisateur.
- Les dommages de toute unité ayant été modifiée ou dont le numéro de série a été effacé, modifié ou retiré.

Frais pris en charge par TEAC
TEAC prendra en charge tous les frais de pièces et main d'œuvre pour les articles couverts par la garantie. Les frais d'expédition sont évoqués dans la section suivante.

Comment obtenir une intervention sous garantie
Votre unité doit être réparée par un service après-vente agréé par TEAC dans le pays d'achat du produit. Si vous ne trouvez pas de service après-vente agréé dans votre région, veuillez contacter TEAC à l'adresse appropriée donnée à la fin de cette garantie. VEUILLEZ NE PAS RENVOYER VOTRE UNITÉ CHEZ TEAC SANS NOTRE AUTORISATION PRÉALABLE. Si le produit doit être renvoyé pour réparation, les frais d'expédition sont à votre charge. Toutefois, si les réparations nécessaires sont couvertes par la garantie, nous prendrons à notre charge les frais de retour vers toute destination dans le pays d'achat du produit. Lorsqu'une réparation sous garantie est requise, vous devez présenter comme preuve de couverture par la garantie la facture d'achat originale datée ou une autre preuve d'achat mentionnant le lieu et la date d'achat.

LIMITATION DES GARANTIES IMPLICITES
TOUTES LES GARANTIES IMPLICITES, Y COMPRIS LES GARANTIES DE QUALITÉ MARCHANDE ET D'ADÉQUATION À UN USAGE PARTICULIER, SONT LIMITÉES À LA DURÉE DE CETTE GARANTIE.

EXCLUSION DE DOMMAGES
LA RESPONSABILITÉ DE TEAC VIS-À-VIS DE TOUT PRODUIT DÉFECTUEUX EST LIMITÉE À LA RÉPARATION OU AU REMPLACEMENT DU PRODUIT, AU GRÉ DE TEAC. TEAC NE POURRA ÊTRE TENU POUR RESPONSABLE DE QUELCONQUES DOMMAGES SE RAPPORTANT AU DÉRANGEMENT, À LA PERTE D'USAGE DU PRODUIT, À L'INTERRUPTION DE L'UTILISATION, AUX PERTES COMMERCIALES OU DE PROFITS, NI D'AUCUN AUTRE DOMMAGE, QU'IL SOIT ACCESSOIRE, INDIRECT, PUNITIF OU AUTRE.
CERTAINS ÉTATS OU PROVINCES N'AUTORISENT PAS DE LIMITATIONS DE DURÉE D'UNE GARANTIE IMPLICITE ET/OU N'AUTORISENT PAS L'EXCLUSION OU LA LIMITATION DES DOMMAGES ACCESSOIRES OU INDIRECTS, AUQUEL CAS LES LIMITATIONS ET EXCLUSIONS CI-DESSUS PEUVENT NE PAS VOUS ÊTRE APPLICABLES.
CETTE GARANTIE VOUS DONNE DES DROITS SPÉCIFIQUES QUI PEUVENT ÊTRE DIFFÉRENTS DE CERTAINS DROITS OCTROYÉS PAR LA LOI. CES DROITS PEUVENT VARIER D'UN ÉTAT À L'AUTRE OU D'UNE PROVINCE À L'AUTRE.

Europe/Europa

This product is subject to the legal warranty regulations of the country of purchase. In case of a defect or a problem, please contact the dealer where you bought the product.

Ce produit est sujet aux réglementations concernant la garantie légale dans le pays d'achat. En cas de défaut ou de problème, veuillez contacter le revendeur chez qui vous avez acheté le produit.

Las condiciones de garantía de este aparato están sujetas a las disposiciones legales sobre garantía del país en el que ha sido adquirido. En caso de garantía, debe dirigirse al establecimiento donde adquirió el aparato.

Dieses Gerät unterliegt den gesetzlichen Gewährleistungsbestimmungen des Landes, in dem es erworben wurde. Bitte wenden Sie sich im Gewährleistungsfall an den Händler, bei dem sie das Gerät erworben haben.

Questo apparecchio è conforme alle norme sulla garanzia vigenti nel rispettivo Paese in cui esso è stato acquistato. Si prega di rivolgersi al proprio commerciante, presso il quale è stato acquistato l'apparecchio, nel caso in cui si voglia richiedere una prestazione in garanzia.

Dit product valt onder de wettelijke garantievoorschriften van het land waar het is aangeschaft. Neem bij een defect of probleem contact op met de leverancier waar u het product heeft gekocht.

För denna produkt gäller det lagliga garantiregleringar av landet där köpet gjordes. Vid fel eller problem kontakta vänligen återförsäljaren, där du köpte produkten.

In countries/regions other than the USA, Canada, Europe and Japan

This warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights that vary by country, state or province.
If you have a warranty claim or request, please contact the dealer where you bought the product.

该保证书赋予了顾客特定的合法权利，并且因国家，州或省等地域的不同，顾客可能拥有其他权利。如需申请或要求保修，请与购买本产品的销售店进行联系。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門 (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

9 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：アナログターンテーブル
TN-400BT-SE
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名および形名	アナログターンテーブル TN-400BT-SE
機番	
保証期間	本体 1年
お買上げ日	年 月 日
お客様	お名前 様
	ご住所 〒
	電話 ( )

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店	所在地 〒 電話 ( )

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
   無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 https://teac.jp/jp/

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室
〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
042-356-9235 携帯電話、IP電話をご利用の場合
0570-000-701 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合
FAX：042-356-9242
受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター
〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
04-2901-1033 携帯電話、IP電話をご利用の場合
0570-000-501 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合
FAX：04-2901-1036
受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

WARRANTY/GARANTIE (United States and Canada only/États-Unis et Canada uniquement)

Model/Modèle: **TN-400BT-SE**

Serial No./N° de série

Owner's address/Adresse du propriétaire

Date of purchase/Date de l'achat

Dealer's name/Nom du revendeur

Owner's name/Nom du propriétaire

Dealer's address/Adresse du revendeur

Sample

TEAC

TEAC CORPORATION 1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo 206-8530, Japan
https://teac.jp/int/

This product has a serial number located on the rear panel. Please write it here and retain this for your records.

Model name: TN-400BT-SE Serial number

0622 MA-3322B